京城日報
夕刊
十二月廿八日（土）
發行所　京城府太平通一丁目　合資會社　京城日報社

甘栗
京城驛前　池田商會　電本七五九番

大事件
一齊解禁

三つの重大事件は、當局が新聞記事の掲載を禁止して摘發につとめて居たが、年の瀬の廿八日御用じまひに際して一齊に解禁した。一つは朝鮮統治史上を汚す未曾有の不正事件とされたる忠清南道の移轉問題を中心とする、いはゆる昭和三大疑獄の一である朝鮮疑獄事件一切であり（號外既報）一つは去る昭和二年十月朝鮮銀行大邱支店における爆彈事件とこれに關聯せる慶尚北道管内における事件。又一つは本年十一月發生の光州の學生事件、これに關聯せる事件一切、かくて禁止中であつた近來の大事件はこゝに報道をみる事となつた。

大邱鮮銀支店前で 三箇の爆彈破裂

内鮮人數名から成る 怖るべき陰謀暴露す

昭和二年十月十八日午前十一時四十五分大邱の銀座とも稱すべき十二間道路の中央十字街、朝鮮銀行大邱支店に爆彈投擲事件あり、これが犯人逮捕の爲め當時慶北警察界は石本警察部長直接總指揮の下に小松大邱署長（現京城本町署長）當時の成富高等課長等の努力にて不眠不休の大活動を續けたが一週間十日と時日は徒らに過ぎ去り事件はいよ〳〵迷宮に入る一方で、從つてこれが捜査方針も持久戰に入るのやむなきに至つた。事件は昭和二年十月十八日（大邱神社秋季祭最終日の翌日）午前十一時卅分頃大邱鮮銀支店の庶務係に一見中流内外の下男風の朝鮮人青年が現れ「支店長に用事があるから」といふので庶務主任の吉村讓氏が應接に出でたところ青年は丸型直徑三寸内外と見られる紙包りの小箱を四個所持し、その中から『朝鮮銀行支店長御中、慶北五百クラム、防山町松本商店山』とわざ〳〵下手に書いた樣な字を以て書かれてある箱を出し、これは蜂蜜ですが支店長に差し上げてくれといふので吉村庶務主任は持つて來た人の風采から察して多少疑ひをはさむ點になり『蜂蜜を注文したことがないが』といへば『兎に角上げて置いてください、もし入らなかつたら明日までに返して置へばよろしい』といふので吉村氏はいよ〳〵怪しいと思ひその品物を手に取つて調べんとするや、青年はあわてゝ逃走する樣吉村氏は異樣の悪臭を感ずると同時に「これは爆彈だ」と直感（同氏は元來爆彈に對して多少經驗があつたといふ）したので同氏は給仕石井勇三君に命じて青年の持參せる問題の四個の小箱を屋外に運び出させると共にその旨を警察に電話しつゝ兎も角大邱署に電話しその旨を急報した。

爆彈犯人（右の主犯張鎭弘と共犯の金明淑夫妻）

ドン・ズドン・ドンと 續けざまに爆發

檢證中の警官重傷 非常警戒行はる

急報に馳せつけた大邱署高等係員藤巡査部長以下數名の私服警官によつて恐る〳〵これが檢證をなしたがその瞬間鮮銀宛の箱が天地も裂けんばかり轟然と大音を立て、終に爆發した。引續きドンズドンドンと殘りの三個も爆發した。ために檢證立會中の藤巡査部長以下大邱署員二名、石井鮮銀給仕等は重輕傷を負ひ鮮銀支店の鐵扉は地上約七十尺の二階窓硝子が滅茶々々に破壞され、約一町を隔つ前方にあるセメント二階建ての立花旅館の屋根瓦も數枚破壞された。これによつてその爆彈が如何に强射的強力を有してゐるかが判つた。この際丁度午前十一時四十五分の出來事であるから昂奮市民の大部分は午砲だときめ込んでゐたが間もなく例の午砲が打ち放されるや、今日は午砲が二度鳴つたといふので、それより一件の眞相が市民に傳はり……鮮銀に爆彈が……

爆彈中鮮銀あて以外の殘りの三個は當時の慶北知事須藤素氏、慶北警察部長石本惠氏、殖銀支店長山本好造氏等にあてたるもので順次に配達さるべきものであつたが鮮銀では途中發覺によつて大事には至らしめずに濟んだ。この事件起こるや警察は直ちに慶北警察部の總動員をなし市内は勿論、郡部に至るまで恰も戰時氣分にて警戒網を張り市中は日に數回づゝの戸別調査、鐵道は列車毎に身體檢査をなすなど極めて物凄いものであつた。爆彈を鮮銀支店に持參したものはそれが眞犯人でないことはもとより疑ふ餘地もなかつたがしかし警察として捜査上有力な手がかりとなること勿論であるから取調べをなした。彼れは全南羅郡綾州面生れ朴魯宦（三二）なるもので大邱市外四ケ所地籍興南館事務員方に寄寓として雇はれてゐるうち、十八日午前十一時頃十二箇前後と見られる白衣の青年が遊り寄り挨拶ふて入り來り一定の場所に煙草を贈られるやつて來いといふのでピジヨンを一個買ひ殘り四十錢を渡した所、その金はお前にやるから一寸使ひに行つてくれないかといつてその小包の運搬方のこと）四つの小箱を渡しながら落してはならないとか轉にかつたり、置いたりしてはいけないとか細音の注意と共にその荷を渡されたのでまづ順序としてその人（白衣の青年のこと）の相

主犯は何者？

爆彈持參の男は 賴まれたらしい

……と十二間道路一帶、殊に鮮銀支店の附近は物見高い見物人をもつて埋め、事件の眞相はさながらかなへのわくが如く戰慄が布かれたるにも似たる街路には私服刑事、武裝警官等をもつて包圍され中央は城内方面より鹽田慶北正、金川部長、山形巡査、警察部長、成富高等課長時の花井警察部長、小松大邱署長、谷重高等主任等が詰めきり、實に物々しい警戒振りを示した

爆彈中鮮銀あて以外の殘りの三箇朝通りに朝鮮銀行に持つて行つたのがあゝいふ風なことになりましたといふのがかの使者の朴魯宦の警察訊問に對する大體答辯の骨子であつた

眞犯人

大阪にゐることが判明

所が眞犯人は一昨年の二月になつて漸く他にあること明確となり事件はこゝにおいて大なる新しい展開を見る樣になつた。昨昭和の十一月慶北大興警察の際大邱において慶北の不逞の一團朝鮮人を逮捕の際大邱においての警察部に同人の身元を照會して來た。その男は慶北漆谷郡仁同面玉溪洞生れ藥行商人張鎭弘（三二）といふのであつたのである。この照會に接した慶北警察部にては同人の身元を調べたに何等異状なく前科もなければ殊更の不審を懷く處もなかつた、爲に大阪における同人は悠々として嫌疑から解かれる身となつた。所が慶北警察部は思ふ所がありその後の動靜に注目して内査することを緩めなかつた、昨年即ち昭和二年十月十八日朝鮮銀行大邱支店の爆彈犯人搜査の時、爆彈を詰込んだ箱が○○○○の箱であつたことから當時慶北道内にあるすべての藥種商を調べたが何のはづみか、その際張鎭弘だけは取調べに漏れてゐたことを思ひだし『さては――？』といふ直感的な眼瞬を閃かした慶北警察部は昨年の十一月以來斷然張鎭弘の

大邱鮮銀支店（爆彈當時の建物と爆彈を屋外に持出した吉村庶務主任）

周圍を嚴重に搜査し續けてくるにつれて本年の二月に至り漸くその事件の一端を握る證據を得たので二月下旬慶北警察部にては河野部長、成田高等課長の指揮により高等課の堀高等課長は岡田、南兩巡査部長を率ゐる樣爆彈の眞犯人張鎭弘を逮捕すべく萬端手配をなし當時の使者＝收容中の朴魯宦を帶同して大阪に渡り東成區における彼の居所にて難なく逮捕した

内鮮人數名の 共犯を檢擧

慶北道警察部 俄かに活氣づく

朴魯宦の證言により彼であることもすでに明確になつた、張鎭弘を逮捕し歸つた慶北警察部は俄に活氣づき彼を取調べるにつれて共犯者も數日にして悉く檢擧し終つたが共犯者は左の通りである

▲漆谷郡仁同面玉溪洞　オチニ藥行商　張鎭弘（三四）
▲永川郡永川面倉邱洞　果物商兼旅人宿業　金明淑（四五）（一名基用）
▲善山郡海平面泉水里　農　黄國瑞（三九）
▲同所　農　朴興永（四一）
▲京畿道安城郡出生、現住不定　當時主犯張鎭弘の妾　李勤伯（三九）
▲大邱府達城町三〇四の一二　主犯張鎭弘の姉婿
▲永川郡永川面門外洞　金商爺（四一）
土木請負業者　小林達治（五一）
▲同所　飲食店兼旅人宿　李厦楨（四八）
▲永川郡永川面門内洞　無職　朴文碧（三七）
▲忠德郡以下住所不定　無職　鄭芳洛（四三）
▲當時大邱府七星町七四、陳山寅代方　魚商　堀切茂三郎（四八）（死亡）
▲星州郡以下不詳　無職　李乃成（二八）（死亡）自殺
▲漆谷郡仁同面玉溪洞　主犯張鎭弘の從弟　藥種商　張容熙（二六）（死亡）自殺

黒幕の男― 爆死を遂ぐ

すつぽん行商人 堀切茂三郎の素性

前記犯人の中すでに死亡せる堀切茂三郎、李乃成、張容熙の三名は何れも相當有力なる直接犯人にしてなかんづく堀切茂三郎は主犯張鎭弘の指揮者として眞の陰謀をめぐらしたとのことである堀切茂三郎はすつぽんの行商を樣にして大邱をすつぽんの實入れ場所と稱し主として滿洲方面へ月に殆ど一回位づゝ往復し國際共産黨の手先人と して働いて居たとのことであるが、その價値は別として兎も角思想運動に關係してゐたことだけは事實らしい彼は昭和二年十月十日頃大邱より大邱七星町金東煥旅人宿方に滯在しその間、多數の知人と

つき合ひ何かの商賣上の相談をすると稱し居たが彼の事件以後五日目の十月廿三日の午後六時頃彼の知人七星町遊技場經營者鄭山方に於り爆彈自殺を遂げた當時恰も同事件の直後のことゝて彼の死は相當重大視されたが何の證據もなかつたのでつひに沙汰やみとなつたが張鎭弘の取調べによつて彼がその指揮役にして眞の大犯人であつたことが判つたとのことである、一説には堀切は事件の首尾よく行かなかつたことを悲觀し自殺の覺をかためて死を決するにおいては止宿してゐた人旅人宿を避けてわざと内地人の知人鄭山方にて自殺を遂げたのも同志の身の上に後難を避けしむる手段としてやつたことである

取調べを終る

大邱地方法院檢事局へ

前記多數の犯人は慶北警察部において主犯張鎭弘を逮捕後數日にして全部逮捕し大邱をはじめ永川、慶山、漆谷、倭館、慶山の各署に分留し約三週間にわたつて出張取調べを續け去る三月十六日一件書類を纏め前記犯人中▲張鎭弘、金明淑、黄國瑞、朴興永の四名は殺人未遂、爆發物取締規則違反、器物破壞、制令違反、爆發物取締規則違反として▲李動伯、金商爺の兩名は殺人未遂、器物破壞、制令違反、爆發物取締規則違反として▲小林達治、李厦楨、朴文碧、鄭芳洛の四名は爆發物取締規則違反として

それ〴〵慶北警察部の手より大邱地方法院檢事局に送致されると共に堅十七日豫審に回附され、保谷川豫審判事の手で取しらべをなし途中長谷川判事の大邱覆審への轉任と共に有賀豫審判事の手によつて終結されることになつた

日本全權一行 愈よ倫敦に乘込む

盛んな歡迎を受けて 指定のホテルに入る

【サザムプトン廿七日發至急報聯合】若槻、財部兩全權一行を乘せたオリムピツク號は二十七日午後二時四十分（日本時間午後十一時四十分）無事サザムプトンに到着した。（寫眞は右若槻全權、左財部全權）

萬歳歡呼に迎へられて 華々しく倫敦到著

英首相、外相も代理を差向く

【ロンドン廿七日發聯合】二十七日午後二時四十分サザムプトンに到着した日本全權一行は同四時十五分特別列車にて同驛を發し同六時二十五分當地ウオータールー驛に着し、松平大使以下日本大使館員・邦人約百名の外英人多數の出迎へを受け萬歳の歡呼に迎へられたが、首相マクドナルド氏、外相ヘンダーソン氏代理として外務次官サー・ロナルド・リンセイ氏が一行を出迎へて挨拶を交した後一行は直ちにグロヴナーホテルに入つた

會議前に豫備的交渉

若槻全權第一次聲明書を發表

【サザムプトン廿七日發聯合】サザムプトンにおいて若槻全權が英新聞記者團に發表したステートメントは左の如くである
茲に無事旅行の目的地に到着し、英國政府の招請に應じ會議に出席し得るは我々の深く滿足する處なり。余は我々が米國を通過するに當り米國當路者と會合し、非公式に協調するの機會を得たるのみならずこの會議が開始されて利益多かりしことを喜ぶものである。今や我々はロンドンにきたり且つ會議の開會迄には多大の余日を餘してゐるが故に、余は余の同僚並に余自身が英國當局と卒直な意見の交換をなすべき同樣機會を持ち得べきことを信ずる。我々は大なる希望を以てロンドンに來たものである

日本の七割要求は 最初から明言してゐる

若槻全權英記者に語る

【ロンドン廿七日發聯合】若槻全權はサザムプトンよりロンドンへの列車中英新聞記者團と會見し左の如き意見を述べた
余は個人として既に會議開催前、前途に横たはれる幾多の障碍物が漸次除去されつゝあるを認め大いに欣快とする。世界各國は悉く軍備負擔を輕減して實際上の安全保障程度とし戰爭の脅威を一層困難ならしめたいと希望して居るのは疑ふ事が出來ぬ。日本が七割を要求して居る事は我々が最初から明白に言明した處で、その後にても絶對にその立場を變更して居ないのである

――人――

◇武部欽一氏（學務局長）私用を以て廿八日午後十時半京城驛發東上正月七日歸城の筈
◇福士末之助氏（城大豫科教授）一ケ年の洋行を命ぜられた同氏は廿九日午後十時三十分京城驛發一旦東京に赴き二月早々外遊の途に上る
◇金圭瑞氏（新任全北知事）新任挨拶のため二十八日本社來訪
◇張憲元氏（新任咸南參與官）新任挨拶のため二十八日本社來訪
◇草場亮一氏　今回京城府廳を退職した草場亮一氏は江原道江陵郡面長に採用され一月六日京城驛發赴任
◇森新任京城府内務課長　廿八日午後七時京城驛着にて家族同伴正式に着任した
◇齋藤作衛氏（京城組合基督教會牧師）山中大吉警部補同道新任挨拶のため本社來訪

號外を發行

本社は朝鮮大疑獄事件につき廿八日記事解禁と共に號外を發行し逸早く讀者に配付したが右號外は本紙に再錄せず

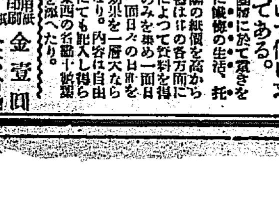
あすの天氣（29）

低氣壓は支那東部中部にあつて北東に進んでゐる高氣壓は滿州北部から朝鮮及び日本海に擴つてゐる以鮮は晴れ中岸中部は曇其他は崩り勝ちである明日も天氣は悪い

豫報　曇小雨雪
廿八日正午零下四・一度
廿七日最低零下二・六度

京都一燈園 西田天香氏の貴重なる御體驗錄出づ
吾等の重荷を負ふてくれるもの迷へるもの往くべき道を示してくれるもの悩みの總てを解決してくれるものそれは本書を措いて他に求め得られないのである。
西田天香師は吾國教化團體に於て最も光を放す一燈園を主宰し先に懺悔の生活、托鉢行願を著して當時洛陽の紙價を高からしめし有名の方にて本書は世の各方面に實見せし生きたる事實によつて資料を得て精神の修養となる物のみを集め一面日々の修養となると共に一面日々の日記を記す事によつて修養の效果を一層大ならしむる樣努められし物なり。内容は自由日記の形式により何事にても記入し得る外樣索し加ふるに東西の名畫十數葉を挿入して紙上更に花を添へたり。

昭和五年 ひかり日記
定價　特製　クローム色刷用紙セピヤ色印刷　金壹圓　上製　特撰用紙セピヤ色印刷　金六拾錢

自由記入式
讀むべき書くべき日記

大阪市北區新町通三丁目　東京神田區表神保町　國民出版社　振替大阪七五二〇番

世界的含嗽原液 グルゲル

含嗽　一滴八十倍
吸入　一滴百二十倍
社交接客家、聖樂家、常備薬一滴芳香心身爽快マスクニ優ル
主治　扁桃腺、流感、咽喉カタル、百日咳、口臭、氣管ノ諸病、齒牙の保健口のあれ
豫防　肺結核、肺炎、チフス、嗜眠性腦炎、ヂフテリヤ、氣管支加答兒、口腔傳染病
價格　醫科用　四五瓦入　試藥用　二五瓦入
文献進呈　各藥店ニ有リ
大阪　宮崎製藥所

瑞西最高 フオチス腕時計

一個で一生
至上至廉
宗時極めて正確堅牢一個で有に一生の御愛用に耐え、しかも形狀嫵麗たり……
上品な最も流行の品　全國有名時計店に販賣

專賣特許最新特級　富士印人力製繩機　投入吸込式
富士印製繩機

自動繩配擺廃仕上切毛付　カタログ進呈
大阪市西區本田町二　平瀬農機部

赤色の手うごく 學生盟休の裏

暴動化を計畫した 秘密結社の正體

全羅南道光州公立中學校および同地公立高等普通學校生徒は甞てより民族的に多少感情の阻隔があつたが去る十一月三日極めて些細なる原因により衝突事件を惹起し高等普通學校の生徒は兇器を持つて

暴行 をなしたるほどは同地農學校、師範學校および女子高等普通學校生徒等もこれに加盟し示威運動に出でたので當局者は學生を檢擧したが十一月十二日高等普通學校生徒および農業學校生徒は被檢擧學生に同情し「勇敢に戰へ學生大衆よ吾等のスローガンの下に團結せよ、吾等の勝利は唯吾等の團結と犧牲的闘爭に在り」と題する内容極めて

不穩 なる檄文四種を撒布しつゝ光州市内に亙つて示威運動に出でむとした事件あり。本件は（根本には民族的意志の阻隔があつたにせよ）單純些細なる行違ひに端を發したるものであるからもし兩者の衝突が一時的にしてかつ單純なるものならば強いてこれに對し法律的處置をとるの要はなかつたがその行動の淵源が不純なる分子の

策動 によるものとすれば反社會的陰謀とこれに基づく不穩行動に對しては斷乎たる處置を講ぜねばならぬから假へ學生たる身分を有するものでもこれをそのまま看過することを得ないので當局は兇器を持つ示威運動者に對しては一應これを檢束すると共に事件の内容に對する精細周密なる捜査を開始した處果して今回の事件は一時的感情の行爲に因る學生の暴動によるものでなくその背後に

共産 主義者の周到かつ細密なる組織的なる陰謀の存在することを突きとめたので取締方針を一變し嚴に當初突發したる兩校學生間の衝突による雙方の暴行についてはこれを不問に附し專ら共産主義者の一黨を檢擧して徹底的に根絶し示威運動その他の不穩行動に對する取締を徹底せしむべく更に捜査を進めその後取調べおよび捜査の進行に伴ひ各被疑者の供述およびこれに伴ふ物的證據の蒐集により左の如き事實を確定することをうるに至つた

秘密結社讀書會 共産主義の指導で 本年六月に生る

光州に現存する秘密結社は讀書會と稱し本年六月同地共産主義者張錫天及張戟性等の指導によりて組織せられたるものである。本結社の前身は社會科學研究會と稱し大正十五年夏昨年第四次共産黨事件にて檢擧せられたる某々等と前記張錫天及張永錫等が同地高等普通學校及農學校生徒中社會科學に興味を有し

秘密を固守 する意思強固なる者十二名を糾合し組織し『我等は將來の共産主義實現の前衛闘士として先づ理論を研究し漸次實行に移らざるべからず』となし毎月一回會合を開きつゝあつたが漸次會員增加し昭和三年六月には三十三名の盟員を得るに至つた然るに之等の有力なる指導者として活動しつゝありたる者等は第四次共産黨事件にて檢擧せらるゝに及び其勢力萎微振はざるに至つたので、張錫天は當時東京に留學中であつた張戟性を呼戻しこれを、前衛青年聯盟部の財務部長に就任せしめ専念

學生の指導 に任ぜしむることゝなつた、而して六月頃讀書會なる新組織を發表するに至つた、その內容は中央に各部門を設け高等普通學校、農學校、女子高等普通學校の各細胞を組織せしめ之に各員を配き共産黨の指導精神に基き會員を指導し來つたものでその組織及統率方法全く綿密なる共産黨の組織にして只表面の名を讀書會に借りたるに過ぎず現在前記各學校に於ける讀書會員の數も悉く判明して居る

三學校の 示威運動

彼等はこの如き狀態にて共産主義の研究教養に努めつゝあつたが偶々十一月三日光州事件起こるや張戟性、張錫天、魏錫元等はこれを絶好の機會なりとしこれを擴大化せしむると共に全鮮的に飛躍せしむべく各部においてそれぞれ部署を定め檄文の作成配布各方面との連絡に狂奔し遂に十二日の不穩事件（農學校、高普校、師範學校の三校生徒は相連絡して盟休又は示威運動に出づべく裏面策動中であるとの見込みあり周到警戒實施中十二日朝會を終り第一時間目授業を開始せんとするや高普生約三百名農學校生徒約二百五十名は一齊に校外に出で不穩檄文を撒布し女高普、師範學校方面に向ひ示威運動に出でんとせしを以て直に高普生百九十四名農業校生徒六十四名を檢束されたのである

嚴重な警戒裡に ―（騒ぎ時の京城第一高普）―

豫科をキツカケに 不穩文を撒く

まづ徽新、中央生ら騒ぐ 京城に盟休波及

京城においては光州事件の余波をうけ十二月二日京城帝國大學豫科に不穩檄文を撒布したものあり更に翌三日京城第一高等普通、中央高等普通、普成高等普通、中東學校、女子商業、徽文高等普通、徽信、同德女學校の各校に右と同様の檄文を多數撒布せるものあり府內各朝鮮人中等學校は頻に動搖の兆あり次いで五日第二高等普通、六日中東學校、七日第一高等普通の盟休事件勃發し漸次他校に波及せむとし一時學生は興奮狀態にあつたが九日に至り徽信學校生徒は退散して校舍を占據し教師および警察官の制止に肯せず遂に校門を出でて普成高等普通學校生徒を加へて示威運動に移らむとしたが大部分は檢束せられ殘余は中央高等普通生徒と合し示威運動に移らむとしたのでこれまた全部檢束せられたかくて京城府內公、私立各中等學校は何れも極度に動搖し職員を極め機會あらば校外に脫出せむとする氣勢を示すもの多くやゝ平穩なる學校においても到底眞面目に授業を繼續することが出來ない狀態となつたので私立學校の多くは休校するのやむなきに至つた

一齊盟休で 暴動化を企つ

朝鮮學生同盟の 秘密結社が發覺

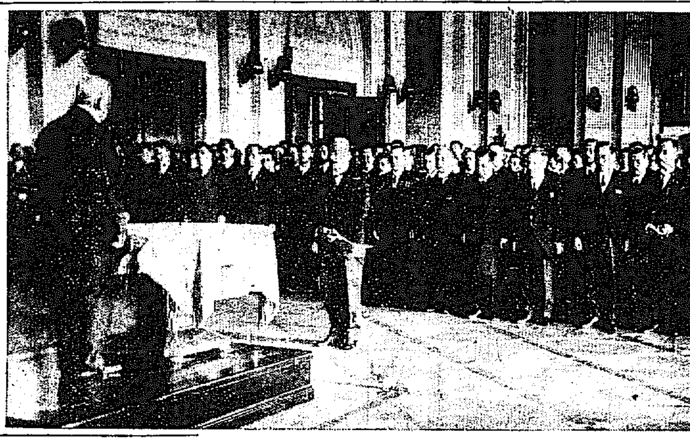
京城における學生騒ぎの內容についてもその檄文の內容および運動の方法より見るも單純なる學生の創意にあらざることは當初より容易に看取せられたので鋭意これと事件發生後直に共產主義者およびこれと關係深き方面につき捜査を進めた結果光州事件の元兇前記張錫天、魏錫元および組織の三名が十一月十八日以來京城に潛入中央青年同盟に屬する主義者と相はかり全鮮各學校代表者と連合し光州事件により檢擧せられたる學生に同情することを理由として一齊盟休を斷行し全鮮的示威運動を敢行してこれを暴動化せしめんとし前記の檄文を多數印刷して各學校に撒布せしめたることおよび學生科學研究會に屬する多數の者も檄文の撒布その他騷擾計畫に關する有力なる行動を擔當せること等こゝぐく發覺したので更に背後の共產主義者の組織につき捜査したる處遂に秘密結社朝鮮學生前衛同盟なる秘密結社の存在すること竝にその組織の内容および今回の事件にあたり各學校生徒を煽動したる事實を判明するに至つた

細胞を利用

朝鮮學生前衛同盟は第四次共產黨事件の關係者にして逃亡中の某々者京城に潜入本年九月上旬京城における某々主義者、學生等と協議の上組織したる共產主義宣傳の機關にしてその綱領の如きは明かに共產黨の隨たることを及び勞働者農民、學生に主義の注入宣傳を目的とせることを宣示してゐるしかして彼等は府內數個の學校に班を置きこれを中央主義部において統轄し組織的に共產主義宣傳の行動をたらむことを期しつゝあつたのでたまたま今回の學生事件に際會するにおよびこれを奇貨として盟休を起こさしめむと企圖し從つて組織せる各學校內の細胞を利用して不穩檄文を作成、撒布その他あらゆる策動に努めたるものにしてその經路は全く前記光州の實態とその軌を一にしてゐる

騷いだ學校

▲培材、普十一月十五日教頭金東○氏排斥盟休▲十二月十日同情盟休生徒百八十六名西大門署に檢束さる▲十一日臨時休校
▲養正高普十三日臨時休校
▲徽新商業十四日、情盟休生徒十八名鍾山署に檢束され、平壤に歸つた
▲京城電氣學校、十二日盟休
▲京城高等警備校、十二日盟休
▲京城法政學校、十四日臨時休校
▲梨花女子高等普通學校、十一日臨時休校
▲養正高普、十三日臨時休校
▲京城中東學校六日授業開始に先立つて校長に宛て『非人間的待遇を撤廃せよ』と記した五ヶ條の要求書を提出して三、四年二百八十名盟休
▲京城第一高普七日中盟休に入り、三、四年百四十名學校脫出
▲京城徽文高普七日三、四年二百三十名盟休同上
▲京城佛教專修十一日臨時休校
▲京城第二高普六日三、四年學校脫出
▲京城中央學校七日三、四年學校脫出
▲その他各學校學生騒動にかんがみ臨時休校をなす
▲平壤私立崇仁學校十六日一、三年白紙答案提出
▲平壤私立崇實中學十七日二、三年白紙答案提出
▲公立平壤高普十七日四年生試驗拒否したるも五年生の忠告にて鎭靜
▲公立咸興高普十六日萬歳高唱に休校
▲元山公立商業十六日四年生白紙答案提出、首謀者一名退學處分
▲咸興公立農學校十八日より盟休決行の陰謀あり十八日臨時休校
▲公立開城商業十二月十三日より二、三、四年生光州事件解決其他を要求學校脫出、十四より二、三、四年生盟休
▲公立咸興高普十七日三年生英文法試驗答案白紙提出十九日二、三年生二百名萬歳高唱學校脫出
▲公立東萊高普二十日光州學生の釋放を陳情し登休みに學校脫出
▲公立鎭南浦高普二十三日不穩檄文撒布盟休謀議
▲平壤公立農學校十六日三年生全部白紙答案提出喧騒す
▲公立平壤女高普十六日十三名登校、他は盟休中午後に至りて登校
▲平壤私立崇實專門十四日白紙答案提出一退校、十六日十三名出席、他は盟休
▲平壤私立光成高普十六日一、二、三、四年白紙答案提出、四年は一齊學校脫出
▲私立開城松都高普十二月十二日より臨時休校
▲私立開城好壽敦女學十二月十三日より光州の件の陳情書提出して



▽―本府における御用納式―△

御用納め

本府ではけふ午前十一時半 御用納式を擧ぐ

總督府の御用納め式は廿八日午前十一時半から第一會議室において總督並に兒玉政務總監以下各局部長、各課長および在京城第一次官廳官衙の長並に總督府判任官以上が集合し、總監より一場の挨拶があつて同四十分終了した、それより續き各局部長毎に局部長室で局員一同に局長から一場の訓示があつた

年末の辭 ―兒玉總監談

兒玉政務總監は本年の御用納めに當たり、二十八日午前十一時十分出入記者團を引見して歳末の感を述べ次のごとく挨拶した。

今年は特に下半期の多事多難なるにもかゝはらず大過なく本日の御用納式を擧行するに至つたことは、總督の御指導と各位の御援助の賜と深く感謝する次第である。來年勞頭のプログラムとしては、一月十三、十四の二日間各道知事會議を招集することになつたが、これは今年の人事異動を總へことに人心の刷新を標榜しての異動を行つて茲に一段落を告げるに至つたので、各道知事を一堂に集め緊縮の氣分と統一した精神とを以て新年劈頭から仕事を始めて貰ひ、本府の大方針を吹き込んでおくといふやうな意味に外ならぬ。續いて各道警察部長會議も同の意味で開催の豫定であるが、日程は何れそのうち決定することゝなつてゐる。以上だに簡單ながら年末に當りての御挨拶を述べ、たほ一層の御聲援を希ふ次第である。

學生檢擧表

全學徒一齊盟休

十二月九日に於ける京畿道警察部を中心に各警察署の關係各中學生徒の檢擧表

	京畿道	東大門署	鍾路署	西大門署	計
徽新	[illegible]	一〇	―	二	[illegible]
中央	[illegible]	―	[illegible]	―	[illegible]
中東	―	―	三	―	三
養正	―	―	一	七	八
培材	―	―	―	三	三
普成	四八	一五	―	一	[illegible]
青年	―	―	―	一	一
其他	―	―	―	三	三
第二	―	―	四	―	四
計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

泥醉した雇員 電車に轢殺さる

進行中の電車前を 橫ぎらんとして

府內元町三丁目七十番地遞信局雇員崔相吉(二十)は泥醉の上友人二人と廿七日夜大門通り三丁目一八番地先きを進行中の電車を橫切らんとして運轉手のつた龍山行き一八〇號電車に突き飛ばされ頭部に重傷を負ひ旭町林病院にかつぎ込み手當てを加へたが遂に絶命した

發電狀況

五班に分ち調査

遞信局電氣課では小規模電氣の發電狀況を調査するため十二、一、二の三ヶ月における發電の狀況を調査するため五班の調査班を組織し十二月廿八日から一月七日までの間に大々的に工作物の檢査を行ふことになつた。今回の檢査は取締瞬間、電壓運轉狀態等にして、正規にあらざるものは直に改修を命ずることになつてゐる。

一、高橋技手 闕山、慶州、浦項
二、平木技手外一名 木浦、全南電氣、羅州、榮山浦
三、江頭技手外一名 靈光電氣（靈光、法聖浦）南原
四、櫻木技手外一名 扶餘、江景、論山、公州
五、野田技手 瑞山(新設) 忠州、尚州

歳末景品付大賣出し
禮裝用品 賣出し
シルクハツト
中山帽子
禮服用靴
同ワイシヤツ
同手袋
其他品揃ひに付御用命願上げます
丁子屋

露支關係進展

正式會議も明春一月 露國代表も來奉す

【奉天廿七日發電】露支交渉全權蔡運升氏はハルビン特派員鐵道管理局長ルーディー氏等一行と本日午後十時二十五分發列車でハルビンより來奉、大和ホテルに入つた

蔡運升全權談

【奉天廿七日發電】蔡運升氏は驛頭にて記者に左の如く語つた

露支正式會議はモスコーに於て一月二十五日より開始することゝなつたが、決定的のものでなく更に總司令と協議の上決定する。支那側に侵入せる露軍も二十四日頃より既に撤退を開始した。歐亞連絡も近く復舊を見る筈で一切は新管理局長に一任してある。シモノフスキー氏等は明日張學良氏に會見、種々打合せを爲し二、三日滯在の後哈爾賓に歸る豫定である

報告と新任挨拶

【奉天二十七日發電】二十七日午後十時四十分ハルビンより來奉したシモノフスキー、パロフスタ兩氏は交渉經過報告のため、又ルーディー、デニソフ兩氏は新任挨拶のため張學良氏と會見、滯在數日の後ハルビンに歸る筈である

年の餅は 內地米の 大和軒へ

上野萬世橋間の 地下鐵道

卅一日より開業

【東京電話】東洋一を誇る東京地下鐵道の第二期延長線、上野萬世橋間一マイル二分は最近工事完成し東京市はこれが二十八日正式に認可の指令を發したので三十日試乘式を行ひ三十一日午前六時の始發から開通することゝなつた。停留場は上野廣小路、末廣町、萬世橋の三ヶ所が新に設けられ、萬世橋停留場からは松坂屋地下室と連絡し須田町交通の連絡と百貨店の混雜を緩和するはじめての試みなされてゐる。なほ、鐵道は萬世橋と神田驛間の工事に着手することゝなつてゐる

加藤大將に 勳章御親授

【東京電話】天皇陛下は二十八日午前十一時半鳳凰の間に出御、下條宮內官總裁侍立の上、左の如く加藤軍令部長に勳章御親授あらせられた

海軍大將 從二位勳一等功三級 加藤寬治

授旭日大綬章

總督府辭令

（十二月二十七日附）

任本府遞信書記 臼井三吉
任本府遞信事務官(七等)（財務）府屬 大道光治
任本府稅關監吏(七等) 仁川稅關在勤を命ず 服部左内
任本府稅關監吏(七等)（財）同
任本府稅關技手 新義州稅關在勤を命ず 本府稅關技手 松井欽明
任本府稅關技師(七等) 仁川稅關在勤を命ず 元鶴常
任本府理事官(八等)（京畿）本府郡屬 退任北鮮在勤を命ず 趙漢喆
本府郡守 金正基
陞敍高等官三等 同 申熙璉 同 孫應璉 同 金明贊 同 金永杰
陞敍高等官四等 同 宋良浩
陞敍高等官六等 上福喬
朝鮮鐵道技師に任す(七等) 敍高等官六等 本府遞信事務官 大江早登
本府遞信技師 鴨志田金三
本府稅關鑑視官 殿木由太郎
同 內川太郎
本府稅關技師 中地貫一
本府事務官 町田良一
試驗場技師 菅野銀八
本府理事官 安藤節
本府警部 深瀨神吉
同 阿比留今太郎
同 林左多郎
同 金東林
依願免本官 朝鮮產業技師 尾崎由馬

よい 蓄音器はセヤマ

1930年式 イーグル ゼラルミン歌口付 二重ゼンマイ 演奏力三面以上 高尚マホガニ塗 大特價 No. 24 金三十五圓

外國類似の粗惡品が五六十圓の高價に販賣する其他の方法で販賣する向あり、御求めの際は特に御注意下さい。

コロムビア 第百十號 特價八十六圓

コロムビア 第百十三號 特價八十圓

コロムビア 第百六十四號 特價百圓

コロムビア 第百十四號 特價八十八圓

コロムビヤ蓄音器でかけたレコードは藝術家の技能を其儘再生して遺憾がありません。洋樂、日本樂、朝鮮樂等總てセヤマでこれを取揃致します。

京城本町一丁目 セヤマ樂器店 電本四千八番

解雇廣告
大宮孝
竹內文進
片山俊男
右三名は今般都合に依り解雇仕候間今後當店とは何等關係無之候
昭和四年十二月廿六日
京城本町一丁目 林京染店 電話本局四八一番 私書函二五番

贊化病院 京城府明治町一丁目 電話本局二四四番
醫學博士 古城憲治
内科 小兒科 入院隨意 普通病室及傳染病室

日東カゼ藥

昨夜出火の節は早速御馳付御盡力に預り候段難有御禮申上候混雜中尊名伺洩れも可有之不取敢以紙上御禮申上候
府內西大門町二ノ二 優等旅館 山田キミ

喪中に付年末年始の禮を缺く
京城貞金町一丁目郵便所 堤健

緊縮年末年始の贈答品に最適
瓦斯釜はこれに限る!!
御飯が出來れば自然に火が消える
出來た御飯が大變おいしい
三等米を炊いて一等米に匹敵する
自動式文化炊飯器
瓦斯は半減・時間は節約
御ネバが絶對に出ない
米の滋養分が絶對に出ない
文化興業株式會社
朝鮮總代理店
日本エーア瓦斯商會
京城府長谷川町八〇
電話本局二五六四番
振替口座京城四四九五番

寫眞機と材料アルバム類
思い切つて安い
釜山辨天町二丁目 電話二七〇
山崎寫眞機店

優等清酒 鮮產代表
滿韓
マンカンイチ
釜山 醸造元
丸金酒造株式會社

大改良
本ビル食堂
京城本町二丁目 電話本局二三〇四番
東京趣味 和洋御料理 御定食 金五拾錢―金壹圓
江戸前自慢 天ぷら料理
天丼 金三拾五錢
天ぷら御飯 金五拾錢
上天ぷら 金七拾錢
特製栗きんとん 御一人前 金三拾錢 御土產箱入 金六拾錢
東京名代の調理師を迎へました御宴會は特に勉強致し出前は迅速に御屆致します
大勉強

皮膚科 淋疾 黴毒 生殖器障害
塩井醫院 京城明治町二丁目 電本三〇九〇

二科のアンデパンダン展に就て（下）

多田生

次いで私共は牛島の裏側展を透してこのアンデパンダン展の出現に就して考へねばならぬのである。この出現が如何に朝鮮に結ばるべきかについて私は二つの報告をするのである。それは牛島美術界のアンデパンダン職業と二つは鮮展のアンデパンダン化である。鮮展も迎ふるを九回年々多部となり多端となつてゐるに依然新顔容でない。會の經要の幾分の一にか當たるやうな鑑査員招聘を嘆いて

アンデパンダンの壁面をわれ等半島を思ふ者等に與へよとはいへないか。又朝鮮の土地柄に就して何等の認識も持たぬ鑑査員を招くのに多額なる費用を消費するとをやめて鮮展に自由なる出品を許すといふ事も面白いかも知れない若その自由出品を時期尚早なりとするならば千の反證的なる意義において大いに正しき奨勵を意識して鮮展は成熟なる姿となつて監選をなし中途半端な興味などを以て鑑査などを行はず系名に釣つて奨勵をなすといふことなどに堕落を招くやうな批難な意識を止め、新鮮にこれ等に示すべき研究機關の完備を認ざす必要があるのである。それ等にこれを指導すべき、かくやうな機能を止め、新たにこれを指導すべき研究機關の完備を認ざす必要があるのである。

それもならぬ現狀であるならばなしろ何等かを犠牲にしてそこに自分の作品を顧ずして大衆の自由なる批判に委ねるといふ方法が一層適當ではないかと思ふ。

◇

現に鮮展には多額な費用顧がある。第一に朝鮮および内地の四君子部を除外して四君子の藝術的なるはこれを東洋畫部に於め一類においては、郷土的な色彩濃厚たる鑑査を加へる美術部の新設と共に鑑査員の抜擢および奨勵的なる處遇、表現の奨勵的なる體制を認めて鮮展諸部門に對する鑑査員を擁護しつつ技巧の特選制度にも嚴重なる間題を持つて行くの世間が美術家と主催者側方面との交渉が稀薄なために未だその表面に現れて仕をらぬが何れこれ等の問題も昭和五年度の世界に現れること思はれるのである。

◇

又、今日では鮮展が與ふる名譽といふものが趣だ稀薄であるために殆ど何物にはならず食ひ物にはならず自然美術家達は中央への進出を急いで居る。漸く名譽となつて鮮展を越え又前に帝展への出品、それも自分で特選となつて出品資格を持つ程になる位は出品資格の處であるが中についても鮮展がこちらある現狀であつては大變な負擔となつてゐるので、もし鮮展が此の頃のアンパンタンを利用して半島の作家が一歩の表舞台に送り出すといふ形を整へたならば一分の意理も立ち朝鮮の紹介にも館するものと信じられるのである。とにかく田引水的に見ずともアンデパンダンの出現はこの本のきうくつなる思ひに苦しむ美術家達に一つのよい溝渠となると信じられるがそれが批評家と新聞人との認識ある擁護にまつものとする思ひがあるとは時代相であらう。

日本に於ける牛乳の消費量
諸外國に比べては　殆んど問題にならぬ

日本で牛乳を飲み始めたのは殆ど明治初年からといつてよい位であります。今では大ぶんその需要が多くなつた様でも諸外國に比すると大變少いのであります。即ち表に示しますと

國	年	一年一人當
日本	昭和二	〇、四四
瑞典	一九二四	一四〇、三七
丁抹	同	一四三、八五
瑞西	同	一四一、一四
獨逸	一九二三	一二八、一〇
米國	一九二五	一二五、〇〇
白耳義	一九二五	九二、四〇
和蘭	一九二三	八八、五五
加奈陀	一九二六	五七、六〇
英國	一九二三	四七、四四
伊太利	一九二三	八、八〇
洪牙利	一九二四	三一、〇五

といふ統計になつております。次ぎに日本ばかりではどの位消費してゐるかといひますと昭和二年四十四萬八石、六大都市にわけると

都市	一ケ年消費	一人當
[illegible]	[illegible]	[illegible]
東京	[illegible]	[illegible]
京都	[illegible]	[illegible]
神戸	[illegible]	[illegible]
名古屋	[illegible]	[illegible]
大阪	[illegible]	[illegible]

この表に現れた牛乳消費量は牛乳として飲用されたもののみで、煉乳だとか、ミルク、バタその他は含まれてゐないであります。東京市一ケ年一人當たりの消費量が三升三合九勺とすれば一日一人あたり一勺にもならないことになります。もしこれを日本全國一日一人あたりとするものならば極めて微量で、計算も出來ぬくらゐしか飲んでゐない譯です

日本酒は一たいに酒精分が多い
ウヰスキが一番　林檎酒は最も少い

日本の酒――それにはいろんな種類があるが日本の酒とウヰスキーや支那の酒などと比較するとどの位のちがひがあるかを調べると割合に日本酒は酒精分の含有量が多いことが分る。そこでそれをあらはして示すと、次ぎの表になる。即ち一〇立方センチメートルの酒類を含有する酒精量を調べると

種類	量
ウヰスキー	三三、五
日本酒（菊正宗）	一七、〇
白酒	一七、八
葡萄酒	一二、二
燒酎	六〇
ビール	一八〇

即ち一番酒精分の少いビール一八〇とウヰスキー三三、五とを比較すれば如何に酒精含有量であるとはウヰスキーが強い酒かといふ事がお分る、燒酎や普通の日本酒も決して酒精分の弱い酒にならされたものではない。歐洲人は日本酒は直に來るといふのは酒精分が多いばかりでなく、なほ含有物が澤山含まれてゐるからでもあらう。この表には現れてゐないが琉球の泡盛は燒酎よりも強く、大關、味淋、玉冠ブランデは燒酎より少く菊正宗よりもつよい。富久娘、保命酒は正宗、紹興酒、東昌老酒など支那酒はブドウ酒よりもつよく菊正宗よりも弱いなほ林檎の（りんご酒）アルコールの含有量の少いのは林檎酒で、ウヰスキー四四、四〇のアルコール含有量に對する割合な五、五一位のものである

除夜の鐘を　中繼放送
DKの大晦日

百八煩惱を去るといふ除夜の鐘は卅一日午後十一時五十分から元日午前一時までの間AKで淺草觀音堂から全國に放送するので、DKでは遙くお江戸淺草の觀音堂と鐘は上野か淺草か――で名高い淺草觀音堂の除夜の鐘を中繼放送することになつた遙く朝鮮でゐながらにして淺草の除夜の鐘を聞いて越年する

お正月の遊戲
不思議な數
積俵の數のあて方　面白い數字の組

お正月の御馳走に、加留多も取りつかれた麻雀はさばけぬ悪い、それかてラヂオもお正月には好みのごつちやで困る――といふ際な時には、どなたか一人奇想天外より滑つるこの奇問を試してごらんなさい。

◇

然らにして一座滿座の者がみなぎり、何？、何？そりや子供にでも分らアと甘さるゝ方へ、御存じの御苦勞様に見受けられて御嬉千萬。さてその奇想天外より落ちた處の答への紙面は――◇

萬室の諸君、技に米屋の番頭君があつたとおぼしめせ、その番頭君米を積むに、先づ一番下に十五俵並べて杉積みにいたし――いや此のお積みとは二段三段と一俵づつ數を少くしつつ積む方法でござる、そこで番頭君、幾段かによつてお積みを終へたる時、積て總數はいく俵ぞと、數へむとして些か面倒、即ちおたづね申す萬室の諸君、迅く〳〵お答へなされませ、當りますも、當りませぬもお慰み。さあ〳〵

いかゞで御座います。この數へ方は、一番下の俵の數と、それに一を加へた數とを掛合せた數を二で割れば、立處に積る俵の數。即ち十五に十六を掛て二百四十。それを二で割つて百二十俵と解けました。

◇

もう一案お願ひ申します事は、まづそこなる紙に大きく正方形を描いて下さいませ。そこで更にその中に井桁の形に線を入れますと縦も三つ、横も三つ、全部九つの升型が現れませう。そこでその九升に一つあてに一から九までの數字を一字づつ入れて、どの方面から數へても、すべて十五の數になる様にはめこんでいただきませう

さあく、お早く全部に願ひます。これが御答は覺え様によつては

二	七	六
九	五	一
四	三	八

至極簡單

これにて縦も横も十五とはなり申す。特に斜に數へて二、五、八及び六、五、四も亦十五となる。はなかく面白いではありませんか。そこで庭に曰く

二九四とおもへ七五三六一八は十五なりけり

◇

さてもう一案。これは極めて簡單ながら一興。

二十五に二十五かけて答はいくつ。六百二十五。三十五に三十五かけていくつ。千二百二十五はてなどうしてそう早く解けるのでせう。

二十五に二十五の場合は先づ三に二をかけた數に二十五をつけ三十五の場合は四に三をかけた數に二十五を付くれば立ち處に答となり申す。他の數は之に準じて行へば間違ひなし。

◇

是を數學不思議にして不思議ならざるはなし。世の數學下手の小學生もすべて、この神秘合理の氣合を存みこませなば、忽ちにして數學者の王子とはならるべし。いやお正月早々こんなお理屈は禁物、この様な解釋の仕方を心得たら、近頃はやる疑獄なんていふ醜事も立處に解決しませう。はてこれ迄ばしていたゞきました。まづは迷いらぬ落でこすり。はいさやうなら。

髪の結ひ方
巖に戲る、雄波雌波を
勅題に因む

勅題「海邊巖」にちなんで新らしい髪の結ひ方を御紹介いたしませう。これは巖にたはむるゝ雄波女波の風情を現したものでございますとおに引すものと思はれます。すなはち先づ前は七三に分けます。そして更に七分の方を三分に取つて、中根は丸くするよりも心持ち右の方を落して取り、右三分をその下の殘りと都合五つに分け、中根は正直に中心において止めます。次ぎに左の三分は前髪に鏝を當て又逆毛を立て、それで以て中根を抱く様な風に置いて、左の方には網をおさます。そこで今度は前髪を同じく鏝と逆毛で以てお同立にしつゝり鬢ふやうにふくらみを見せて、中根をおほひ下で止めます。これで雄波と雌波が出來上がります即ち左の三分が雄波、右を雌波となぞらへたものであります。そこで今度は割であります。先づ右下の鬢き毛をとつて前毛におほはれた中根の一寸下あたりに大きく渦まきをこしらへ、右三分の毛をその頂き上部に渦をまかせピンでとめます。この時はアイロンを用ひなければなりません。これが雄波で女波はたにければ毛で渦まきをこしらへます。最後にたれた毛のをとつて小岩に小波といつた風にゆひ上げます。これで若奥様向きな髪が出來上ります。

讀方

今晩の課題

（昭和二年京城第二高女）

次の文を讀み左の問に答へなさい

市長村長や議長を選舉するには、自治の精神にもとづき事らその人物に重きをおいて、決して親族縁故その他、私心上の關係のために心を迷はすやうなことがあつてはならぬ。まして威力により強制するとか、私利により人を誘つたりするとかいふやうな手段に動かされたりしてはならぬ、よろしく公平無私、地方公職のために適任者をあげることだけを考へて決して私心を持つてはならない。

（１）自治の精神にもとづく選舉のしかたと之に反するしかた。

（２）左の語句のわけ

イ、人物に重きをおく。

ロ、威力により強制する。

ハ、私心を持つ。

（３）「まして」といふ言葉をはぶつかつたか。

算術

（昭和四年公州高普）

1. 上下２冊の或本が５部の代金５圓50錢で、上は下より１冊につき10錢安い、上下各１冊の代價は幾らか。

2. 或人が商賣を始めた、初の年に資本金の$\frac{1}{3}$を損し、次の年に資本金の$\frac{1}{2}$を儲けた差引損益は資本金の幾分の幾つか。

3. 1秒間90m進む汽車と1時間に216Km進む汽車の速さの比を求めよ。

JODK プログラム

二十九日（日曜日）

午後〇、三〇　時報、氣象概況、各地天氣實況

同〇、四〇　ラヂオ學校「國語のおさらへ」　土居山洋

同一、三〇　家庭講座「正月お料理の獻立」（一）

同二、〇〇　ニュース

同二、一五　浪花節「稻山誠忠録」（上）　宮川貞(?)

同二、四〇　南部短歌（一）短歌　玉

（一）沈清歌外　（二）ひなたはつこ（二）漬物時　（三）汽車ぽつぽ（四）千守唄

同六、〇〇　童謡

（五）青い日傘（六）赤い小さ（七）笛（八）冬が來ました（九）狂洋（一〇）千守唄

ムジイカ・ハルミコ作奏　美　李　朴　中尾　清

同六、三〇　西洋雜歌

（一）愁心歌（二）雜遊歌外　李映山紅

同七、一〇　ニュース

同七、二五　ラヂオ・レヴュー　放送部編案

■思ひ出のプログラム■

第一景　新春プログラム（イ）鶏鳴（ロ）鶯の初音（ハ）かるた大會

第二景　紀元節奉祝式中繼實況（朝鮮神宮廣場より）

第三景　彌生プログラム（イ）雛祭（ロ）陸軍記念日觀兵式中繼實況、龍山練兵場より

第四景　花の週間プログラム長唄「朝鮮十景中昌慶苑の櫻花」

第五景　五月プログラム（イ）端午の節句（ロ）海軍記念日

第六景　恒例再力中繼實況（樂大地より）

第七景　野球シーズン・プログラム（京城グラウンドより）（イ）全鮮實業リーグ戰決（ロ）全鮮中等學校野球大會朝鮮豫選決勝

第八景　名士講演プログラム（イ）濱口首相の經濟國難打開に就て（AKより）（ロ）井上藏相の金解禁に就て（AKより）（ハ）松田拓相の來鮮に際して官民各位に所見を述ぶ

第九景　Z旧號到着中繼實況（臨時編入プログラム）

第十景　朝鮮博覽會プログラム（イ）技術の活動狀況（ロ）放送の活動狀況（ハ）中繼狀況長唄「朝鮮十景中の朝鮮博覽會の盛觀」

第十一景　緊縮と一萬突破記念プログラム（イ）緊縮小唄（ロ）落語「節約」

第十二景　プログラム思出話翌日プログラム發表、氣象概況ニュース、時報

五、聲色　昇龍齋貞丈
六、かつぎや　櫻川長壽
七、浮世節　ほこりたゝき　三遊亭圓遊
八、未定　立花家橘之助

卅一日午後十一時五十分より元日午前一時迄

一、除夜の鐘
二、參賀の狀況
三、鶏鳴

本日午後一時より放送の開會第一部

一、大晦日浮れ拍子拍　一調
二、琵琶　松の廊下　榎本芝水
三、漫談　安兵衛の駈付け　徳川夢聲

年の出來るのもラヂオ文化のお蔭であらうが大晦日夜の演藝放送は東京の大衆演藝の夕で七時二十五分から次ぎの順序で放送と決定した

麻雀

旭町一　麻雀莊　朝鮮唯一

故窪田誠惠氏
彰德會申込者

十二月二十七日迄受付分

一金參拾圓　篠田治策殿

一金拾圓　平壤公立尋常高等小學校職員一同殿

一金六圓　鎭南浦第二公立普通學校職員一同殿

一金九拾四錢　韓昌洙殿、李恒九殿

一金五圓　京城東大門公立尋常小學校職員一同殿、前田茂助殿、京城公立商業學校職員一同殿、光州公立尋常小學校職員一同殿、佐藤明道殿

▲參圓宛　安倍能成殿、速水滉殿、島本愛之助殿、田花島雄殿、三山喜三郎殿、岡稠松殿、菊池公立普校職員生徒一同殿、八田吉平殿、渡辺忍殿、李恒英殿、洪承均殿

▲一金二圓九十六錢　井上政平、河野龍三、野原正夫殿

▲一金二圓宛　古莊逸夫殿、坂本常政殿

▲一圓五十錢　西川九滋殿、一圓宛　末松熊彦殿、朴齊彬殿、李聖默殿、下郡山誠一殿、嚴元燮殿、末松多一美彦殿、池元萬壽殿

夫殿、宮島敏雄殿、松月秀雄殿、賀田直治殿、田西信藏殿、深谷潤殿、朴箕鎬殿、金相弼殿、井田勝宗殿、川城行雄殿、片岡房之助殿、日高英介殿、下村昌寛殿、篠井貞次殿、島毛鶴殿、賀潤東殿、橋本重策殿、福島、陳雄殿、柏木秀殿、通川公立普通學校職員會一同殿、隔島二臟殿、村松源吉殿、渡部剛助殿、洪鍾萬殿、五十錢也阿部道吉殿

合計　一百五十圓九十錢也

累金　五百九十九圓九十錢也

市内均一圓均一開始！

ビュイツク號其他新車御新自動車が綺麗で安全第一タクシーの御用命は

御銀町　京城タクシー　電話本局一〇四〇・二七四四

日本ゼネラル　モータース株式會社

日本ゼネラル・モータース株式會社の廣告部支配人デー・ピー・スキンナー氏はストツクホルムのゼ社總販賣支配人に榮轉されることになり其後任として今回ゼームス・エヌ・バード氏が來任された。同氏はウイスコンシン大學出身で大戰後米國直接郵便廣告會に關係し後米國自動車雜誌に廣告部副々部人として數年間在職し、一九二二年にはニューヨーク州バファロー市のカー・デックス會社の廣告支配人となり、其後ニューヨーク市及びミルウオキに於て米國廣告代理店に關係し、本邦ゼネラル・モータース輸出部に入る迄四年間ミルウオキに於て廣告代理業を營んで居つたと云ふ廣告業に於ては千年山に千の老練家である。氏はや仲々の新學者でゼネラル・モータースに關係してからもミシガン州ポンテアク市のトランスポテーションコ專門學校に聽講に行つてゐた程である。

記事滿載　京日運動號　新年號出づ

増大號で定價は廿五錢

わたしのはなし

素手の妙技　醫學博士　渡邊晋

墨堤を漕ぐ　慶北知事　林茂樹

ラ式の誕生　京日社長　松岡正男

スポーツと骨關節の變化　醫學博士　鈴木元晴

健康への道　上杉敏夫

半島體育界の將來　諸岡源吉

新春スポーツ界展望　一記者

レコード解禁　梅澤慶三郎

アメリカンフツトボール　園部暢

規則違反の研究　宮田保

温突話題

急轉歩野球ばなし　松島松雄

杓子よどこへ行く　和歌泉

初めての十哩競爭　吉坡老人

ラグビー漫談　M・O・K

武道家を待過せよ　篠田治策

慶熙の敗因を探ねて　古澤勘兵衛

スキー登山の進出　一記者

日、比、支、の陣容　いちきしや

陸上競技規則改正　X・Y・Z

中等學校ラグビー戰記　本山一彦

朝鮮リーグを終へて　Y・K・生

鮮滿對抗硬球戰記　アハハ生

羽根ゲーム―ごしつぷ―馬術聯盟の現狀

林博之―一寸した埋草　宮田生―陸上

記錄表―排球規則の改正

競技規則の改正　一記者

新春、オンドルの氣樂な好讀物

本紙販賣店　最寄り書店で販賣

ファンも運動家も指導者も必讀

△色の白くない方の白粉

肌色美顔水

色の白くないのが自然にかくれ……

脂肪のわる光も消え……

生れつき色が白いやうな白さに……

上品にそして清新な……

落附いた美しいお化粧が出來ます

あぶら性の方や―

年ばいの方にも―

美容葡萄酒

赤玉ポートワイン

讀書人は……

運動不足になり易い　その爲の消化不良や不眠症も存外多い　赤玉必要のポイントも一つまりはそこにある

精力衰退の人に

冷へ症の人に

神經衰弱の人に

年末出荷三十日から

初荷四日

三國商會

特製煉炭　無煙炭

財界を顧みて…（九）
十年來の暴落に 破産者も出たゴム界

…界のすべてが今年ほど不況に沈淪した年はないのであるが、なかんづくゴムの如きは最もこの苦を痛切に味はつたものゝ一つである。そして他の商品の大部分が全く金解禁準備による爲替の騰貴によつて値下りを見たのに拘らず、ゴムだけは金解禁の影響を受けることが少かつた。といふのは我國とゴムの輸入先たるマレー半島との爲替關係が異なつた立場に置かれてゐるためである。然らば何によつてかくの如き慘落を見、不況をなめたか？それは全く生産過剩といふ悲觀材料に徹頭徹尾祟られて行つたからである。以下すこしくゴム界の推移を述べることゝするが、鮮内特種の推移として何等特記すべき材料がないので再び我國におけるゴム界について一瞥を加へることは豫めお斷りして置く。

◇

元來ゴムの生産過剩傾向は本年に始まつたのでなく、昨年十一月一日英國ゴム制限法の撤廢にそもそも端を發するのであるとの結果論を聞かされて職だしは悄然として、いはゆるゴム洪水で恐怖的人氣に相場は三十錢臺に崩落したまゝ越年したのである。本年に入つてからは一月中の米國消費が豫想に反して良好であつたので早くも先行は樂觀されて四十錢臺に反騰し、二月には更に六十錢に奔騰し、本年中の最高値を現出した。その後英蘭の減産や米國消費の良好といふ樂、悲觀材料が交互に相場を支配し、一高一低、四五十錢臺を往來してゐたが、六月末頃より逐月の採液期に從つて職だしの增加はいよいよ激しくなり、人氣は軟化し、本年下半期の落勢がこゝに始まつたのである。一方ロンドンにおける在荷は累月激增し、世界的に不景氣が行はれた爲、相場は漸落步調をとり始め、九月末には四十錢程度に落ちた。かくて總賣人氣となつてゐるところへ十月末ニューヨーク株式の慘落があり、唯一の消費地たる米國の消費減退氣構へで、落勢は益々加勢されて殆ど底止することを知らない狀であつた。これがため相場は廿錢臺を割らんとするまでに落ち込み、十年來の最安値を現出してしまつたのである。

◇

かくして英米市場の有力なる業者の中には破産するものが續出し、我國においても神戸市場の當業者間には一時倒産者を出さんとする形勢にたち至つた。これがため市價維持策を講ずることが必要となり、その方法として提唱せられたものに一、一時輸出禁止案、二、白人ゴム園同盟案、三、ゴム園新規開墾休止案、四、日曜採液禁止案等があるが、この中一つとして實現を見たものはなかつた。ただ最も有望視されてゐたのは日曜採液休止案で、蘭領におけるゴム園の日曜採液を休止すれば優にゴム價を四十錢臺に引返すだけの力はあると見られたに拘らず、蘭領の土人ゴム園との協調が不成立に、最近に、蘭領においても日曜…納れざるところがあつたゝめ結局有耶無耶に終つてしまつたのである。

◇

かくて市價維持策も徒勞に歸した形となり、人氣は益々惡化し、加ふるに米國自動車工業が不振を極め、十一月の如きは十六萬臺しか製造を見ず、前月に比して十萬臺の激減を示したこと、從つて消費の激減していつたこと、およびロンドンの在荷も逐月激增して年末には八萬トン内外の在荷が豫想せらるゝにいたつたこと等からして、結局本年はこの不安狀態を續けるより外なき有樣となつてゐる。しかし、現在の價格は既にすでに生産原價を割つてゐること二、從來の買控え傾向の反動が必然的に現れてくること三、賣手が現在買越つてゐること、四、米國その他歐洲諸國の消費が好轉傾向であること等の強材料が濃厚であるから、來春に入ると共にこの不況狀態は漸次立直るものとみられながら越年することになつたのはせめてもの慰めであらう（たかた生）

證券界は受難期（下）
金解禁と政局で 十數年來の不況

三月 即ち政界の情勢が混沌としてゐるので新規注文は減々として振はず大勢は依然落潮をつゞけてゐた

京取	二五、九	二三、六
大新	八九、六	八四、三
東新	一六〇、二	一五三、〇

四月 月初に於ける不健全な約定の解合が漸次擴大となり又も政局の危機を思はしめ市況は不振を呈して得なかつた、その上六日には日曹證券に大波瀾起り中旬には間斷たる金解禁が宣傳され不安人氣は全く崩落となつた

京取	二三、六	二一、〇
大新	八七、六	七八、八
東新	一五九、五	一三六、九

五月 一時高騰を生じた株式界はその後反落をくだるが如く慘落し中旬頃には買方の投げ物と賣方の追擊で主力株中心の大崩落相場が展開され人氣は不安から恐怖へと轉じた

京取	二二、〇	二〇、〇
大新	八三、七	七五、〇
東新	一四一、〇	一二三、五〇

六月 即ち政局は獨り市場の利害のみでなくまさに國家經濟の危機としてこれが對策の焦慮の聲なるが各方面から叫ばれ下旬は政局の急轉となり相場も依然慘落の途をたどつてゐた

京取	二一、三	二〇、〇
大新	八一、四	七六、八
東新	一三一、二	一一六、七

七月 二日いよいよ濱口内閣成立し市場は好感を以て迎へたが一面金解禁の決定とこれに對する緊縮政策の發表による恐怖人氣を起さしめ大阪の四十萬圓違約不拂事件の勃發から十五日には株式一齊に暴落し中にも東新の如きは百圓を割れの歷史的相場を出現する等大震災以來の惡況を示した、しかし月末の波瀾の後二十五日には再度の百圓臺を回復し、また貿易の好轉、賣過ぎの反動等で人氣やゝ落つき相場も大きな波瀾を見せなかつた一方地場の京取株も新株の二割減配の噂で人氣を惡くしてる向きもあり古川系の連分的投げ物現れ十七圓三十錢の新安値に落ち京取二十圓臺割れの先驅を成した

京取	二一、三	一七、三
大新	七八、〇	六三、七
東新	一三六、一	九九、七

八月 初旬は前月の波瀾の後を受けてまづ一服小康狀態とはなつたが東新の金融的株不足の結果遂に新株八十錢を續け盤崩れは本年初めての最高なる買物現れ勢に相應じて株式は主力株をはじめ諸株に亙る強調に向つたが下旬に至り解禁の一巡出盡くしと共に漸く落潮を帶びて來た

京取	一八、八	一八、〇
大新	六六、四	五七、五
東新	一〇四、〇	九六、九

九月 人氣の落潮著くと共に暴騰步調に轉じて十七日頃打ち以後小波瀾を續け市場の現勢は閑散保合を呈した

京取	一八、五	一七、六
大新	六五、〇	六四、〇
東新	一一五、五	一〇一、七

十月 依然保合の折柄十八日は減配案の發表で又また人氣惡化したるも同株の増配と月末の英米金利安の好感で反騰商を示した

京取	一八、五	一七、〇
大新	六五、〇	六四、〇
東新	一一五、五	一〇一、七

十一月 英米の金利安から世界的低金利時代となり九日東新の如きはこれが好感で百二十圓を突破し八月以降の高値を示した、しかし問題は次ぎから次ぎへと馬鹿の如く現れ二十日は政變において金解禁を認めし昭和一月十一日と決定され續いて疑獄事件起りて政局はやゝ不安化して來た、こゝにおいて相場も漸落步調をたどり幾多の波瀾を演じた

京取	一八、六	一八、五
大新	六五、九	五九、〇
東新	一二〇、六	一〇七、七

十二月 財界の依然たる不況で相場は全く氣が乘らず、はやくも内地市場は越年氣分に入らんとして來たが大勢に接してはきすがの買方も折角の持てず遂に安值を嘗めた、一方地場京取株は永らく十八圓臺を固守してゐたがこれも二十三日松山買の投賣で十七圓九十錢の安値に落ちた

京取	一八、三	一七、九
大新	五九、八	五五、二
東新	一二二、八	一〇六、八

かく かく通觀すれば昭和四年度の證券界市場は多事多難の一ケ年であつた然らば五年度の株式界はといふにこれ又金解禁の撤廃による財界の動き金解禁の撤散によるものが如何なる根本問題をなしてゐるだけそこに危險も潛む依然警戒は禁物であらう即ち解禁後は諸物價の騰貴に伴ふ物價下落の影響が加はり會社の經營は益々苦しくなり不安は一入深まるであらう今後貿易の超も增加せず金融界も大したとなく推移すれば市場はやゝ安堵して、これまでのドげの反動で或は一時的に若干の反騰があるかも知れぬがこれとて時日の經過を待たねば如何とも見定めはつかないしかし貿易入超の減少は財界不況深刻化を意味し金融氷結の原因であるから大局からして新年の株式界は警戒を要するであらう（淺谷生）

四年の外國貿易
入超六千九百萬圓
…大藏省發表

【東京電話】大藏省發表＝昭和四年一月一日より十二月廿五日迄の外國貿易概算左の如し（單位千圓）

輸出	二、一三二、四〇七
輸入	二、一九二、一五八
計	四、三二四、五六五
入超	六九、七五一

前年同期入超一億六百九十五萬圓に比し一億三千七百十九萬九千圓の入超減である

米界極度に不振
不景氣の深刻と 目先の不見當から

本年の鮮米は前年の實收高一千三百五十一萬余石と一昨年の收穫高に比し三百七十八萬石の凶作と見られ相當高値を孕む米であつたが何分内地米が平年作以上の收穫となつてゐるのと昭和二年度の持越米豐富に押へられて下半期は五月の二十六圓七十錢を高値として僅一圓五十錢の高下に過ぎなかつた、併し一方鮮米移出高は昨年十一月以降本年十月までに五百六十余萬石に達し前年の七百四十二萬石に比較すると百八十萬石の減少となるが右收穫高の減少した割合からいへば案外多く移出したわけである これは外米輸入制限の延長により内地が鮮米の需要を增加した結果と見られてゐる、從つて下半期の鮮米に至る所正米は漸騰し八月から九月にかけては各地取引市場の保合狀態を脱しまれに見る現象を呈したもので米が再び鮮地に買ひ戻すといふ近ある、それが爲米價も九月下旬には三十圓の高値を出現したがこれは古米と新米の端境期における一時的の現象に過ぎなかつたので移出米から流入する金額は前年に比し非常にすくなく本年の米作は作柄の減收と市價の低落に災は二重の損失をかうむり離る成績不良に終はつたわけである、今そのあゆみを月別に示せば左の如し

	高値	安値
一月	二五七五	二五一〇
二月	二五五〇	二五三〇
三月	二五九〇	二五三〇
四月	二六〇〇	二五二〇
五月	二六二〇	二五四〇
六月	二六七〇	二六二〇
七月	二六八〇	二四四〇
八月	二八〇〇	二六八〇
九月	二九九〇	二七七〇
十月	三〇〇〇	二七〇〇
十一月	二八六〇	二五九〇
十二月	二六三〇	二四五〇

以上は鮮米の正米を主體として鮮界四圍の狀勢に天候の如何作柄の良否等による期米界の動靜を更に略して見るとまづ一月の新甫三…限は鮮米の不作に先高人氣高潮し二十一圓五十九錢と中限より二圓七十一錢の大上鞘に生れ會したが正米の移出不振と政府押下米の移入に從ち人氣一變して中旬は六圓臺を割り内地米買收高の增加に期米は更に五圓四十三錢と暴落した、越へて二月の新甫四月限は四十九錢上鞘の二十五圓九十四錢に生まれその局面打開の買物を喚起し中旬は六圓五十錢と戻つたが内地米の豐富による移出不振に鮮米の移出依然振はず各地在庫共おびたゞしき抵當米に月末は再び五圓七十錢と挫折し五限から七月限にかけてはただ先高見越に上鞘を豫想むのみで二十六圓から七圓臺の往來相場に過ぎなかつたその間米穀法の上院提出過政府百萬石の買上げ五月一日の發表米減少等買氣をそゝる材料は現れたが人氣が常に鈍化したのと買方もこれに伴ふはなかつたため漸氣は盛り上らなかつた、然し天災期の六月に入るや雨量不足による植付遅延で八月限の新甫は二十八圓三十二錢と一錢、遂に先米の堅硬とあいまつて中旬は七十五錢と更に吹き上げ強氣も漸く有卦にはいつたかの觀を呈したが全鮮に潤雨沛然として至るや忽ち形勢逆轉して月末は八圓九錢と挫折し明けて七月の新甫九限はその余勢で六錢下鞘の七圓九十三錢と生れ政變による株式の慘落と大藏の好轉に反響しいちぢるしく惡化せる堂島先限の投げ物を誘致し賣方の追擊と相まつて落調顯著をつげ中旬は脆ろくも二十三圓五錢と高値から五圓七十錢の鞘下げを演じ買方は悲慘の極を嘗めたものである、そうしてこの逆火汁抜けと値頃觀から買物に月末は五圓五十錢と戻した八月の新甫十限は新米氣分濃厚に一圓九十錢下鞘の三圓九十錢を高値として忽ち二圓臺に崩れ正米の強硬に三圓六十錢と躍返したが政府が倉庫米の延期に決し時米を以て更に暴騰すべく名古屋において加賀米一萬二千石の買付を發表しその内三千石を移入するや鮮米界の人氣みなぎり躍進を開始せし賣方も逐に觸迫と問題に解合成立するなど擾亂の先鋒的投物で期米は再び二圓八十錢と挫折した、かくして軟派はようやく氣を伏せしむるやこの際によく天下とみて益々賣物を追し十一限の新甫はその余勢を二百十日の當日無難に廿一圓廿五錢と生む、不時に生れその賣撫所…みで廿四圓八十錢と本年中の安値に…

…買方は何とかして挽回すべくひそかに内地米の買付を聞き…入した三千石以外は何んとかして僅少に過ぎなかつたことが分つたので正米の當限の九限に擴く賣方は窮して期近の九限に擴くりを行ひ納賣が切迫するや一時爆作を豫想された昨年並の一回豫想一千四百萬余石と凶作に逆轉し又正米は至る所掛底して日々高くなる一方にさしも勝ち誇つた賣方も周章狼狽八方に手分けして鮮米の蒐集に努めたが豫定の數量容易に集はず遂に買方の歡迎しにかゝつて買米を余儀なくし損多くも三十圓四十九錢と暴騰して踏み了るなどその興亡は寔に恐るべき馬賊の如く投機の激甚に驚かざる者はなかつた、かくして期近は外の高値を現せしも中限は五圓三十九錢先物三圓五十二錢と限月を取り越へて十月の新甫十二限は九十錢と生れたが一方豫想六千五十七萬石の發表と共に四圓四十錢と發會し崩…米の挫下で中旬は三圓二十錢と挫折したが朝鮮地方の乾燥に二回豫想の減收幅へで月末は五十四錢と吹き返し一限の新甫は五圓五十錢と生まれ鮮米二回豫想…

●初相場豫想懸賞募集

・初立會（一月四日）

京取株　短期前場寄付値段

仁川期米　前場三月限寄付値段

右豫想を左記要項に依つて募集します

賞品

（一等）美術置時計　二人

（二等）金卷繪硯箱　四人

（三等）エバーシャープ　十人

各項を通じ十六名を限り贈呈します。適中多數の場合は抽籤を以て定め、適中者なき時は最も近値のものより順位等級を定めます。

締切　昭和五年一月二日本社着分まで

發表　昭和五年一月七日

宛名　住所氏名を明記して「京城日報經濟部」宛のこと

（注意）【葉書に一人一枚一題限りとす（兩題を端書一枚に連記は無効）】

京城日報社

殖銀の 産業公共貸出

十一月末現在殖銀の産業公共貸出合計は三萬二千二百四十三口二億九百六十六萬圓で前月末に比べると口數に於て四十三、金高に於て八十九萬九千圓の何れも增加を示したその途用別内譯左の如し

用途別	口數	金額
金融組合聯合會貸付	[illegible]	[illegible]
行政	[illegible]	[illegible]
教化	[illegible]	[illegible]
衛生	[illegible]	[illegible]
交通運輸	[illegible]	[illegible]
水利事業	[illegible]	[illegible]
土地改良	[illegible]	[illegible]
農業	[illegible]	[illegible]
林業	[illegible]	[illegible]
鹽業	[illegible]	[illegible]
畜産	[illegible]	[illegible]
工業	[illegible]	[illegible]
水産	[illegible]	[illegible]
電氣瓦斯	[illegible]	[illegible]
醸造	[illegible]	[illegible]
土木	[illegible]	[illegible]
鑛業	[illegible]	[illegible]
商業	[illegible]	[illegible]
土地家屋	[illegible]	[illegible]
債務整理	[illegible]	[illegible]
旱害救濟	[illegible]	[illegible]
其他	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]

本年の年末決濟は 平穩裡に終了か
警戒が嚴しかつただけに 破綻はない見込

鮮内の年末金融は各地とも順調裡のうちに推移しつゝあるが、一般に不況のため商取引の不振は免れず資金の動きは前年に比して緩漫である、それに最近疑獄關係を…するにいたつたしかして一方金融界の態度も警戒を與へ…その後の回收に頗る順調に進んでゐるため廿六日の一億二千五百十萬圓を絶頂として漸減を示すにいたり廿七日は更に前日に比して百五十四萬圓を減ずるに至つたしかして以上の發行高を前年の絶頂が十二月廿四日の一億三千五百萬圓であつたのに比べると本年は二日おくれて絶頂を示ししかも一千萬圓少かつた關係あることの前年に比して一千萬圓減の傾向は今後依然として年末まで續いてゆく模樣である從つて三十一日の發行高は前年の一億三千二百四十四萬圓であつたのに比して大體一千萬圓見當少く一億二千二百萬圓以外に止まるのではないかと見られてゐるかくて金解禁斷行を目前に控へた本年の年末決濟は銀行筋の警戒が相當嚴しかつただけに別に破綻を見ることもなく順調なうちに終了するものと觀測されてゐる

貯銀今期利益
七萬圓見當

貯蓄銀行の今期は創立後最初の決算だけに頗る注目されてゐるところであるが木村支配人は大略今期の利益は七萬圓見當で創立費の一萬圓を償却して決定積立、役員賞與等を見こんでも最初の目論見通り八分の配當は出來る見こみであるといつてゐる、なほ株主總會は一月下旬開く豫定となつてゐる

朝鮮水電の 鐵道計畫進捗
創立總會は來春

かねて朝鮮水力電氣では自社の附屬會社として鐵道會社の設立を計畫中であつたが、その後の準備は着々と進行し、來春二月頃には創立總會の豫定である右鐵道會社の成立の上は從來朝鮮鐵道に經營させてゐた咸鏡線興成線、松興線の經營を解き同社の手でこれを經營するはずで、更に新鐵道から滿浦までのガス鐵路線を新線に改める計畫である。

鮮滿へ 獨安賣込計畫
猛烈なる宣傳

ドイツ肥料シンジケートでは從來硫安およびロイナホス、ニトロホスカの鮮滿市場への賣込を計畫し、殊に莫大なる宣傳費を以て宣傳につとめてゐたが、最近内地市場において獨安およびロイナ、ニトロホスカ等が大體一巡したので、この方面に向けられてゐた努力を鮮滿市場開拓に集中しはじめて來た。しかしてこの點は未だ積極的に具體化してきてゐないが、十一月下旬頃シンジケート技師およびドレッスデン農事部の技師が來鮮し朝鮮における狀況を調査すると共に、ドイツ肥料の直賣を大々的に行ふべく現地に親方を出し、更に滿洲においては、當に明年度よりロイナホス、およびニトロホスカの圃場試驗を實施することに既に話まつたのを初め、一流肥料や支那に肥料の無料提供を申し出で、徹底的に鮮滿市場の開拓につとめることになつた

倫敦銀塊低落

【ロンドン電報】本日銀塊相場は二十一ペンス四分の三と低落一九〇三年一月最低値に比し僅か十六分の一ペンス高に過ぎぬ

朝窒と 朝水の合併
條件付認可

朝鮮水電株式會社と朝鮮窒素肥料株式會社とはその發電所および工場設備の相互利用のため舊臘合併を認可せられたが、その條件として工場等を一體として運營せしめ從前の株主に惡影響を生ぜしめないためさきに兩社の株主總會において…

全國銀行勘定
預金增貸付減

【東京電報】大藏省發表、十一月末現在における全國銀行の總預金高は百二十一億三千五百八十五萬二千圓で、前月に比し二千七百八十一萬二千圓の增加、前年同期に比較すると一億二千二百六十八萬五千圓の增加である、貸付高は百十一億四千八百二十八萬圓で、前月に比し三千九百二十二萬三千圓の減少である、なほ手持證券の額（外國證券を含む）は八十七億二千六百十一萬二千圓で、前月比較すると九百三十三萬二千圓の減少を示してゐる（武藤生）

京電の 唐人里認可

京城電氣株式會社は漢江沿岸の洪水に際しても絶對に浸水の虞なき江西面唐人里に一萬『キロワット』の優秀なる火力發電所の建設を計畫し、之が許可を申請中であつたが、右の一萬『キロワット』と金剛山電鐵より受電する水力の七千三百『キロワット』とを以て常に供給用に充て、現在の龍山發電所は豫備と爲すものである

朝鐵の 自動車線買收

朝鮮鐵道では自動車網の擴張に力を注いでゐるが、今回咸興線の關係自動車線即ち咸興から咸南新興間（北側）を買收する計畫を立てて交渉を進めてゐる模樣である

運合の 業績査定終る
創立は一月廿日

運送合同會社の業績査定は咸鏡線の一部を殘し他は全部終了した、しかして同部即ち元山、咸興、城津の業績査定は二十八日完了の見込で創立總會は一月二十日と決定した

鎭平銀相場

	前日	本日
	[illegible]	[illegible]

東京現株値段

東新	[illegible]	鐘紡	[illegible]
同新	[illegible]	東拓	[illegible]
東新	[illegible]	同新	[illegible]
日銀	[illegible]	富士紡	[illegible]
取新	[illegible]	白石	[illegible]

（東同新同銀同取同）

海外經濟電報

倫敦銀塊	二十一片四分三
紐育銀塊	四十六仙八分一
米棉	十五・安
英米爲替	四弗八八仙四分一
日米爲替	四九弗一六分一
スチール株	一六五弗八分三
アナゴンダ株	七三弗二分一

手形交換

枚數	四、八一二枚
金額	三六二、〇七一、五一一錢

對外爲替鮮銀建値（廿八日）

對英	二志〇片十六分一
對米	四十九弗丁度
對支	九十二兩八分三

東京コール（廿八日）

翌日拂	一錢二厘乃至一錢四厘
無條件	一錢三厘乃至一錢四厘
普通	一錢三厘乃至一錢四厘

日銀概況（廿七日）

發行高	[illegible]	增
正貨準備	[illegible]	增
限外發行	[illegible]	增
貸出金	[illegible]	減

鮮銀概況（廿七日）

發行高	[illegible]	△
正貨準備	[illegible]	△
保證準備	[illegible]	△

正米

京城 三等二十四圓八十錢、二十四圓五十錢、中二十一圓七十錢下二十一圓一等糯白二十一圓、白米上二十四圓八十錢、二十四圓、中六十錢

大豆 龍山十四圓七十錢、長淵十九圓十錢、十四圓五十錢、載寧十四圓十錢原十五圓十錢

仁川 三等二十四圓八十錢四圓五十錢拔三等二十錢二十三圓三十錢九厘半、二十一錢標準米組合一等白米二十六圓三十錢六厘、上物六錢の唱へなるが内地買付不良のため各地出廻り薄なるも頑張き商狀である

大豆 長淵龍山十四圓七十錢、山十四圓、十五圓二十錢海州十三圓三十錢天安平澤十三圓六十錢海州十三圓四十錢の出來値なるもこれも地買行不良のため頑張き商狀である

仁川 各地大納會とて双方見送りに相場は不變三マーク三等二十四圓八十錢四等二十五圓九十錢唱へであつた大豆は正米模付相場に双方見送りに龍山十四圓七十錢長淵十五圓丁と不變唱へ

群山 本朝の廻着は九俵作資物無く買手も時間に手を出さず無商にて相場は前日同様拔三等二十五圓六十五錢四等二十四圓八錢見當であつた

釜山 今朝は天候不良にも拘らず入荷九千叺乍ら賣方の見送りつたが、三等五錢安の二十五圓六十五錢四等十錢安の二十四圓三十錢唱へにて精米筋の買埋が二千六百叺ばかりの手合があつた、主要手口賣方　片倉、富島、櫻本、買方、大池、富吉、澤見

大豆 本朝釜山物二十叺出廻りたが、この品質不良で十四圓七十錢賣りなるも賣手控へ商狀に商内出來ず市場は三等十五圓丁度四等十四圓九十錢見當である

糯米 出廻り十叺あり釜山着なるも必需筋の買に二十六圓五十錢處にて商内あり手控き商狀である

仁川穀物出入（廿八日）

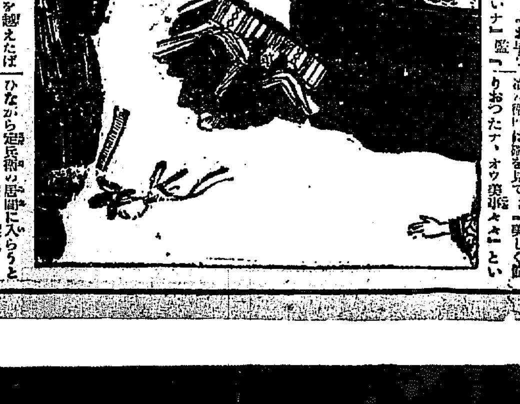
移出入		
玄米（叺）		三六五七
同（袋）		五二二三
白米（叺）		二二六八
同		二三三二
大豆（叺）		四六六三
移出		
玄米（叺）		二五三六
白米		ナシ
同二十一叺		二四六八
大豆（叺）		七四八二

群山廻米高（廿七日）

玄米	四三二〇叺
一般玄米	三三〇石
籾	三五七八石
籾玄米	七六八一叺
玄米	一三〇袋
籾	七一八〇石
合計	一〇三〇石

落穗

▲不景氣とこぼしながらも餘米はどうやらかたがつきそうだ▲郷に此ッぽをだす向きもないらしい▲でも随分苦しい向きがあることは爭はれぬ事實▲なかには銀行の方だけはどうやら辻褄を合せたが▲そのこたるや民間の高利貸金が廻つた結果らしく▲このごろ松町筋あたりで立派な店を張つてゐても裏には高利貸から責め立てられる向きがザラにあるそうだ▲師走の街頭には氣持の惡いじめじめした暗い音をたてゝ廻る▲なかに皆くなつた主人は六道の辻で迷つた亡者いふところ▲だが、何とかかとかいつても鐵節胴拔けて行くから始末がならのだ▲いよいよ今年は本日を以て落穗子もお別れする▲新年はまた舊觀を新にして讀者にまみえやう



京染はみのやが一等

…老人とはなんだ五十歳を越えたばかり、武田信玄に比ぶれば赤兒のやうなものだ、時にその窓から外を見ろ、雪が降つて居るぞ」妓「イヤえらく降つて居るなア」雪は斷しい今の季節に雪が降るは、取りこの世の中ばかりが俗塵つてあんわけではない、季節まで冊変つて居る」といつた時に有村治左衛門が治『天雪を降すとは愉快だナ、雪は和議すゝぐと讀む、恥辱を雪ぐ、消れたるものゝ恨みを遂げさせる道はわれわれどもの望みを遂げさせんと天が雪を降らしたものであらう、薩摩浪士が吉良へ押寄せた時も大雪であつた、かの越前菊山にて吳の夫差を討つた時も大雪であつた』非出の武々愉快な事、一寸ひとつ読んでゐるところへ出て來た主人定兵衛が定『お早うございます』治『オ、主人か、昨夜は厄介にな

味自まん 羽二重餅 橋屋

つた』定『お粗末をいたしましたどうぞこちらへお出で下さいまし手狹ではございますがわたくしの部屋にお出で下さいまし、一獻差上げます』治『それは忝い』雪ひ馳走になるかナ、ところで主人、讀文は有志を一ヶ求めて貰ひたい今からわれわれ共打揃つて行かねばならぬ所がある、それへ詣…

維新秘錄 井伊大老（173）
松林伯知演　吉川保正畫

品川新宿遊屋定兵衛、これは雅女郎でありますがこゝへ參つた有村、關一、稻田、關、森、蓮田、廣岡の六人、一夜愉快をいたしたが雨屋とは明樂の事ですから有名の湖も布團よろしい、その夜はこゝに泊つたが翌朝早く目を覺ましたは豐鐵醫物スルと相方の婦時が「また早うござりますよ」監『イヤ、今朝は用事もあれば悠々といたし居ることはならぬ、大層冷えるナ』姐『雪が降つてをります』監『なんだ、雪が降つて居る、それは珍しいナ、今日は關係であらう、それでありながら雪が降るとは珍らしい事だ、ひの狙ひ不思議だナ』姐『大層降つてみますよ今日一日こゝでお遊びなさいよ』監『さういたしてもおられぬ』と床を出て女に倚れられ風呂場に參つて洗面いたし監「あゝ快い心持だ、コレ/\有村、早起ろ/\』といはれて女の部屋からゾロ/\出て來たが『お早う老人だけに雅蘇氏は早いナ』監『…にも南良の用意がなくては誠に臨る、早速とゝのへてくれ』定『へエ/\畏りました』これから買ひにやつた、六人は定兵衛の居間に通ることの時に年頃八の島田の次ぎの間につてゐたは六七歳になる愛らしい女の子、これは定兵衛の娘です治「淑衛門は娘を見て治『美しく成りおつたナ、オウ美しい々々』とい…ひながら定兵衛の居間に入らうとした時にどうした拍子か雛段へボンとつまづいた、グラ/\と雛壇から雛人形がバラ/\と落ちた、女の子はあわてゝ內裏さまを取上げたが』女兒『お父さん、このお侍さまが雛樣の首を取つたよ』とかういひました、それ聞いて治左衞門が治『なんと申す、殿様の首を取つたと、それは目出たい大將の首を挑ぐるはこの上もなき功よく申した、さアこれにて內裏さまを求めるよう』と一同興に入る、それを見て定兵衛が定『これは輕…ちしさうに小屋を見て居るたが、發願と喜んでいつた、治左衛門はけ慶うと與ひ、隣して非常に悦ば…つたぞ」といはれてこの兒はめ…に參つた。

先よと喜んだが、驚して非常に… 錢ら勢しき…その首級を擧げたこの吉利であつたこれから定兵衛の居間で酒を舉げ又食事をして昨夜の勘定として金十兩を置き、こゝで支度をして、愛宕山に參つた。

複方ピラミドン
流感風熱に一番ヨクキク
販賣店各地藥店ニアリ
京城府龍山元町二ノ八九
本舗 (H) 林藥房

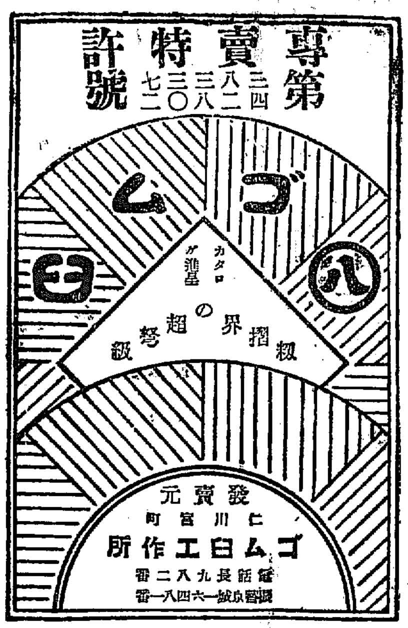
期米　仁川海岸町　（マ）　電話一六〇・三二五　一三七　藤澤取引店

期米　仁川米豆取引所取引員　誠實　迅速　（又）　電話 1020 708　仁川海岸町　治多竹三郎商店

トリスソース

なかなか舊弊人もトリスを介しての洋食には好意を生ず

ソ45

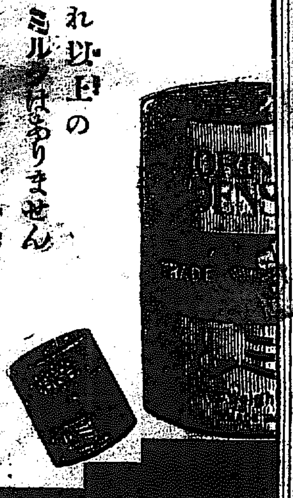


國産隨一

森永ミルク

これ以上のミルクはありません

森永ミルクは日本の乳兒にピッタリ合った
―一番品質の良い―
―一番母乳に近い―
理想的哺育料です



M-19

京城日報 朝刊

本紙朝夕共十二頁

科學画報新年特輯 迷信打破號

迷信は排撃せよ

科學は進歩したが迷信は絶へない。試みに新年號各雑誌の新聞廣告を見よ。何ぞ夫れ迷信鼓吹に類する記事の夥しき!! 我等は我等の生活を合理化をなすべく一切の迷信は速に之を排撃せねばならない。之れ我等が茲に迷信者流の青天の霹靂たる本號を提供する所以である。

陰陽五行說の矛盾　理學博士 新城新藏

西洋に於ける迷信　文學博士 野上俊夫

迷信の心理的解剖　文學士 増田惟茂

迷信の非科學性　理學博士 石原純

家相及方位の迷信　東大教授 工學博士 伊東忠太

日常生活の最大支障をなしてゐる家相方位の謬說を闡ける學人必讀の一大文字

植物に關する迷信　理學博士 白井光太郎

動物に關する迷信　宮里良保

人相と手相の迷信　金澤醫大教授 醫學博士 古畑種基

手相の一の現れである指紋は今日漸く科學的に研究されて來たが世に行はる丶手相說は何の程度まで信ずべきか

醫術に關する迷信　醫學博士 森田正馬

嗤ふべき丙午の迷信　醫學博士 高田義一郎

憑きもの丶迷信　文學士 小熊虎之助

所謂お守札の迷信　文學博士 富士川游

日の吉凶と其迷信　東京天文臺 小川清彦

友引や三隣亡などの日によつての吉凶の無い事を科學的に說明せる一大論策

長篇實用講座 連載

通俗電氣學講座　石原純

電氣學上の智識を初心者に會得出來得るやう、非常な苦心をなして今後數ケ月に亘り連載する好讀物

テレヴィジョンの作り方　苫米地貢

テレヴィジョン時代は愈々來た。その原理は勿論受信機の作り方を懇切丁寧に解說した本誌獨得の好讀物

一粒選りの本誌獨特 科學隨筆

▼一地學者の妻　中村新太郎
▼小笠原への旅　岡田彌一郎
▼交附科學見聞記　石川知福
▼三すくみの說　大町文衞
▼學術寫眞　武田久吉
▼蚤の曲藝　江崎悌三
▼砂　渡邊萬次郎
▼地學者受難記　田中館秀三
▼松樹の若返り　鏑木徳二
▼森と人と　本田靜六
▼松澤病院にて　杉田直樹
▼世界一の老木　三浦伊八郎
▼偶然の發見　矢野宗幹
▼支那湖の附近　石井重美
▼甲蟲の嘴　石原初太郎
▼刄物の切味　加瀨勉
▼小さき勇士　中村左衞門
▼蚊の　甲賀三郎

學科戰線 スンセンナ

學位論文製作者の手記　赤外線氏

赤外線氏とは何人ぞ、創作か、實際にあらず、學位論文作者の悲喜なる身邊描寫で而かも創作よりも面白く論文よりも興味がある學界の一大照魔鏡である。

別冊附錄 日本怖るべし

原著 米國海軍大佐 ジヨンソンデビス
序文 海軍中將 上田良武
譯者 海軍大佐 小澤覺輔

四六版堂々二百餘頁 大冊科學畫報新年號愛讀者へ洩れなく進呈す

全米讀書界を震撼せしめる問題の書!!

見よ全米國に漲る此の恐日病! 日本は彼等のいふが如く、しかく恐るべきものなりや、其著者は米國航空師團長として又險惡の花形、從つて黄色紙式に徒らなる敵愾心をそゝらんとするものでないことはいふまでもない。今や我齡含衆の目睫に迫れる折柄、我等は茲に此問題の快著を推り得たことを喜ぶ

内容目次概要
1. 太平洋の戰雲日本
2. 來るべき日米戰爭
3. 太平洋の不死鳥日本
4. 恐るべき空の日本
5. 日本はジブラルタル
6. 米國の苦きジレンマ
7. 日本の行進
8. 日本の野心
9. 防空なき米國

定價 金一圓

東京市神田區錦町一ノ九 振替東京二三九九六 科學畫報社

商業登記公告　全州地方法院

[illegible]

商業登記公告　全州地方法院

[illegible]

商業登記公告　平壤地方法院

[illegible]

商業登記公告　全州地方法院

[illegible]

商業登記公告　井邑支廳

[illegible]

法人登記公告　鎭安出張所

[illegible]

商業登記公告　全州地方法院

[illegible]

法人登記公告

[illegible]

商業登記公告　抱川出張所

[illegible]

商業登記公告　南原支廳

[illegible]

商業及法人登記公告

[illegible]

商業登記公告　京城地方法院

[illegible]

法人登記公告　洪川出張所

[illegible]

商業登記公告　任實出張所

[illegible]

法人登記公告

[illegible]

春川支廳

[illegible]

日本は海軍制限に止まらず 實質的縮小を期待

―歸する所は帝國の安全保障―

若槻全權のステートメント 廿八日外務省より發表

【東京電話】若槻全權がロンドン到着の際、發表したステートメントは二十八日外務省より發表された、全文左の如し

英吉利政府よりの招請に應じ、會議に出席すべく帝都この旅行を終へたことは予等の最も滿足に思ふところである、予は旅行の途中亞米利加合衆國を通過し、亞米利加政府當局との間に非公式會見をなし、なほ帝國の好意を與へられたことを欣快とするものである、而して亞米利加當局との會談は頗る有益なものであつた、今や予等は倫敦に到着、なほ會議開催までには多くの日時が殘されてゐるを以て、予及び予の同僚は英吉利政府當局との間に亞米利加におけると同様、率直なる意見の交換をなす機會が得られることゝ信ずる、予等は非常な期待をもつてロンドンに到着した、予等は會議の圓滿な進行に資するため全力を盡すことを希望してゐる、日本國民及び日本政府は共に會議が成功を收め海軍々備制限のみならず實質的の縮小が實現することを切望してゐる、日本は英吉利帝國及び亞米利加合衆國と比較して劣勢なる海軍力を以て滿足せんとするものである、日本の要求は日本帝國の安全保障にあつて未だ日本は攻勢に出でんと考へたことはない、予は日本の平和的政策が必ずや本會議の崇高なる諸目的達成のために列強と共に自由且つ有效なる協力をなすことを可能ならしめるであらうことを確信する、予は新しき信頼に基く各國の感激により今般の會議が必ずや永久的平和の礎に資し、パリ條約を一層擴大し鞏固なるものたらしめるに至るであらうことを確信するものである

全權一行を迎へて 英紙の熱烈なる歡迎社說

過去十年間に於て日本程 政治道德を嚴守した國はない

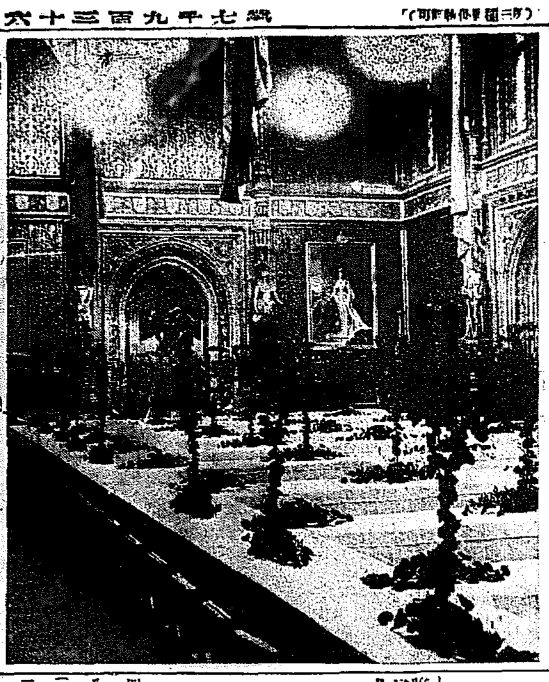
【ロンドン廿八日發電】若槻全權一行の渡英を迎へ、本日のデリー・エキスプレス紙は世界平和軍縮完成に對する日本の態度を激賞し左の如き歡迎の社說をのせた

歐洲大戰以來日本は常に世界平和の確立に寄與する軍備を有してゐた、英國は世界の他の國には餘り御世話になつたことはないが、英國と日本とは常に相協力して國際的調和のために重大な效果を與へて來た、日本は世界政治に忠實な且つ非常に助けになる國であつた過去十年間に日本程政治道德を嚴守に示した國はなかつたと信ずる

國境露軍後退し 在留邦人漸く安堵

國際連絡列車近く開通

【東京電報】哈爾賓田中總領事よりの報告によれば、滿洲里、海拉爾地方の露軍は二十三日より占領地帶を撤退しはじめ、赤軍司令部は二十四日より國境に撤退し二、三日後には海拉爾よりの國際連絡列車も開通すべく、滿洲里地方在留邦人は安堵の色を示してゐると



◇……倫敦海軍會議に歷史的序幕の場面となる英國議事堂內皇族室

（寫眞は去月九日、休戰記念日に英國陛下がヴィクトリア勳章佩用者に對して午餐會を御催しになつた模樣を寫せるものでこれが公式御會合に同室を使用せられた最近のものである）

米國の軍縮大使 横濱着は一月廿一日の豫定

【ワシントン廿七日發電】臨時駐日米大使キヤツスル氏は本日サンフランシスコに向け當地を出發した三十一日プレジデント・ジヤクソン號で發港途中ホノルルに立寄り故郷マウイを訪問の上一月二十一日横濱着の豫定である。

英佛首相 會見か 會議前に

【パリ廿七日發電】フランス國務總理タルデュー氏は五國海軍縮小會議開始前イギリス首相マクドナルド氏と會見し若干主要問題に關し英佛相互の見解に關する意見融和に努めるであらうと傳へらる

歲末に際し 元勳に賜饌

【東京電報】天皇陛下は歲末に際し元勳御優遇の思召しから西園寺公爵、山本、三大將位、若槻首相以下國務大臣、倉富、平沼樞府正副議長に……

朝鮮を中心とした 昭和四年の出來事

昭和四年もこゝ二日にして過ぎ去らうとしてゐる。この一年間に朝鮮の歩みを回顧して見やう

一月一日　總督府第一會議室において新年拜賀式擧行
四日　同じく昭和四年御用始式擧行
八日　池上政務總監政府委員として議會列席のため東上
二十六日　朝鮮漁業令、制令第一號を以て發布さる
二十八日　久邇宮殿下薨去あらせられたるにつき、梨本宮は同宮家に弔問を致し、宮內大臣皇后太夫並に同宮家の御親族たる梨本宮家、朝香宮家、東久邇宮家宛にそれぞれ御弔辭奉伺の電報を發す
二月五日　京城齒科醫學校に專門學校令適用の件告示第二十號を以て公布
十一日　第一會議室において紀元節奉祝式擧行同日第七回教育功績者表彰發表
十九日、府令第十三號を以て私立學校規則中改正公布
五日　京城及大邱覆審法院規則施行細則中改正公布
二十五日　京城帝大第一回卒業式擧行
二十八日　朝鮮國有鐵道圖們西部線の會寧、潼關鎭間及び上三峰圖們江鐵橋中心間の一般運輸を四月一日より開始の件告示さる
四月四日　池上政務總監政府委員として東上中病を得て本日午前九時四十五分築地六方館に於て逝去
九日　故池上總監の告別式本日午後二時から四時までの間大阪阿倍野齋場で擧行、同日午後三時から京城長谷川町公會堂に於て追悼會執行
十三日　第二艦隊に御乘組の高松宮殿下本日御來鮮
十四日　高松宮殿下御來仁、山梨總督以下仁川に出張
十五日　山梨總督は午後六時より官邸に高松宮殿下の台臨を仰ぎ陪賓として第二艦隊幹部七十名を招待し晚餐會開催、當日午後二時京城神社上棟式擧行
十九日　勅令第八十二號を以て朝鮮教育令中改正、同時に府令第五十號を以て師範學校規程中改正の件決定
二十二日　景福宮內に於て朝鮮博覽會地鎭祭執行さる、山梨總督は本日出發忠清北道視察のため出張
二十九日　第一會議室において天長節祝賀式擧行又長谷川町に於て總督主催の祝賀宴催
五月四日　制令第五號を以て朝鮮簡易保險令公布
八日　高野山別院にて故池上政務總監の法要を執行
九日　山階宮茂麿王殿下には士官學校生徒と共に生徒の御引率を以て朝鮮戰跡御見學の爲本日午後八時四十分着列車にて御入城
十日　山梨總督は御入城中の山階宮茂麿王殿下を主賓とし官邸に午餐會開催
十二日　午前十時より景福宮勤政殿にて殉職警官招魂祭執行
二十二日　山梨總督は近藤秘書官を加へ東上
二十八日　鎭海記念塔除幕式本日擧行さる
六月十日　本日拓務省官制公布さる、朝鮮寺刹令中改正公布
十二日　山梨總督東上中のところ本日歸任
十七日　[illegible]規則改正公布
二十一日　內鮮滿連絡の航空郵便物取扱開始
二十二日　本日午前九時三十分宮中にて兒玉朝鮮總督府政務總監の親任式を擧行さる
二十四日　東洋水利會社起工式擧行、山梨總督以下臨場
七月二日　新任兒玉政務總監着任
七日　山梨總督本日より十三日までの豫定を以て咸南北兩道視察の途に出發、兒玉政務總監は故李太王殿下の洪陵東九陵等に參拜
八日　長谷川町公會堂に於て官民合同の兒玉新政務總監歡迎會を開く
二十二日　山梨總督東上
八月七日　山梨總督歸任
十三日　官制改正勅令第四十號を以て朝鮮各府面邑里程表改正公布
十五日　山梨總督は內地にて病氣療養のため本日京城驛出發
十六日　滿洲無線電信局本日より事務を開始
十七日　山梨總督辭任に依り本官を免ぜられ齋藤實子爵朝鮮總督に任ぜらる
九月一日　本日より三十一日まで商品陳列館に於て第八回美術展覽會開催
二日　東本願寺法主大谷光暢師智子裏方同伴にて入城
八日　齋藤總督本日午後七時京城驛着任
十日　內鮮滿連絡航空旅客輸送開始さる
十一日　制令第十二號を以て[illegible]令中一部改正公布
十二日　本日午前九時より朝鮮博覽會開場式擧行、會期中數十の各種大會開かる
二十日　商品陳列館本日竣成により南大門新館に移す
二十五日　松田拓相本日午後七時入城
三十日　午後七時閑院宮殿下御入城遊ばさる
府令第八十三號を以て朝鮮地方選擧取締規則公布さる
十月一日　閑院宮殿下の台臨を仰ぎ朝鮮博覽會開會式を擧行宮殿下には式後會場を御巡覽あらせらる
本日より朝鮮簡易生命保險實施さる
十一日　勤政殿にて朝鮮博覽會褒賞授與式擧行
十五日　兒玉政務總監東上
二十六日　午後一時より京城長谷川町公會堂に於て官民合同の伊藤公追悼會執行さる、武部新任學務局長着任
二十八日　シャム皇族アロンゴット殿下御入城
三十一日　午後四時より勤政殿にて朝鮮博覽會閉會式擧行
十一月七日　本府第一次異動發表
十五日　深澤新任法務局長着任
十八日　生田、草間、淺利三局長退任
二十日　全鮮府及び指定面の協議會員選擧施行さる
二十五日　齋藤總督は入城中の駐日英大使チレー氏の爲に晚餐會開催
二十七日　森岡新任警務局長着任
二十九日　本府第二次異動發表
三十日　京南鐵道廣川臨浦間開通式擧行
十二月五日　制令第十五號を以て朝鮮酒税令改正の件公布さる
十日　齋藤總督東京に出張
十一日　第三次異動發表さる
十七日　司法官第一次異動發表
十九日　南鮮地方の今夏の旱害救濟國庫補助額は百十八萬四千四百卅四圓
二十一日　明年度總督府豫算二億三千八百萬圓と決定發表さる
二十四日　移出牛檢疫に關する農林省令改正公布
二十六日　齋藤總督歸任
二十八日　御用納め

長以下各師團長、高等官、滿洲派遣官、總督等親任官以上四十六名に對し、特に御慰勞御陪食の御沙汰があり閑院宮、梨本宮を除いて何れも二十八日正午參內、豐明殿で陪食を賜はり御陪食仰つけられた。終つて千種の間において茶菓を賜はり、御懇談のち陛下には午後一時半入御、謹んで退下した

復興記念章御下賜 同祝賀會當日京濱功勞者に

【東京電報】畏きあたりでは明年一月廿六日の復興祝賀日に際し帝都および橫濱の復興功勞者に對し復興記念章を下賜せられることになり賞勳局その他關係者に調査中のはずであるが推薦者は約三萬人に上る見込である

政務官會議で 解散斷行申合

【東京電報】本年最終の政務官會議は二十八日午前十時より首相官邸に開會、船田、藤山商工次官は商工審議會の產業合理化答申につき詳細說明してこれが實行方法として有力な中央機關新設の意向を開陳し、なほ政局につき懇談の結果あくまで解散斷行の方針を持して進むことを申合せた

首相鎌倉行

【東京電報】濱口首相は二十九日午前鎌倉に赴き三十一日午後歸京のはず

英露交換公文 宣傳禁止を約した 二十日發表さる

【ロンドン二十七日發電】英外相ヘンダーソン氏と駐英勞農大使ソコルニコフ氏間に交換された公文が本日公表されたが右は英國と印度および勞農ロシアが互ひに宣傳禁止の約束をしたものである

年內解散に至らず 朝野兩黨一安心

小橋氏問題は政局のバロメーター 原因は政友會の弱腰

【東京電報】議會も年內解散をみることなくして休會となり政界もホッと一息の態であるが年內解散は政府が遂に斷行し得なかつたことは政界および各方面共何れも解散を希望してゐない結果であることの主因をなし、その他政友會が議會的態度に出でなかつたことなど政府與黨においてまだ解散斷行の機運が熟してゐなかつたことなどが原因をなしてゐるやうである、しかして政友會側のみるところでは政府が遂に年內解散を斷行し得なかつた原因は小橋文相に關する疑獄事件の進展にあり、卽ち小橋氏の起訴につき政府當局と司法當局との間に意見の對立があり、これが政府をして解散斷行の決意を躊躇せしめたものであるといふにある、從つて政友會の觀測によれば今後小橋事件の進展は政局上に意外の波瀾を捲き起し司法當局が該事件を起訴し得れば兎も角、若し小橋氏の起訴をみるにおいては政府をして自滅のほかなき窮地に陷れるであらうと成行を注目してゐる

政局の推移を監視し 機宜の處置を採る

幹部は休なしに働く 政友會最終幹部會

【東京電報】政友會では年末納めの幹部會は二十八日午後一時半より本部に開催、犬養總裁以下總務、各部長、顧問等出席、一月一日午前十一時本部にて拜賀式擧行の件、一月二十日定時大會開催の件を決定の後、現下の政局につき種々懇談するところあつたが、議會の前に疑獄事件の進展により內閣の瓦解を見るか或ひは更に解散となるか、政友會の運命にたち至るか若くは何等の障害なしに濟むものか前途は逆睹し難いものがあるので幹部として此の際政局の推移を監視し機宜の處置をとるに一致し、幹部は休暇なしに本部に出ることゝし二時散會

犬養總裁政界引退取消 正式に挨拶狀を送附す

【東京電報】犬養總裁はさきに岡山選擧區民に對し政界引退の聲明をなしたが今回再び政友總裁として重任につき政界引退の取消しをなすべくその旨の挨拶狀を選擧民に送つた

中樞院參議 五氏被仰付

【東京電報】廿八日左の通り發表された

從三位勳三等　申錫麟
正四位勳三等　兪星濬
從四位勳三等　朴相駿
從五位勳三等　魚允迪
從四位勳四等　金英鎭

中樞院參議被仰付（勅任待遇）（各通）

同　孫應麟
同　金明山
同　金永傑
同　兪光榮
同　尹夏榮
同　賀埈均
同　金永弼
同　鄭□漢
同　尹南喆
同　宋良弘

從來の外交權を抛棄し 滿鐵經營方針一變

經濟的機能のみを發揮 明年早々根本策審議

【東京電報】仙石滿鐵總裁は從來の滿鐵の經營方針が極めて放漫なるに鑑み、根本的變改を決意してゐる、總裁の腹案は滿鐵が行使し來つた外交權の抛棄、傍系諸會社の整理、職制の徹底的改革、昭和製鋼所設立を始めその他の經濟施設計畫の根本的立直し等を主とするもので、最も重大視せられるのは從來滿鐵が主管した鐵道問題その他に關する外交權の抛棄でいはゆる二重外交、三重外交、四頭政治を矯正せんとするにあり、滿鐵をして全く經濟的機能のみを發揮せしめんとする重大な改革案を明年一月十日頃濱口首相、幣原外相、松田拓相、仙石總裁等が會合して審議の模樣である

總督府辭令

【東京電報】＝廿八日

任府檢事（三等）　府判事　永島雄藏
府醫學官教授　江木明
任府道事務官（三等）　府郡屬　朴劉玄
任府郡守（七等）　山澤俊一郎
任府道醫院醫官（四等）
府檢事　永島雄藏
府判事　立川二郎
府檢事　津久井利行
勅任官を以て待遇せらる
府視學技師　碓井三吉
府檢事　松井欽明
同　元炳喜
府技手　大谷陸一
府道事務官　村山沼一郎
府郡守　元應常
同　張錫[illegible]
同　金正若
申熙璉

本府方面の定期敘勳者

【東京電報】二十八日定期敘勳千七百九十八名を發表したが內朝鮮關係の分は左の如くである

京城帝國大學總長正四位勳三等　志賀潔
敘勳二等授瑞寶章
朝鮮總督府判事正五位勳四等　長尾戒三
敘勳三等授瑞寶章（各通）
朝鮮總督府技師從五位勳六等　原正鼎
同
敘勳五等授瑞寶章　後藤一郎
依願免本官

京城協贊會 最後の幕を閉づ

殘品、剩餘金の使途 京城府一任に決定

朝鮮博覽會京城協贊會最後の總會を二十八日午後五時五十分から朝鮮ホテルで開催、評議員百五十名出席、協贊會長より松井府尹以下役員慰勞の挨拶をなし、次いで決算報告、事務報告を承認し、次いで殘務整理の後始末をなし松井府尹より協贊會當局の努力を認め、これに對して感謝に堪へない旨の挨拶あり、これに對し一・二の質疑應答の後、釘本評議員長より殘品の處分を府に寄附し、自動車二臺は府の申出あり、これを府に寄附し、府はこれを消防組に寄附し、消防自動車に改造するとのことであるが如何、次に机その他は京城府に寄附したいが如何と諮るや滿場一致これに決定し

一、剩餘金三萬八千六百四十三圓の處分の件

に就ては

●釘本●●長　理事會では四名の顧問及び京城府尹に處分方法を一任する申合せをなしてゐる

●張弘植氏　五名の方に一任するとしても、一つの條件をつけたい、それはこの金を京城府に委託して、これを基金として生ずるものを以て社會事業費となしたい

●齊藤佐吉氏　かゝる剩餘金を生じて終るといふのは、眞に珍らしいことである、よつてこの剩餘金を生かすためにも張氏の說に贊成す

更に韓相龍氏も所見を述べ、これ等に對して

●加藤四郎介氏　顧問四名に一任するのは恐縮であるから、最後の評議員會で決定するのが至當である、その使途は京城府に一任し社會事業にこれを投じることとしたい

と述べ、議場これに賛し、齋藤氏もまた自說を固持せぬため遂に滿場一致これを可決し、殘務委員選定の件は會長一任となり、松井會長より、釘本藤次郎、肥塚正太、李竹雨三氏を指定して圓滿に會を終り、こゝに協贊會最後の幕を閉ぢ、午後七時より宴に移り、更に朝鮮博の活動寫眞を映寫して一同興をつくして散會した

新堂里道路問題は 關水府尹に一任

府協議員懇談會

京城府協議員會では協贊會總會後の懇談會を二十八日午後二時府尹應接室で開催し、關水、松井新舊府尹出席、新堂里間の道路新設に關して議論を交へ、府議員より意見續出したが、結局府尹一任と決し、更に京城協贊會の決算による剩餘金の處分問題に移り、懇談の結果、京城府に一任し、社會的事業にこれをふり向けることを希望し、協議會懇談會より意見を述べることゝなつて四時散會した

近藤中將爵位拜受

【東京電報】畏きあたりでは二十六日豫備役海軍中將近藤基樹氏に對しその多年の功を認めさせられて男爵を授けさせられたが男爵は病床にある爲次男近藤少佐が二十八日午前十時半宮內省に出頭、一木宮相を經て拜受した

本紙を以て本年內朝刊の終刊とします

（廿九日及卅日は夕刊だけ發行）

外務辭令

（東京電報）

漢口總領事　桑島主計　任大使館參事官　伊太利在勤
大使館一等書記官　天羽英二　任大使館參事官　勞農聯邦在勤
命漢口在勤　總領事　坂根準三
命勞農聯邦在勤　大使館一等書記官　天城篤次
命ハンブルグ在勤　香港領事　村上義溫
命青島在勤　總領事　川越茂
任總領事　命濟南在勤　領事　西田畊一
命香港在勤　總領事　吉田丹一郎
被免青島在勤　臨時外務省の事務に從事することを命ず　總領事　藤田榮介
任副領事（哈爾賓）　領事官補　重松宣雄
新民府領事館　副領事　瀧山貞次郎
命間島在勤　米大使館　副領事　岡伴六
命吉林在勤

―人―

◇安岡文三郎氏（金剛山電鐵專務）廿八日入城
◇小林靜雄氏（城大教授醫學博士）廿七日滿洲より歸任
◇伊藤正毅氏（城大教授醫學博士）廿九日夜より湖南地方旅行豫定

茶話

右へ右へと傾き、分裂また分裂の社會民衆黨にまた右傾防止の「赤松」派が擡つてゐた、この一派を追ひ出し、最後に安部磯雄氏に諮めて貰へば、社民黨も磐石である▲政府の鐵道疑獄擴大は、いはゆる政友會關係の所謂三線ばかりを「削除」したんだつたら、政府のやり口は惨酷な利刄だ▲しかし民政黨がまくのは尤もなやり方ではみすみす一線一人の代議士を失ふやうなものとこぼしてゐるのは、政友會の慨嘆を裏書するものがある▲軍縮全權の一行が倫敦に乘込んで、早速日本の口火より縮小七割要求を高調してゐる▲これだけはつきり立場を明かにして置けば何時會議が開かれても一向差支なからう▲疑獄、爆彈、騷擾等々大小の事件が、十把一束歲末の新聞市場に投げ出されお蔭で新聞は不愉快と物騷な言葉で汚れた▲新聞は世の中の縮圖である。明るい世の中は明るい新聞を、暗い世の中は暗い新聞を作る▲もし今年中の新聞の出來事が、暗かつたら專ら昭和四年といふ年に罪があつたのだ▲昭和四年もいよいよ閉幕、本紙もけふで昭和四年的新聞を休刊して新しき昭和五年の開幕をまつことゝする▲來年は午の年である。馬は百獸の陽氣なもの願くば陽氣な明るい一年でありたく、またあらしめたいと今から念願で一杯▲讀者諸賢の健在萬福を―

經濟

農會から 米調會の建議 總會で決議か

鮮米統制問題が重要視されると共に鮮內にも米穀調査會を設置すべしとの議が有力となりつゝある際朝鮮農會では來春一月開催される總會で決議の上、朝鮮米穀調査會設置の必要なことを本府に建議することになる模樣である。なほ今後朝鮮農會は鮮米統制の目的達成については是非とも現食饌の方法も採用せんことを極力主張するものと見られる

東支鐵東部線の 開通と商談開始

露支紛糾の和解で東支鐵南部の運狀回復も接近した。二十八日哈爾賓入電によれば、東支鐵道東部線は一月早々開通の見込が立ち、目下ハルビン、ポグラニチヤ間は沿線各地では雜貨輸出し貨物の商談を進めてゐると

南洋興業の 慶南米移出

朝鮮米としての慶南米は內地において相當その聲價を認められてゐるが、今回東拓釜山支店ではその姉妹社たる南洋興業會社の食料米としてこれが移出を試みることとなり、去る廿三日扇海丸にて第一回五十石の移出をなした、今後引續き每月相當量の移出をすると

土地經營重役會

朝鮮土地經營會社では廿九日午後三時より同社に於て重役會を開催し總會に關する協議をなすが一月二十七日頃總會を開催するはず

商議豫算會議

京城商議では一月十日頃昭和五年度豫算に關し役員會を開き、十五日頃評議員に附議する豫定であると

商況 回

●綿糸布●　地方賣行は依然不振で、市況は不活潑を極めてゐるが、加工綿布ものゝ賣行が割合に良好である。相場は二十八日三エー二百四圓と弱く保合つてゐたが加工綿布は五枚朱子ヤール廿五錢七厘五毛、四ッ綾ヤール廿六錢五厘と稍引締り商狀を示してゐた

●人絹布地●　人絹布の賣行は最近俄かに旺盛を見初めたが、これは舊正前の手當と見られる一方相場は產地の操短で產地、當地とも極度に品拂底を來たしてゐるので週日初高步調をとり昨今桐生ものゝ相場は反六圓卅錢見當と騰り商狀を示し、十一月の最安値より一割方の品騰である

●硫安●合資無●　硫安は依然地方よりの引合を見ず、過日肥山に日窒もの千六百五十トンの商談が纏つたのみで、結局本年を終るものと見られる

●過燐酸●閑散●　昨今弗々と南鮮方面から引合を見るが、これとてほんの申譯的のものにすぎず、未だ商談の纏つたものはない模樣である。これは値段を最近漸く發表したばかりなので、急に飛ついて來ないためである。相場は目下十五成分一圓卅七錢、卅成分二圓五十五錢見當である

海外砂糖市場

キューバ糖　十二　一月限　二弗丁度
ジャワ糖　十二　一ギル四分三
倫敦糖　同　同　九志七片二分一

昭和四年回顧

昭和四年において本欄は本日を以て閉鎖せらるゝ。回顧すれば昭和四年は朝鮮として相當多事多忙であつたといへる。總督、總監の更迭した事こそはその多事多忙なりし一切を語りてあまりある。年初は內鮮を評すべきであつたかも知れぬが、年央後は頓にいそがはしくなり、中んづく疑獄事件が織込まれ一種のジャズ的氣分をさへも釀生したのである。が、年尾に至りて蛇面にはかに降るの感あり、人心融和の靜風颯々として吹き來つた。今靜かにこのぞみこの經緯をいだいて越年せんとしつゝあるのである。もしかり民もまたしかりである。あだかも東風の黃昏は全土に漲れ、ただ朝鮮の一切を…し、ただそへ威嚇されんとしつゝあつた車輪に對し一層の國體を加へた。

朝鮮博覽會は何といつても本年中朝鮮の行ふたる最大の事業であつた。しかして細部をいへば成敗功罪相半ばしたといはなければならない。これによりて朝鮮はあだかも鏡面に映じたるがごとく自己の姿相をはツきり認識することが出來た。認識を興ぜんとするのではなく認識を確ずるがためであつた。顧みるとき他の我を正確するにあたりても、それが正否を冷靜に反省することが出來るのである。朝鮮博覽會はこの意味において重要なる行事であつたのである。過去廿年のゴールであつたと共に將來百年のスタートでもあつたのである。ただ朝鮮博覽會の…に存する。ただ朝鮮無理解は四方にありて大衆に濃厚なる無理解を緩和するのである。朝鮮博覽會はどちらかといへば成功に近かつたとなすも決して自讃ではあるまい。

この年に頒布せられたるもの朝鮮簡易生命保險令あり、朝鮮簡易保險令あり、専賣事業令中一部改正（自家用煙草の件）あり、朝鮮漁業組合規則あり、いづれも重要法規である。が、われ等の興味は該法規の重要に存ずるのではなく、かゝる法規を維持するに至つた朝鮮の文物制度の進化に著目せずにはいられないのである。朝鮮は進みつゝある。急激の進歩はなきにせよ、不息の漸進をなしつゝある。昭和四年は朝鮮博覽會あり、殆ど何をも手につかぬであらうと想像されたに拘らずなほこの成績が示された。明年は一層の進歩を以て朝鮮統治のための諸政策が發生しかつ發展を始めるであらうことを豫期する。

今この稿を擱かんとし朝鮮疑獄事件なるものの事態を手にした疑惑とはいはましき沙汰である。然も利權あさりの結果するところであつたといふに至りて言語道斷である。けだし朝鮮には該疑獄の生ずべき利權はあるが、私腹を肥やすべき利權はない。利權なきところに疑獄は起こるべきはずはないのであつて、事件の起こりはやはり朝鮮無理解または不純なる認識にあつたと見なければならぬ。しかも悠久なる朝鮮統治の勢に照らせば、かくのごときはまことに色々たる意識でしかあり得ない。議論を好むものに取りては絶好の對象であるとをうたがはぬが、要するに瞬眠するときは、さまで追憶すべき性質のものではない。過去の一小事實として記憶の外に逸し去つてしかるべきものとおもふ。

蔚山と京城 飛行場設備整ふ
蔚山には明年度から航空官を配置さる

遞信局では本年度の豫算にて十萬圓を計上し、京城と蔚山の兩飛行場に航空無電局を設けることゝなり、京城無電局は殆ど工事完成し蔚山は明年三月までに工事を終ることになつてゐる。蔚山無電局は八萬六千圓の經費を投ぜられ飛行機と無電で聯絡を執り、飛行の安全を期せんとするもので、蔚山は明年度豫算の四月から配置されることゝなつてゐる。遞信局では明年度より京城、蔚山の兩航空無電局に係員を配置する外、蔚山の飛行場長として航空技術者を航空官として配置することになつてゐるので、その完成と共に京城と蔚山の兩飛行場だけはエアポートとしての設備を一通り完備するわけである。なほ遞信局では秋風嶺、航空無電局および鳥致院測候所の設備を一兩年中に完成したき希望を有してゐる

昭和四年の朝鮮航空界
航空官　佐藤求巳

こんな題目を掲げて感想を述べる程のことは今朝鮮の航空界にはまだ求め得ない寂寥さであつた。恐らく來年においても同樣であらう。然しその間においては極めて多事有意義の航空が行はれます

◇まづ第一は日本航空輸送株式會社の內鮮滿聯絡航空の實現である。四月一日から郵便のみの飛行を開始した。そして代用飛行機であつたのでその關係で余り芳しい營業成績を擧げ得なかつた、九月十日から旅客の輸送を開始していよいよ本式に東京、大阪、福岡、蔚山、京城、大連の空中聯絡が完成した

◇この航路の延長は二千〇七十五吉米、汽車ならば七十五時間の行程がその四分にも足らぬ三十時間に短縮せられたのであります。これを利用する人も相當の數に達してをりますと申せば結構ですが、まだ少いと思はれます。郵便の利用者の少い事は運航が未だ上り便、下り便が隔日になつて居る關係上不便を感じて居るものと認めて居ます

◇これは明年四月一日からは毎日（日曜日をのぞき）上下便が一回あて飛行するのでこの不便はのぞかれ實際の利用に適するものと信じます

◇乘客の方は『料金の高い』『揺れる』『危險』の三つが原因して利用者が少いのであらうと思はれる。料金は汽車の三等旅行には勿論不便さはあるが二等旅行者には大した高價でない

◇大連―京城間は申すまでもない、京城―東京間にしても普通二等料金に寢臺料、飲食料を加へると七十圓位にはなる。それに二日間の飲食費を加ふると同額近くの數になる。用を要するそうすれば飛行機料金の百五圓はそんなに高價でもない

◇數度飛行機旅行をする人について見るに、別段寸時を爭ふ程の急用件もないけれども一度飛行機旅行のいはゆる『スピード』の味を占むると汽車旅行は退屈で馬鹿々々しくてたえられない、少々の料金には換へられぬから常に飛行機を利用するのだといふ人があります。これは一度味はつた人は誰も同感と思ひます、況して急用ある方においてをや

◇蔚山一泊は誰が考へても愚の骨頂です、これもやむを得ず計畫したので明年四月一日からやめまして夏季は京城―大邱間を一日に一往復するやうに、冬季は大邱か蔚山に一泊するやうに目下研究中でいづれにしても蔚山に泊るのは廢止となるはずであります

◇最後の『危險』が大問題です、毎度機會あるたびに私が申すことですが一般の諸君が飛行機にのる事と墜落を一つにして考へらるゝので大間違なのです。日本航空輸送會社が本年四月一日營業開始以來十一月末までに全營業線で四千八百八十七時間二十二分を飛んでをります、距離にすれば九十七萬七千四百吉米、地球を赤道に沿ふてざつと三回周つた事になります

◇この間に代用機で郵便のみの輸送の時には二三回不時着陸を致しましたがその他には何等の事故もありません、內地では濱松と福島の飛行場に不時着陸をした事はありますが途中天氣が惡くなつたので一時晴るゝのを待つたまでです、こんな狀態でありますから…[illegible]…の運行成績も平均八十パーセントであります。輸送會社の…[illegible]…行成績を示してをりますので外國…の成績とくらべて差したる劣りもありません、現に內地の…豫期以上の成績を擧げ更に明年に至れば一層の成績が期待せられて居ます

◇第二には朝鮮航空研究所の事業であります、これは昨年まではわが國の…で航空知識の普及に努力してゐましたが、尾大將が獨力で航空知識の普及年から政府の補助金が出るやうになりました。然しこれとても全部を補助するわけでないから他からも收入のある時に活動せねば立ち行きは出來ないのである

◇それで航空機の遊覽上の實用化といふ方面には…[illegible]…本年は遊覽飛行の外に…有志と航空研究所と連合して…群搜索飛行を試み…しまして極めて良好な成績を擧げ漁獲の增加をはかるのみならず魚群の…を防ぎ…上の實用化として特に重視すべき結果を示したのであります、かくてこそはじめて非常時航空の發達が期し得らるるのでありまして、單に魚群搜索にとゞまらず多方面に利用多き航空の實用化の益々多からん事をこひねがふのであります

◇次ぎに本年六月陸軍機が煙草は山林部の御希望で林相調査を試みました、これはまだ內地でも試みのなかつた間でありましたがこれ又極めて好成績を擧げ產業上の實用化を證據立て得たのでありますが以上は本年航空上において企圖した事柄でありましたが何れも豫期以上の成績を以て完全に試驗し得て…なかつたのであります。悦に堪えないので甚だ少くとも經驗を得たと申すゆえんであります

◇將來とても非常時航空の發達は軍事上の實用化が益々盛に利用せられなければ望み得られないのであります、からこの方面に合位の御考慮と願はしたいのです、その利用にも勿論適不適がありますが飛行機の特性即ち『速力の早い』『高く上れる』『翔に人の行けない處でも空からいつて見える』『航空寫眞術が發達した』こんな點から利用を試みられたしかしてそれ等の…經や御相談にはおよばずながらいくらでも應じたいと思ひます、かくして明年は更に意義多き航空を朝鮮の空に繰ひたいと念じてをります

燈臺の尠いこと 朝鮮は全く世界一
從つて海難も多い
燈臺增加に腐心の遞信局

海難の多寡は燈臺の多寡に正比例するので遞信局では極力燈臺の增加をはかゝんとしてゐるが豫算の關係で一ケ年二ケ所の增設に過ぎず前途を非常に憂へてゐる。何分朝鮮の燈臺普及狀況は七十七マイルに一基にして內地の半分、支那の三分の一、世界第一の普及地とされてゐるオランダの二マイルに比すると實に三十八分の一に相當するのでかくては朝鮮が世界一の海難國の汚名を受けるのも當然の結果とされてゐる、しかして現在朝鮮において燈臺を必要とする地點は二百三十四ケ所あり、これを一ケ年二ケ所位の割で增加して行くとすれば百年以上を要し朝鮮の沿岸は永久に海行く船のために魔海として恐れられ、ひいては朝鮮の遞運界發達の上にも大影響があるとて關係者は非常に憂へてゐる、なほ世界各國內における燈臺普及狀況と遭失船との比較は左の通りである

	夜間一基當り海岸線	遭失船と所有船との比
和蘭	二	〇、〇一三
佛國	三	〇、〇一二
獨逸	三	〇、〇一一
英國	四	〇、〇〇七
伊國	五	〇、〇一五
米國	六	〇、〇〇六
西班牙	七	〇、〇一九
瑞典諾威	七	〇、〇〇九
丁抹	八	〇、〇〇八
葡萄牙	一三	―
加奈陀	二五	―
支那	二七	―
內地	三二	〇、〇二〇
朝鮮	七七	―

昭和四年の政界回顧【完】
出るは出るは
芋の蔓を引出すやうな疑獄事件の續出

◇……同月七日、七夕祭の日、濱口首相の鐵道視察旅行きがはじまつた。九日は濱口內閣の施政方針に關する聲明發表、二十九日には政府の政綱中の最大政綱であると ころの金解禁準備のため、極度に切つめた實行豫算が閣議で決定された。外務長官の異動も手際よく運んだが、ちよつとどもを踏んだのが例の山梨朝鮮總督に對する諒 京命令であつた。

◇……聞れるなら聞れと山梨氏に居据られて濱口首相、松田拓相が頭痛鉢卷としては輕にはなくしい。

たちまちとなつたのはあまり見つともいゝ圖ではなかつた。この騷ぎもどうやら納まつて頭痛子が賦役して政界が小康を得た折柄、昭和四年度政府の疑獄事件で政界の長老箕浦勝人氏が逝去した。

◇……九月の聲を聞くと政界もあはたゞしくなる。その月の十一日政府の實行豫算説明會が全國ゝ各で開かれた、外務からはじまつて午後二時までの大講演、第五十七議會を前に控えた、朝野兩黨の

ものであつた。この前後から、政府は政友會內閣の國土產である謝鮮疑獄事件を摘發しかけた

◇……いはく鐵道疑獄、いはく賣勳疑獄等々と、出るわくいものつるをひつ張り出す風にさまざまの疑獄事件が飛びだした。政友會はこれがため來たるべき總選擧の不人氣を案じ極度に狼狽へなつた折、折、同月二十六日、前鐵相の小川平吉氏が某事件で東京檢事局に拘致され、そのまゝ市ケ谷へおさまつた

◇……ところへ、こえて二十九日政友總裁は田中義一大將が急逝した。總裁の死は政界の秋、一葉も落ち、二葉も落ち、下の葉が身にしみわたつた。將に任ていた大政友黨もそゞろ天の如く物忽として逝去した、政友會の秋、一葉も落ち…

◇……とあれ政友會は老人に人氣のある事を知つて新總裁を迎へて好轉しようとした。

◇……それから政友會の總裁は十月八日に來た鈴木喜三郎、床次竹二郎氏等をけ落して木堂犬養毅氏が十月七日新總裁に就任した。

◇……政界は十五日の閣議で政府の十日であつた、百圓以上の減俸案を發表した興論はいちりとし、これに反對し武官もの人と濱口首相はついに撤回の聲を出した。

◇……政府の一つの…の如き…

ともかく政友會は老人に人氣のある事を知つて犬養氏を迎へて總裁とした。それから政友會の政綱は十月八日に來た通り來たのは犬養、床次氏と永井松の擧で政友會に好感をもつて迎へ一時鳴をしづめた…

いれ同月二十二日の閣議で、同案を撤回した。中略政府は緊縮のピストル擧發の政策を練りませた疑問、これで一段落をつげたかの感があつた。濱口內閣の人氣に、いさゝかひよおはいつた感があつた。

◇……蜜柑事件で央大將が辭められそうたとの噂のうちに十六億八百余萬圓の昭和五年度豫算案が十一月九日の閣議で決定された。この際鮮も一時間たらずのスピード閣議で、日露戰役の勇將川首相までがあの身をひくつかせたもんだ。かくて金解禁の準備も愈々十二月十三日、總選擧を控へ第五十七議會はいよいよ十二月二十六日に開かれ、來る年一月二十日頃再開されて消とされ。

◇……朝野二大政黨をはじめ無產黨はくつわをならべて馬を總選擧に進めた（政界生子）

春畝公追憶（廿）
（伊藤公全集を讀みて）
九日山房主人

故伊藤公紀念事業趣旨書
春畝伊藤公逝きしより歲月流々久しく過二十星霜を閲せり、其間、世界の形勢は大に變し東亞の局面は亦一新せり。故に公の功業を一々枚擧するは世人の能くする所なれど、我等の公に負ふ所は實に…なり。公は夙に經世の才を懷き、維新三傑の志を繼いて、新帝國の建設に努力し、封建の制を打破して郡縣の治を布き、進んで憲法政治の扶植に貢献し、日本をして世界的雄邦の伍伴に列せしめたる所は、其輝眼常に世界に注ぎ、其終始は東亞の大局に存したるに在り、公が日本の經世家としてその頭を雲に聳ゆるのみならず、世界的政治家たる所以のもの未だ嘗てこれあらずんばあらず。公が前半の生涯は、新日本の建設に貢献し後半の生涯は、東亞大局の爲に努力し以て平和の犧牲と爲りしものなり。が公表されてゐる。

公の墓は東京市外荏原郡大井村にある。伊藤家の菩提寺は山口縣熊毛郡束荷村にあり、菩提寺といふ寺洞宗に屬し、永久寺を大本山とする。そこには祖先の墳墓の外公の位牌も安置せられて居る。この公の建立したる朝鮮に寺院を建てるの議あり、左の如き記…

公は統監の職を去りても、なほその一念は朝鮮に注がれ、宮中にあり、朝鮮の民心は未だ靜まらず。一たびも半島を忘れず老軀を提げて則鮮に入り、日清日露三國の爲に東邦間題を解決せんとする途に就きたり。公の詩に云ふ『眠なる抑塞感旨、…到處是家郷』と公は老いてなほ壯心衰へず…その在天の靈は長へに山河と共に東亞平和の鎮護たるを信じて疑はざるなり。吾人の同志こゝに寄附を請ふ形勢の地を卜して寺院を建立し、以て公の冥福を追悼し且長く其遺烈を紀念し、朝鮮の內外の志士仁人この勝樂に協賛して資金援助を賜へ

明治卅九年、米國エール大學教授ジョージ・ティー・ラッド博士が來朝したとき、公はこれを鄭國に招き、よつて成つたのが『伊藤侯と韓國』の一書であつて、この時の成行により、それまでアメリカに誤はつてゐた韓國の認識を一掃するに力があつた。左は公とラッド博士との初對面のときの會話である。

公『今度、是非貴下を私の國へお招きしたいと思つてをります』
博士『閣下のお國へ參つて居るのでございますが？』
公『イヤ私の國と申すのは、今度私の考へから申すと、韓國のことでも』
博士『…………』
博士も實に公に取りて『私の國』だつたのである。『私の國』に對する治績のための寺院が建設されるのは決して偶然ではない。本文の記者が公の衣鉢を継承して、しかもいまこれを祭壇新聞に掲載したるゆえんは、他なし右の旨趣に獻援せられたるがためだ（つゞく）

郵便局所の現金受入
緊縮の影響如何

緊縮の影響が如何なる程度にまで郵便局と窓口における現金の出入に影響あるかは興味ある問題であるが京城郵便局所の窓口統計によると一般官廳でボーナスの出た直後の十六日の各郵便局所の現金受入れ高は四百八十七萬圓十七日は四百二十九萬圓に減して八日は四十四萬圓に激じ五萬圓に達し二十一日の僅かに六萬圓を超えた三日の現金受入高は五十六萬圓に過ぎず、この內郵便貯金は五十六萬圓にしてこれは郵便貯金の增加となつたことを首肯される

…十七圓であり同貯金は口數二千三萬五千二百三口、金額八萬八千五百七十圓であつてこれを前年同月分に比すれば振出は六分、振替は三分の增である

郵便爲替の取組

全鮮郵便局所で取扱つた十一月中の郵便爲替の振出は口數二十六萬七千三口、金額九百六十八萬百九…

婦人倶樂部には こんな大附錄が 二冊もつきます

新春號は創刊以來の大奮發です。この素晴らしい大附錄二冊ついた婦人倶樂部新年號がタッタ八十錢です！

婚禮と緣談の本
四六判・四百二十頁の大書籍
結婚前の男女は勿論、既婚者も、親達も人間一生の重大寶典として必ず御覽下さい！

内容の一部
▲男女の交際と娘の心得 ▲時代の變遷と婚禮の心得 ▲化粧と結婚 ▲嫁入前の娘の心得 ▲純潔と處女性 ▲誘惑と貞操 ▲結婚の時期 ▲良緣を得るには ▲緣談の進め方 ▲見合の心得 ▲見合の日と時間 ▲見合の場所と方法 ▲正式の見合 ▲娘の心得 ▲媒酌人の心得 ▲主婦としての注意 ▲結婚と家の問題 ▲家族と職業 ▲結婚の費用 ▲新式結婚 ▲親子兄弟盃の仕方 ▲神前結婚式 ▲佛式結婚式 ▲日本式披露宴 ▲洋式披露宴 ▲新婚旅行 ▲夫婦生活の心得 ▲夫の理解 ▲夫婦の危機 ▲家庭經濟 ▲何でも分る

この外百數十項！
緣談、婚禮の事は何でも分ります！

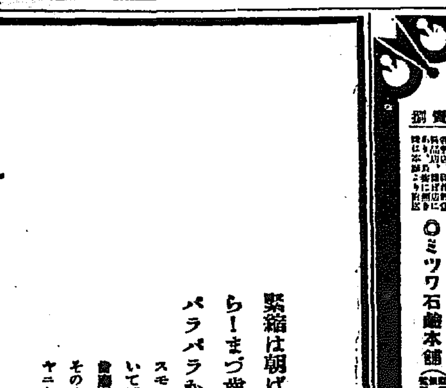
家庭編物の本
初めての人でも直ぐ編める！

内容の一部
▲編物の種類 ▲編物に使ふ器具 ▲毛糸の選び方 ▲目の拾ひ方 ▲目の減らし方 ▲ゴム編み ▲かぎ針編み ▲棒針編み ▲編物の仕上げ方 ▲赤ちゃん用ケープ ▲和洋ちやんちやんこ ▲赤ちやん帽子 ▲可愛い毛糸足袋 ▲上品な婦人用手袋 ▲婦人用スエーター ▲紳士用チョッキ ▲男兒服 ▲女兒服 ▲六歲男子服上下 ▲七八歲女兒セーター ▲男子用チョッキ ▲手提袋 ▲襟卷 ▲肩掛 此の外澤山！！

(一)基本編み篇（編み方といふ編み方悉く一々之を圖解入りで詳細に親切に說明してありますから、これ一冊あればどんな編み方でも自由自在です。）
(二)應用編み篇
(三)製作篇（最新流行のあらゆる新型を集め、寫眞と挿繪を入れ詳しく編み方を說明してあります。）

菊判、百六十頁、口繪寫眞澤山入り
一流大家の新案編物を悉く滿載！

『婦人倶樂部』本誌には
重要記事、傑作小說滿載！
評判！何處でも大評判です！
定價三冊で八十錢（送料十五錢附錄共）
お早く〳〵お求め下さい
早くお求めにならぬと賣切れます！



高級滋養強壯料
服み易き濃厚肝油（ヴイタミンAのみならず）膠囊入（七十五粒入一圓二十錢）
河合龜太郎創製

ヴィタミン肝油球

▽滋養料として最も適應の場合
一般榮養不良、虛弱、貧血、產前產後、精力減退、老衰、神經衰弱、夜盲其他諸眼病、佝僂病其他諸骨病、腺病質（瘰癧）、糖尿病、肋膜炎、肺尖加答兒、結核性諸病、其他慢性諸症の場合

ヴィタミンAの效能に就ては今日最早知らぬ人は無い程ですが、肝油には其れ以外現にDの存在が認められ、猶他にも滋養料としての使命が大いに存するや勿論で有ます。然るに天然の儘の肝油は不快なる魚臭魚味強きがゆゑに、服用を嫌はるゝ場合が少からざるのみか、其使用すべき量多きが爲動もすれば胃腸を損じ、嘔吐下痢等を起す慮れあるは遺憾であります。然るに本品は之等の缺點を總べて除去し得たもので、實に左記の諸特色を有して居ります。

◎ヴィタミン肝油球の特色
一、ヴィタミン肝油球は、特に新鮮なる鱈の肝臟を選び、最も合理的なる方法に依りて製造したる、純良無比の肝油を原料として居ります。
二、ヴィタミン肝油球は、多年の研究に依り最近本邦及び英・佛兩國政府の特許を得たる特殊の化學的操作に依りて右の原料肝油を精製濃縮し、ヴィタミンA・D等不鹼化性主要成分の含有量を、數倍に增大せしめたるもので有ります。
三、ヴィタミン肝油球は、其使用分量…肝油に比し遙かに少量にして、而も十分なる效力を發揮します。
四、ヴィタミン肝油球は、服用に際して毫も肝油の臭味を感ぜず、胃腸の障害に依る嘔吐、下痢等を起す憂ひが有りません。
五、ヴィタミン肝油球は、新式の消化し易き小球形の柔軟カプセルに充れたるを以て、其儘嚥下服用し易く、且つ取扱ひ及び携帶に至便で有ります。
六、ヴィタミン肝油球は、之等の理由に依り、普通肝油剤と異り既に秋冬季節の時候に於てのみならず、春夏暖氣の季節と雖も何等の故障無く連續服用が出來ます。
七、ヴィタミン肝油球は要するに、一般大人に理想的なる滋養強壯料で、特に神經質にて他の肝油製品に耐えられぬ人々は之に限ります。
特別に、幼兒同樣に服用して甘味の小兒にも最も服し易き、本品を原料とせる◎肝油ドロップス有るは既に多年御承知の所であります。更に濃方用としてカプセルを用ひざる本品、即ち◎濃厚肝油がございます。

日・英・佛專賣特許
帝國發明協會優等賞受領
醫學諸大家實驗推奬
文獻・說明書・見本品進呈
◎ミツワ石鹼本舖
丸見屋商店

蔚山地方の新羅佛刹遺址 (14)

釜山府囑託 都甲玄卯述

元來指空とは如何なる僧なるやといふに、彼は中印度人である、名は提納薄陀と稱し、刹帝利族の滿王といふ門閥家に生れ迦葉佛より百八代目の衣鉢を繼ぐに至つた名僧である、しかして朝鮮に來遊したのは今を去る六百餘年前高麗忠肅王十三年である、これに指空の事蹟につきては東文選第一百十九卷に高麗の文臣李穡が「西天提納薄陀尊者浮屠銘並序」の中に詳細に記載されてゐる、が又朝鮮の外にもあるが彼れは印度から西藏を經由して支那に來り支那の各地を周遊してつひに元の國都たる北京に到着し、時の元主文宗に優遇せられたが、元の僧徒の嫉視にあひまさに殺されんとしたが難を避けて高麗に來り金剛山法起道場に參詣し大いにその行蹟の他に超越したるより國中の評判となり指空を目して釋迦大師の再來とまで稱せられるに至つた、そこで高麗の名僧たる懶翁や、無學やその他大小僧徒等皆彼れのもとに歸依して弟子の禮を執るといふ盛況、そこで忠肅王はその高弟懶翁をして彼れを宮廷に迎へた、それは彼れ指空が高麗に來たり二年後の忠肅王十五年であつた、麗末史の高麗史に同王十五年秋七月庚寅の日の條に

胡僧指空、戒を延慶宮に說く、士女奔走し以て聽く 雞林府司錄、李光順も亦無生戒を受け州民をして城隍を祭るに肉を用ゆるを得せしめず、又民に豚を畜ふことを禁じ州人これがため一日にして其豚を盡く殺す。云々

と記載してゐる、指空の高麗における勢力は實に偉大なものであつた、しかしてこの勢力下に彼は朝鮮國內の名山は悉く周遊した、かの有名なる平安道の妙香山にも彼はその足を入れたのであるから他の名山は推して知るべくしかして當時高麗第一の巨刹京畿道楊州郡天寶山なる檜巖寺の如き又その開城なる天磨山天磨寺の如きは彼れが重建したる佛刹中最も著名なるものに屬し、しかして慶北尙州郡四佛山の石佛は眞平王が即位九年に建立したところである大乘寺にいたりてこれを再興し、また慶南梁山なる靈鷲山に築つた通度寺山內の金剛戒壇と類似したりとて新に靈鷲山と命名しかつ山中にある通度寺には所に戒壇碑と號する一宇を新築しもつて自ら戒壇碑を講じたる如きは皆顯著なることに屬す

×

然るに彼が靈興寺を重建したる事蹟は蔚山邑誌より他の記錄に見えない、或ひは記錄が散逸したるかよし他の記錄になしとするもこの寺址は信を措くに足りる事實がある、その事實も余が實地踏査の結果判明したのである、然らばその左證は如何といふに靈興寺の地勢を見るに指空のいはゆる「三山兩水說」と最もよく吻合す、彼の楊州郡檜巖寺も相似て三山兩水なること金剛戒壇の通度寺の地勢も亦印度の靈鷲山にも見ゆ、今靈興寺址は三個の高地に存し然して兩水の狀勢を爲す、余ははじめ蔚山邑誌を疑ひつゝ實際につきてこれを踏査しなかつたのであるが、これに到りし時この三山兩水說と寺址を見て一驚を喫したのである、こゝによつて靈興寺は正しく指空の重建したること疑ふの余地なく予は邑誌を信ずるのである

× ×

然らばその遺址は如何といふに、主山より左右兩山には、アーチ式の石臺を高築しありた石柱石存し、又その殿堂の礎石、今猶存す、その側には礎石等に徵して主山と左右山に至る分は最も規模壯大であり、しかしてこゝに殿堂の礎石の如く認められる、しかしてこれは指空重建の後文祿役の時兵火にて焚失したるを慶長十九年朝鮮光海君六年僧大寧と稱するもの主山の堂宇のみ重建したることが邑誌に記されてゐる、又三山の遺址は新羅の石幢あり、古きは新羅時代のものにして新は指空重建の時に建てられたるもの如く認められる。又浮屠二基あり、一基は新羅時代の作にして完全なる[illegible]あり、又他の一基は巧妙なる[illegible]の紋樣あり、頗る妙なる神助の紋樣あり、又蓮華座八瓣に彫りたる石塔の礎石に「東方天」の文字を刻したるがあり、これは高麗時代の物もまた新羅時代の物である。

× ×

さて靈興寺の規模はいかんといふに、その寺域の廣大と山谷の布置は朝鮮八大寺の[illegible]は、通度寺の如きは、これに比する時は稱するに足らずと

然り予もその然るを認む靈興寺の前岩壁を除々として流るゝ溪泉の明澄玉の如き一曲は迂り一曲は亂し或は長蛇の如く或は布をしきたるが如く巖上を流れ、又飛落して瀑となりしかも兩岸の青松、紅楓、溪流に映ずるあり洵に歩を移すに飽くを知らない、確に蔚山切つての名勝地である、この溪には又この三大[illegible]の礎を存するあるのみ、又吹笛[illegible]の遺址あり、しかして水閣洞口の大岩面に『靈興洞天』の四大文字を刻す、これは蔚山府使某の筆である、その筆法は凡ならざるも刀跡卑俗にして見苦しいが、ああ千年前の靈興寺の存在せし當時はさぞかしこの寺は如何に繁榮なりしか追想もつて懷古の情を催ふした余は下山したのである。以上記述し來り余は靈興寺にて一まづ本稿を擱筆する、このほかの新羅佛刹の遺址につきては更に他日稿を起こさんかな(完)

慶尙北道

旱害救濟費七十萬圓に達す
砂防工事は削減されたが普通豫算に計上

慶北の旱害救濟費國庫補助額は既報の如く四十一萬三千八百九十八圓であるが右のうち五萬圓の砂防工事費は削減されることになりこの旨總督府當局に通知があつた同時に土木費を五萬二千圓增額するに決し合計總額四十一萬五千八百九十八圓となつた譯で砂防工事費は救濟事業としては削られたが普通豫算として十九萬圓を支出することゝし今から工事設計に着手し明年度より工事に着手し窮民を救濟する譯で明年度の方針を合計すると旱害救濟費は實に七十萬圓の巨額に達する譯である(大邱)

琴湖水利設立行惱む

問題となつてゐる慶北(琴湖)水利組合設立については大邱市內に居住する大地主の二三反對あり再び行き惱みの狀態に立いたつたがこれは一年の水稅反あたり四圓が高すぎるといふにある(大邱)

商品の斤量檢査
成績良好

大邱警察署では年末に際し不正商人の跋扈することを憂ひ午後一時から府內要所要所に正私服警官を派し商品運搬中の商店員を呼びとめ斤量檢査をなしたが不足分は案外少く例年に見ない好成績であつたがこれは既に以前は勿論[illegible]地でこの檢査をなしてゐるので訓練されたものであらう(大邱)

三國傳來の惡黨
大邱で捕はる

廿七日午前二時頃大邱三笠町三〇上鷗田府吉方へ忍び込みマント其他衣類數十點を竊取逃走したが折よく巡回中の大邱署員が發見し逮捕したが[illegible]の支那人を逮捕し取調べの結果右は支那山東省生れ住所不定高恒有(三七)といひ日本語は內地人と變りないまでに上達し一見內地人と見誤るわけつかず平素和服を着てゐるので[illegible]時だけ支那服を着てゐたものゝ大邱には約一ケ月前から入込み各方面を荒してゐた外大正十五年以來四國では北海道まであらし九月下旬朝鮮に渡り釜山、馬山を荒し大邱に入込んでゐたものである(大邱)

公設質屋大繁昌
初日は十四名驅け込む

二十六日から開業した大邱府營公設質屋は利子の計算が質屋業者に有利なのと金利が安いのに加へて歲末といふ關係から小市民階級の利用者が多く午前八時開業と同時に幸先よく二名の男女がかけ込み午後八時までに十四名の申込みがあり金額は最高十圓最低四圓で質物は總額百圓足らずでこの內には內地人が二人他は總て朝鮮人で質物といつては內地人は衣類朝鮮人は家具類で一人貴金屬を持つて來たが開店早々だけに成績は極めて良好であつた係主任高崎氏は語る

最初四五日は一日に四五人もあればいゝと思つてゐたが案外多いのに面喰つたところまで不景氣だと思つてゐなかつた、貸出しは餘程注意し不當の貸出は決してせず萬事親切を目にしてゐる(大邱)

前府尹慰勞金贈呈可決
山澤前府尹に對し

山澤前府尹に對し慰勞金一千五百圓贈呈の件を附議する二十七日の臨時府協議會は去る二十四日[illegible]外十一氏出席[illegible]府尹への慰勞金贈呈に贊成されたいと諮り黑川議員これに贊し異議なく可決し開會一分間にし閉會した(大邱)

鰊の大群
迎日に來る

廿五日朝迎日灣內に鰊の大群押寄せ、同灣九龍浦地先は一日數萬尾の漁獲があり俄に活況を呈しはじめたが例年に比べて魚期約十五日早いとのことである(大邱)

乘馬倶樂部初乘會

大邱乘馬倶樂部の昭和五年初乘會は五日午前十時から大邱聯隊大隊長の監督のもとに行はれたが明年は恰も午の歲に相當するので[illegible]

商議役員認可

かねて大邱商工會議所からその筋に認可申請中の小口會頭李、賀木兩副會頭以下新役員は廿六日付正式に認可の指令があつた(大邱)

射擊納會

大邱步兵第八十聯隊では二十七日午後一時から聯隊射擊場において射擊納會を行つた(大邱)

慶尙南道

晉州大公園新設
矗石樓や義妓祠など面へ貸附認可さる

晉州面においては昨年度において本多林學博士を招聘して晉州大公園設計の計畫をたて、これが用地として、名蹟矗石樓や、[illegible]や、義妓論介を祭れる義妓祠等の存在せる附近並に道路山一帶の地域大寺池一帶地の區域にわたる一部官有地および官有建物の貸附方申請中であつたがこの程認可せらるゝに至つた(晉州)

一、官有地
(イ)慶南晉州城趾地內十二筆土地、垈及林野等)一萬三千三百四坪六合(地上物件共)
(ロ)大寺地一萬二千七百五十三坪(地上物件共)
二、官有建物
(イ)矗石樓此建坪七十坪四合五夕
(ロ)義妓祠同四坪四合六夕
(ハ)論介門同一坪

聯絡船賑ふ
乘客を貨物船に收容

關釜聯絡船は數日前まで非常に旅客が少く時には連絡船の如きは旅客より船員の方が多いといつた場合もあつたが歲末となつて廿五日頃から旅客激增し同夜の如きは金剛丸に乘り切れず遂に二百五十九名を貨物船の方に收容したといふ狀態である、更に廿六日夜も滿員で當局では貨物船に收容するほどではなかつたが、これは學校の休暇や正月に歸る學生の關係であるが殊に今年は陰曆のため正月の休みを利用して歸鄉するもの多く正月に歸る學生の關係であるが殊に今年は陰曆のため正月の[illegible]を中止し家族揃つて內地にでも旅行しやうといふ向きが多いので正月の如きは一層混雜を極めるであらうと見られてゐる。(釜山)

晉三道路改修決定

晉州泗川兩郡民代表より三千浦築港の前提として、晉州三千浦間の二等道路の改修方につき陳情して居たが今回七萬七千圓(內土工四萬二千圓)增額二萬八千七百圓)を投じて改修工事を施工せらるゝ事に決定した、なほ晉州宜寧間道路の內、晉州院內の區域は一萬二千三百八十圓にて、晉州竹本線に編入したものは既報の通りであるが更に道廳附近に七千圓を投じて近く起工せらるゝはずである(晉州)

釜山の水道蘇る

廿六日夕方以來の雨は年末年始を控へてどうしても給水量を增さねばならぬ釜山府をほゞ喜ばせるに充分であつた、即ち釜山の水道は全く蘇生の觀がある。現在の貯水量は法基水源地八十萬立方尺、聖知谷十二萬立方尺、其他佛岩山、水晶町の各配水池の狀態で、これに水道沈澱池の送水量十四萬立方尺が前記通り行ひうる狀態にあるので來年から正月だけは久しぶりに釜山府民も朝から水を使用出來る事になつた

釜山の小火二件
年末に

年末に際して小火騷々たる釜山では二十五日正午過ぎ九一町二三八金元植(?)方の物置より發火あやうく消止めた次いで二十六日午前十時頃寶水町三丁目加藤加門信太郎方より火を發し大事に至らんとしたのを通りかゝり發見し消防組にも通じ消火につとめたので大事に至らず出火原因はかまどの火の不始末(釜山)

つあつたが漸く成案を得たので一月五日[illegible]にて役員の顏觸を協議し[illegible]かね紛糾に關する具體案を協議するはず

忠淸南道

產業振興自助會
各面里を單位に設立

大田郡守高橋正氏は着任以來各面を巡視し面々諸種の實情をあげつゝあるが氏は道の方針に基づき產業獎勵を目的とし昭和五年一月一日を期し[illegible]と協力し郡行政の根本を民心に周知せしめ郡民協力一致して[illegible]を計りてこれが實行をすゝむべく八大必行事項と八大[illegible]事項を掲げて各面各里を單位とし產業振興自助會を設立せしめその他の[illegible]實行事項等より[illegible]の改良を圖り[illegible]一般產業の振興を計り[illegible]を普及せしめ優秀なる自助會の擴張を計るはずである(天田)

大田軍人會館設立

大田在鄉軍人分會にては多年の懸案であつた在鄉軍人會館新築につき資金造成に多大の努力をなしつつ[illegible]

平安南道

小作制度改善の諭告
從來の小作慣行を改善し小作人に安定を與へよ

平原郡守金化俊

平原郡守は小作慣行改善のため左の諭告を發した

諭告

我國は古來農業の大宗は農業なり之が國家經濟の根本たり其振否は直に國運の隆替に影響する所大なりとす而して我朝鮮の農業狀態を新政施行當時に比するに其進步の跡顯著にして今やく隔世の感なきにあらざるも前途未だ遼遠なりと謂ふべし凡そ農事の改良發達の方法種々あらむも小作制度の改善を以て焦眉の急務とす先づ本郡の狀勢より察するに農家總數一萬五千九百餘戶にして地主一千四百餘戶自作農二千九百餘戶自作兼小作五千餘戶純小作は總戶數の七割を有し小作地は[illegible]の小作慣行たる二分强を示し其の久しきに亘り準繩すべきやく契約なく地主も意思に依り濫りに移動し[illegible]收穫の如きは朝鮮の慣習に依る[illegible]作人の生活を脅威し土地改良耕種の進步を[illegible]すこと妙からざるは[illegible]に堪へざる所なり之は本邦に限らず全朝鮮の農業界に於ける通弊たるは識者の齊しく認むる所なり朝鮮總督府當局は茲に鑑み夙に朝鮮小作制度調査委員會を組織し種々調査研究せられ尙全鮮大地主會同協議の結果最善の[illegible]を發表するに至りたる地主に之を實行せしめ本郡の各地主に於て之を基準として本郡の各面に於て地主懇談會を開催し左記各項を本年より實行すること一定する所ありたり即ち地主は小作人に對し親切に生活の安定を得しむる大精神を以て[illegible]を改良し以て小作慣行の解決に資せしめ小作人は地主の指導に從ひ一意專心農事改良に奮勵し共存共榮の大目的を達成することに努

高射砲隊へ
御眞影下賜

平壤高射砲隊に御下賜になつた御眞影は二十七日午後三時六分平壤驛着列車で龍山野砲第二十六聯隊長白石七十七聯隊長山聯隊長以下多數奉迎し直に高射砲隊へ奉安し拜式を行つた

電興の發電機故障

平壤府電氣課に電力を供給してゐる電興の二千キロ、發電機が氣溫の激變のため配電所內に著しく濕氣が增し假子の絕緣不良となり特に[illegible]の絕緣を見二十四日夜突然故障を生じたため急處で直に發電機を分解し修理を施してゐるが何分十五キロも[illegible]修理ではが急遽に終らないので同日から[illegible]家發電の設備を有する平壤府と朝鮮無煙炭會社に對し[illegible]一ケ月間の自家發電を依頼したので各方面に對する電力供給には何等の支障を來たさずに濟んだ(平壤)

自動車の氷詰

廿五日午後三時三十分頃平安自動車會社の平壤二九九號十一乘合自動車を運轉手和田某が運轉して平北新義州から平壤へ向け途中平北新義州江[illegible]へ差かゝりた時まだ結氷が薄く氷上運轉は危險なるため乘客四名を下車せしめ自動車を運轉して渡河中江の中央部へ差かゝりたる際突然氷が壞れて自動車は深さ二十尺の江中へ沈沒したが運轉手は辛くも氷上へ這ひ降りたので命拾ひをした自動車の引上げは解氷まで不可能である(平壤)

自動車轉覆
乘客は無事

二十六日午前十一時公州發大田行き湖南自動車運轉手平[illegible]の一八一號は公州乘客六名をのせ出發したが朝からの雨は直に氷結して路面は砥の如く公州の南方牛禁峙の頂上から約五百米の下り坂で牛車を避けやうとして自動車は轉覆したが乘客も怪我なく車體も何等異狀のなかつたのはさひはひであつた(公州)

公州の猩紅熱

公州の市中には客月來猩々に猩紅熱患者發生し二三名の死亡者もだしたが二十三日公州郡廳職員[illegible]氏の令孃[illegible](公州高女一年生)は猩紅熱と判明して入院中二十五日夜遂に死去した、なは廿六日午前小學五年生の[illegible]孃も猩紅熱と診斷入院手當て中である(公州)

公州消防出初式

公州消防組は恒例により一月四日午前九時より小學校庭において消防出初式を擧行するが當日は▲十年勤續者、[illegible]表彰するなほ消防組[illegible]は[illegible]內地人四十四名朝鮮人卅五名である(公州)

献金
鐵嶺國防を獻への時

平壤[illegible]二ケ月を過ぎた今日[illegible]なるもの組織された會員は[illegible]の排除によつて貯へた中から應分の獻金をなして行かうといふ申合せをなした二十七日までに集まつた金額は十一圓である(平壤)

自動車事故

平北平安自動車商會[illegible]の平北第一五〇號十五人乘大型乘合自動車が二十六日午後二時四十分頃平北价川郡价川面松[illegible]道路第三松[illegible]の手前約二十間の地點を疾走中前方から來た牛車を避けんとした際路面が凍結していたため車輪がすべつて約四尺位下へ轉落し乘客中平北[illegible]永玉(?)の兩名は上部[illegible]約一週間を要する負傷を負ひ自動車は大破した(平壤)

全羅北道

大晉寺前の土砂崩壞
打ち續く暖氣と降雨で

群山府[illegible]町大晉寺前高地は打ち續く暖氣と降雨のため二十日朝大音響と共に三十餘坪の土砂崩壞したが幸に人命器物には被害はなかつた右通路は危險な箇所ではあり、いつ崩壞を重ねんとも限らず市街美からも衛生上からも遺憾の點が多かつたので高地を取のけることを計畫の形勝を撰たので近く地所四千數百坪の市街地を造設することになる附近には[illegible]の群山驛および遊廓もあり昭和通りから遊園地および[illegible]洞に通ずる道路の豫定線もあり群山目貫きの地所となるので附近一帶は一目一新されることとなるであらう(群山)

全州から

◇全州郵便局の川瀬工手は今度技手に昇進して平壤郵便局に轉勤した ◇全州街は十五年一昔とか聞く所によると彼の府在勤者は[illegible]に、諸數百二十なる。

裡里から

◇益沃水利組合理事桐谷吉老今や[illegible]に病みて病あつしと聞く。◇益沃水利の中村理事、中島出張所[illegible]係にあてた書簡をひもとけば(中略)骸にも醫者にも見放されたるも未だ元氣全く衰えざる程に一命を賭し廿五日[illegible]後の手術施行に[illegible]の加護によりて[illegible]ならばスッポン四五匹御恵附を乞ふもろ人のあつき情に惠まれてやがてさびしく旅立ぞせん ◇五度も決せし命長生へてやがて消えゆく筑紫路の空 ◇嫌[illegible]たる風格、ぎんくがくの[illegible]。一度は本町[illegible]の鬼監督とうたはれた古武士[illegible]あゝ再び立つ能はざるか―[illegible]に神佛の加護あつからん事を

群山だより

◇群山府では廿七日午前十一時から府廳樓上に於て群山府官民百九名に對し御大禮記念章の傳達式を擧行した
◇群山消防組では恒例に依り一月四日午前八時より出初式を公園下グラウンドに於て擧行することに決定した
◇群山神社に於ては來る三十一日午後四時から恒例の下半大祓式を午後六時から除夜祭を執行することになつた

平安北道

公金拐帶の雇員
新義州で捕はる
奉天で料理屋を開く爲め酌婦を連れて行く途中

廿五日午後八時四十一分新義州驛着の奉天直行列車中に朝鮮人婦人と子供二名を伴ひ乘車してゐる[illegible]に不審の點あり乘込みの新義州署員が下車せしめ本署に連行取調べた處右は慶南道[illegible]金融組合書記[illegible]といふもので自己取扱ひの[illegible]郵便金三百圓を橫領しその金で奉天に於て料理屋を開き一儲けせんと釜山から酌婦二名を拐帶子を連れて奉天に赴く途中であることを自白したが目下取調べ中(新義州)

◇酌婦に前借させ不當に働かせた[illegible]
◇不審[illegible]を拘禁された[illegible]
◇商議會が不相[illegible]ヒロメ屋式で市民を[illegible]やす
◇商議[illegible]にお役人でない[illegible]
◇[illegible]規定時間だけあつて顔[illegible]
◇[illegible]のいゝので部員にもやまはれてゐる[illegible]にもう一人ある、[illegible]
◇だが容器でも魚の話題と顏の大小とは同意でゆかぬ相だ

黃酒の香

畧 狂 子

[illegible]

地 方 集 會

◇谷山郡披露宴 新任谷山慶南知事は廿六日午後六時から釜山ステーションホテルに官民有志百餘名を招待新任の披露宴を催した(釜山)
◇林知事披露宴 新任林慶北道知事は廿六日午後四時から府內各方面の有力者を招待道會議室で新任披露宴を張つた(大邱)
◇芳賀支局長披露宴 大邱專賣支局長芳賀文三氏は廿七日午後四時から在邱各方面の有力者を樂大に招待新任披露宴を張つた(大邱)
◇忠南部長[illegible] 忠淸南道財務部長下飯坂元氏初度巡視のため來田を機とし大田官民有志四十餘名は二十六日宮士家で歡迎宴を催した(大田)
◇新義州官民送別會 新義州府では今回榮轉した菊地法院長新義州檢事正、本田刑事部長、[illegible]四氏のために廿八日午後四時より公會堂に於て官民の送別會を催した(新義州)
◇南部長張宴 新任松澤平北內務部長同白石財務部長は廿八日午後六時より花新新聞記者を招待して新任の披露宴を開いた(新義州)
◇上田守備隊長招宴 獨立守備步兵第六大隊長上田大佐は廿九日午後五時半官民および在安新聞記者を鴨江樓に招待して忘年會を催した(安東縣)
◇阿部[illegible]長惜別宴 咸南へ榮轉の阿部[illegible]は十六日午後六時から料亭赤[illegible]家に[illegible]羅南記者團を招待し惜別の宴を張つた(羅南)
◇石田部長披露宴 石川平南警察部長は十八日午後六時から平壤府櫻町料亭[illegible]へ[illegible]平壤新聞記者を招待し新任披露宴を催つた(平壤)
◇全北知事披露宴 新任全北知事は廿八日午後四時卅分官民有志を道會議室に招じ挨拶をなし新任の披露宴を張つた(全州)

黃海道

新幕の木炭王
杉山氏京城へ進出

新幕唯一の木炭問屋であつた杉山[illegible]一氏は大正十三年頒布の道令林保護取締規則により一般製炭業者の打擊となり[illegible]名産の一つであつた根[illegible]炭も[illegible]次出荷り昨今は殆くその影を沒する狀況となつたので今回北[illegible]炭に着目し[illegible]炭[illegible]通り[illegible]き新組を出張所となすと共に北方各要地に同業出張所を設け更に新的[illegible]發をなすとなつて多年の公私組織を設立し[illegible]去る十日出發した氏ははじめ[illegible]物を營んで居たが牛移出の有利を見るや直に牛商となり今日ある新幕牛として有名な市場をなすは實に氏に負ふ所が多いその後根[illegible]の將來に着目するや翻然として氏獨特の組織法により取締[illegible]布前は該生の木炭商を壓倒して斯界に牛耳をとり一ケ月に七八萬貫乃至二十萬貫內外を移出し居たものであるなほ氏は去るに臨んで消防組へ若干の寄附並に[illegible]を勵じて貧民へ[illegible]をもなし一般から非常におしまれつゝ去つた(南川)

◇[illegible]十であつたが現在では交換手[illegible]十で取つけ數四百六十に達して居るさうで[illegible]の點で[illegible]は[illegible]
◇囀らず[illegible]の間に發展したものですね、在鮮十五年になりますが今の電話架設の狀態から見ると通話停止もなく特別の申込にも應じきれない程で、實に全州は健全な發達をつゞけて居るといひ得ませう。今更全州は離れたくありませんがフラ[illegible]して居た甲斐がつながつたに昇進まで漕ぎましたので喜び勇んで赴任することが出來ます
◇人の懷工合から、市の消息を[illegible]もよく知る[illegible]の出來る仕事を十五年も勤めた君の[illegible]は全州を四年間離れて居た記者の追憶をなつかしく湧き起こさせた
◇の任務を明かにして貰ひたいと[illegible]もしなければどうやでもいゝだらうに
◇クリスマスの夜松澤內務部長玉の様な女子を擧ぐ
◇廿六日新義州府で大禮記念章傳達式を行ふ
◇人心一新[illegible]に飛んで安東署長以下幹部總變り
さてその次ぎは?

外用鎭痛藥
サロメチール
痛み、疲れ……の塗擦療法
筋肉の硬直及び關節の痛みにサロメチールを擦り込めば、直ちに皮下に滲透し鬱血を散じて血液の循環を良くし炎症を愉快に消失せしむ。
消炎鎭痛劑として
頭痛・腰痛・關節炎
ロイマチス・神經痛
スポーツ藥として
打撲・筋痛・疲勞
肩凝・腫脹・捻挫
その特長 ― 奏効迅速…… 殆んど直ちに效能を表はす
― 無粘着性…… 皮膚又は衣類を汚損せず
― 用法簡易…… 單に患部に擦込めば足る
[illegible]
發賣元 株式會社 田邊元三郎商店

小兒科 一色病院
入院皆通及 傳染病室
京城本町二丁目 電本二一八四番

急告
安價ナル包裝ヲ御利用下サイ
◎鑛石入麻袋
◎古セメント袋類(加工改造)
新古鐵銅商 麻袋賣買
平壤府警察署通江岸へ
當所商店
電話一〇二三番

脚氣にオリザニン
ヴィタミンBの世界的始祖
脚氣に對するオリザニンの效果は既に決定的事實なり
オリザニンは脚氣の外 (1) 重病經過中に來る榮養障碍及其豫防の治療と豫防に (2) 人工榮養兒、特に煉乳、穀粉榮養兒榮養障碍の治療と豫防に (3) 姙婦の榮養を助け、惡阻を輕減若くは防止し便通を去るに極めて適切なるを知らる
粉末、錠劑、液劑、越幾斯劑、注射劑の各種あり
類似品多數ありオリザニンと指定を要す
(實驗報告集進呈)
東京室町 三共株式會社 大阪、臺北、仁川

京畿道

利川の節約運動
俸給生活者の申合せ

利川郡では郡廳所在地における官公署、學校、銀行、會社その他の俸給生活者は左記規約によつて公私經濟緊縮節約會を組織し冗費節約の實行に基づき率先して公私經濟の緊縮節約をはかり勤儉力行に努め以て貯蓄を勵行し他に範を示しこれが氣分の醸成を促進すると同時に國民經濟の根底を培養するため二十四日郡廳に各代表者は利川郡廳に集合し協議した結果の規約、職務、各團體等においてもこれに準據してそれぞれ實行するやう郡廳から通達した

利川郡公私經濟緊縮節約會規約

第一條　本會は利川郡公私經濟緊縮節約會と稱す

第二條　本會は利川郡邑內面所在官公署、學校、銀行、會社並其他の俸給生活者を以て組織す

第三條　本會事務所は當分間利川郡廳內に置く

第四條　本會は率先して公私經濟緊縮節約を勵行し勤儉力行に努め以て貯蓄を勵行し他に範を示しこれが氣分の醸成を促進すると同時に國民經濟の根底を培養するを以て目的とす

第五條　本會は前條の目的を達するが爲め左の事項を遵守實行するものとす

一、歳暮年賀の意を表する場合は努めてこれが眞情を表示する程度にとめ過分の金錢物品の贈呈をなさざること（但し弔の場合は返禮を廢止すること）

二、冠婚喪祭週歳祝の如き冗費を節約すること若し右の場合に招待するも之に參席せず斷然たる慣習改善の促進を圖ること

三、年末年始の贈答品の廢止年末年始の宴會費の節約を圖ること

四、新年は名刺交換會の趣旨を勵行し交換會散會後は絶對に回禮を廢止すること

五、官公署學校銀行會社に在職する者轉勤退職等の場合一般的留送別宴並記念品の如き絶對に辭退すること

六、規約貯金を勵行し該預金は特種の事情ある場合の外絶對に之が消費を嚴禁すること

第七條　本會には當分間役員を設置せず第七條本會は必要に應じ會員の參集を求め實行事項その他に付協議を爲す

仁川府廳の御用納め

仁川府廳では二十八日正午府廳會議室に於て御用納め式を行つたが一月一日午前十時より拜賀式を四日午前十時より御用始め式を擧行するなほ仁川署においても一月一日午前十時より拜賀式擧行（仁川）

キッスして罰金（仁川）

外里飲食店文永女方雇女下順愛（二）は廿六日午後零時半といふ白晝に龍岡飲食店前路上において二人の男と抱擁しキッスをしたので二十八日仁川署において風俗をみだるものとして科料三圓の處分

龍山だより

◇軍部御用納。軍司令部では二十八日午前十一時卅分から御用納で職員一同講堂に集合、參謀長の代表挨拶と軍司令官の訓示があつた、なほ師團司令部でも同時御用納が行はれた

◇將校忘年會。龍山衛戍將校三百余名は廿八日午後四時から偕行社へ集合、盛大に忘年會を催す

◇國防對抗演習。第十九、第二十師團の對抗演習は軍司令部年來の希望であるが、中央部でもこれに賛成の結果いよいよ來年度には實現することになつた。しかし公表はまだ入つてゐない

◇陸軍始觀兵式。一月八日は陸軍始、龍山でも上原師團長指揮の下に八日午前十一時から練兵場で觀兵式が擧行される。豫行は六日午前十一時から

◇遞信局御用納。二十八日午後零時半から

◇軍部年始行事。軍司令部では一日午前十時卅分より職員一同が殿下宅において御眞影奉拜、次いで講堂へ集合し、軍司令官より年頭の辭、午後零時卅分より京城將校團相當官および陸軍高等文官一同が偕行社で新年互禮會、四日の御用始は午前十時職員一同講堂へ集合、參謀長の代表挨拶がある また師團司令部は一日午前十時卅分職員一同御眞影奉拜、十一時卅分より偕行社で新年互禮、五日は乘馬會で、午前九時卅分偕行社集合、南山一周のはず、六日は午前十時より練兵場で觀兵式豫行、八日は陸軍始で午前十一時より練兵場で上原師團長指揮のもとに觀兵式

◇遞信局年始。一日午前十時京畿道廳所在の全員が會議室に集合、村田局長の年頭の辭があつて、次いで食堂で冷酒をくみ、萬歳三唱して賀詞交換、四日の御用始は午前九時から會議室で本局全員が集合して

咸鏡南道

元山の經濟緊縮
忘年會廢止其他を決定

元山における公私經濟緊縮委員會は二十六日午後一時より府廳で開催まづ會則について協議し後
一、宴會の改善に關する件
二、新任送別に關する件
三、年末年始に際し冗費節約の慣習打破に關する件
四、時間勵行に關する件
五、國產品使用勵行に關する件
六、服裝に關して改善の件
七、規約貯金に關する件
の協議に入つたがこれが實行要目決定にあたつては十二分の考慮を要するとであり元山に相應する要項即ち實行の伴ふものでなくては會の目的は達せられぬので各委員とも慎重審議する處あり各項にわたり意見の相違する點もあつたが結局緊縮の問題として年末年始に關する冗費節約の慣例を打破する件の決定をみたのみでその他の各項は十二分の研究を遂げた上決定することとし年末年始冗費節約につき
イ、忘年會を廢止すること
ロ、年末年始の贈答を廢止すること
ハ、年始團體を廢止し名刺交換會に出席すること
ニ、門松七五三飾りをなるべく簡素となすこと
の諸項を申合せて午後五時半散會した

模範使丁
崔氏表彰さる
二十四代の郡守に仕ふ

光輝ある御大典を記念に日本弘道會においては一周年にあたる十二月一日日本全國の篤行者を表彰したが成鏡南道から推薦した洪原郡廳小使崔成龍氏が表彰された。崔氏は資性溫厚正直で洪原郡廳の小使として職歷三十六年實に二十四代の郡守につかへ終始一貫忠實に勤務し公私外の職務の熱心、現在に至るまでその心掛けは實に感心に使丁の鑑とするものがある、因に同小使は大正八年郡廳勤務以來職員一同から銀杯を贈り表彰せられたこともある（洪原）

咸鏡北道

咸北雜爼

◇清津府では輸城川の公設市場付近の移轉を擔ひに何等か設市場として既設の機能を改廢せずとの非難あるに鑑みこれが改築と實質改善を考慮し目下計畫中であるが右新築には工費約三萬圓を要し財源を起債に求むる外なき關係上、起債絶對不許可の本府の方針によつて來年度は實現見込みなく、警察の公會堂も土地の交換だけは可能性あるが建築費の明年度豫算計上は不可能と見られる

◇內外鑛業株式會社經營の明川郡古站炭坑の古站炭は價格低廉白圖に具火持ち永く家庭向き理想的の經濟炭として京城初め各地で好評を博し近來著しく需要が增加したので同炭坑では今までの特約販賣制度を變更本年より各地に社員を派し直營販賣を行ひ販路の擴張に努めてゐる

◇會寧工兵第十九大隊は十九日から三日間豆滿江架橋演習場で嚴寒結氷を利用し架橋演習を實施した

◇咸北では漁船の遭難に鑑み來年度より大型漁船の建造を獎勵すべく右補助金として一萬圓を計上し、發動船九隻建造費九萬七千八百卅六圓、補助金六千九百八十七圓和船十隻建造費九千六十一圓、補助金三千十三圓と適當額を決定した

◇咸北でも本府の通牒により本道最初の失業調査を行ふことになつたが期日は一月卅日現在として一齊に行ふこと困難の事情にあるため近く準備調査を行ふべく準備してゐる

◇前聯隊副官に轉した步兵中佐後藤十郎氏は今回御勇退去に際し小學校理科器具購入費として金三十圓を寄附した

滿洲

滿鮮スケート大會
一月二日鴨綠江で開催

安東體育協會主催田口氏より明年一月二日鴨綠江リンクにおいて滿鮮スケート大會を開催することに決定した旨安東氷滑部に通達があつたので同部では廿六日幹事會を開いてこれが準備につき打合せをなしたなほ滿外中等學校のスケート競技大會も安東鴨綠江リンクで開催と內定してゐる

安東署異動
尾崎署長は大連へ

今回關東州警察部の異動發令によつて、安東署長尾崎三郎氏は大連署長に榮轉し後任には大連署高松警視が昇任することになり、[illegible]

[illegible]

た名署長として市民一般から今回の轉任を惜まれてゐる（安東縣）

江原道

金化から
春川支局　一記者

郡守李起遠氏は敏腕な手腕を持つ人格者だ。彼の郡守としての施政ぶりは理路整然たる[illegible]

×　×

金化における[illegible]

從來なら學校を設立するためには[illegible]

それからこの教育振興會の事業としても一つ立派な計畫がある、それは簡易學校設立がそれであるが、その方法は十ヶ年を計畫し第五年度には小規模のものを設立してから十五年目には大規模に擴張完成してこれを通立させるのにするさうだ。程度は四年制普通學校卒業生又は六年制普校四年修了生を入學させる方針である

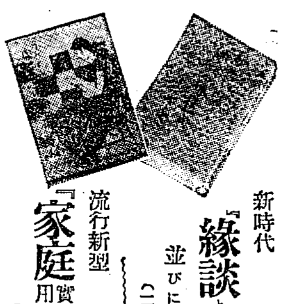
自動車創立總會（春川）

春川自動車株式會社はいよいよ株金の拂込みその他の事務も漸く進捗したので二十四日午後一時から春川公會堂において同社創立總會を開催した（春川）

地方人事

▲荻原三郎氏（釜山海陸事務所長）二十七日夜京城へ
▲岡田一氏（鎭南浦肥料販賣支配人）二十六日內地へ
▲千明榮六氏（木浦支廳檢事）釜山地方法院から榮轉二十七日本社支局來訪三十日赴任の筈
▲下飯坂元氏（忠南財務部長）二十六日大田各方面歷訪新任挨拶をなし二十七日歸任
▲弘岡一二氏（判事）順天支廳へ榮轉二十九日正午大田發赴任
▲田中半治氏（新任濟州島司）一月二日午後三時廿一分平壤驛發赴任のはず
▲竹尾登四氏（新任釜山地方法院長）二十七日平壤發赴任
▲佐藤榮治氏（大邱覆審法院長）二十七日平壤發赴任
▲粟野俊一氏（吉林公所長）安東滯在中廿七日退安
▲高尾享氏（採木公司理事長）廿八日家族同伴東上
▲尾崎三郎氏（新任大連署長）廿九日安東發赴任
▲小此木警部（安東署高等主任）廿九日安東發

お聞きですか
この噂。この大評判



新時代
『緣談と婚禮』
並びに結婚生活
（一圓五十錢位の値打）

流行新型
『家庭用實用編み物』
（六十錢位の値打）

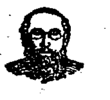
この立派な二冊の書籍大附錄を
五十錢の本誌と合せ
婦人俱樂部新年號三冊で八十錢
安い安いと大評判です
本誌は美しい口繪、面白い小說、家庭に爲になる實用記事満載

更に大評判になつた
『母』の續篇『子』（鶴見祐輔先生作）
が出ました
素晴しい評判です
其他小說は皆大傑作のみを集め
賣切れぬ中お早くお買ひ下さい。

內科
小兒科
本田病院
京城黃金町三丁目永樂町通り
院長　ドクトルメヂチーネ　本田建義
院長ノ往診ハ可成午前中ニ御申込ミヲ願ヒマス
入院隨意
病院 電話本局二一四四三番
自宅 電話本局二一〇九番
振替京城三二二八番

製造卸問屋
各種
タオル
メリヤス
靴下
釜山府辨天町一丁目
村上タオル商會
電話長一〇一番
振替釜山一二一一番
タオル工場・靴下工場
裁縫品工場・軍手工場

セキを輕んずべからず
命に係る事あり
セキにヨクキク專門藥



參天セキ藥

無代進呈
醫學博士小田俊三先生の著「呼吸器病と咳嗽及び喀痰の話」（全一冊）及び諸博士の文獻を無代進呈致します

三十錢（二日分）　五十錢（四日分）
一圓（九日分）　二圓（廿日分）

▼各地の藥店にあります▲
直接の御注文は郵便切手で御送金下さい
振替貯金を御利用ならば大阪三六六番へ
代金引換は小包料を要し升から御損です

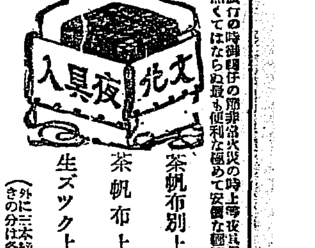
効能
かぜのセキ、百日セキ、ゼンソク、咽喉・及び肺結核、肺炎、肋膜炎、氣管支カタル、咽喉カタル等の咳・痰を全治せしむ

平素呼吸器の弱い人は勿論、丈夫な人でも、寒くなるとチョットの油斷から咽喉を害してセキが出る事が多いのでありますが、呼吸器は直接人命を司る最も大切な所でありますから、僅かの故障で出るセキでも、之を輕んじる事は甚だ危險であります
始めは輕いセキでも、手當をせずに置くと遂には氣管支カタルや肺炎、肋膜炎等の重い症になり易く、又、ゼンソク、百日咳、肺病等で激しく出るセキは、寢ざさ共に益々ヒドクなり、果は一命に係る事もありますから、セキの手當は何より急がねばなりません
「參天セキ藥」は、醫師に愛用される鎭咳祛痰新藥「ザンロイド」を家庭藥に變形したもので、キキメの優れてゐる事は既に定評があります　早く「參天セキ藥」を服んで「お醫者」この冬はセキに苦しめられずに濟んだ」と喜んで下さい

大阪北濱壹丁目　參天堂株式會社

229

文化夜具入



御旅行の時御園行の節非常火災の時上等夜具保存に長持代りに是非無くてはならぬ最も便利な極めて安價な經濟的文化夜具入れ
茶帆布別上（五枚入 七圓五十錢／四枚入 六圓五十錢／三枚入 五圓五十錢）
茶帆布上（五枚入 六圓五十錢／四枚入 五圓五十錢／三枚入 四圓五十錢）
生ズック上（五枚入 五圓／四枚入 四圓五十錢／三枚入 四圓）
（外に三本紐革附あり紐革附きの分は各々壹圓上り）
（地方の御注文は代金引替にて送ります）
京城本町一丁目
總製造販賣　高木艶店
電話本局二一三五三四番

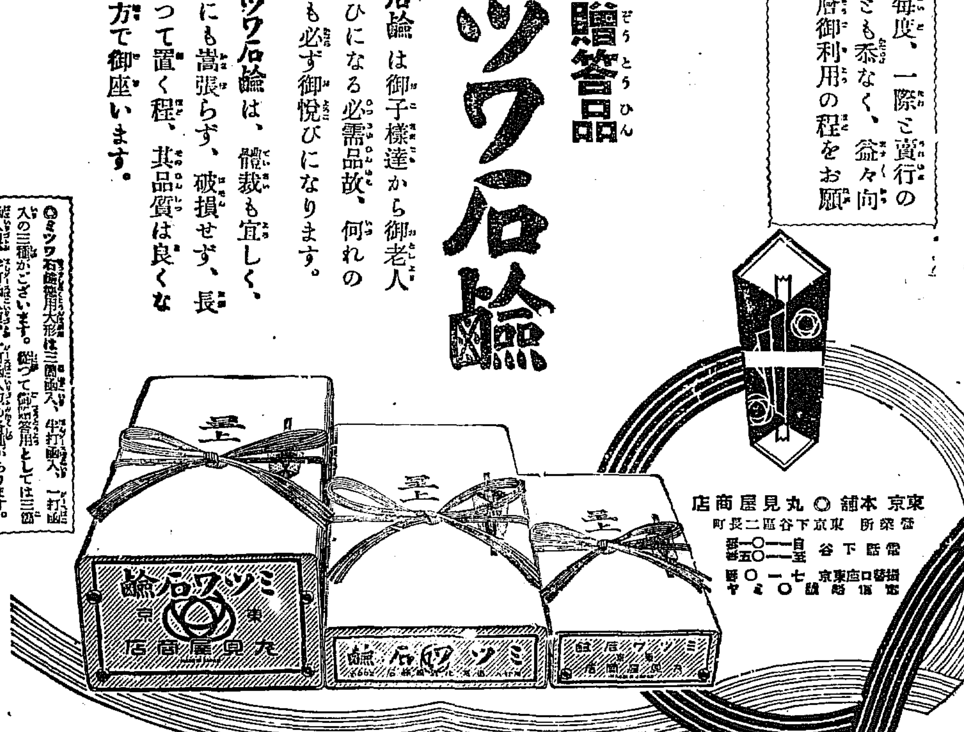
年末年始の
好贈答品
ミツワ石鹸

御贈答季節には、毎度、一際ご賣行の激增を見ます段何とも忝なく、益々向上の本年は、尙一層御利用の程をお願ひ申上ます。

◎ミツワ石鹸は御子樣達から御老人までお用ひになる必需品故、何れの御家庭でも必ず御悅びになります。
◎ミツワ石鹸は、體裁も宜しく、運搬にも嵩張らず、破損せず、長く藏つて置く程、其品質は良くなる一方で御座います。

◎ミツワ石鹸は何處の取次店でも特別勉强の値段で御注文に應じて居りますが、萬々一御近所で賣切れ等の節は何卒本舖へ直接御一報を願上げます

◎ミツワ石鹸徳用大形は三個函入、半打函入、一打函入の三種がございます。尙ほ御贈答用としては三個函入包、半打函入包、一打函入包の各種があります。



東京　本舖　◎　丸見屋商店
營業所　東京下谷區二長町
電話下谷自一〇一一番至一〇一五番
振替口座東京七一〇番
電信略號マヤ〇ミ

（徳用大形三個函入包・半打函入包・一打函入包其他）

126

時計
貴金屬
金銀
鍍器
寫眞機
活動寫眞機
及材料一式
京城本町一
株式會社 大澤商會京城支店
振替京城二三一番

國益捕鳥
カスミ網（極上絹糸製）
三間　三圓
五間　五圓
代引送料二十五錢
定價表進呈
京城府永樂町二丁目
漁具卸商　吉備商會
電本三一四番
振京四三一八番

京日詩壇（十一月集）（完）
佐藤清選

瞬間の幻影
山內忠吉

けいけいたる目を据え
沈む瞳を射すくめ
闇に打込む閃光二つ
二條のレールは鋭く冴え渡り
不氣味な反射をのたうたせ
スルスルスルと迫ひ迫る
肉
鮮血
壞滅!
ギラリと電光
黒い影は深かいエンジンの爆音を前にして去つた
走れ 十字路
又も光芒はちらついてゐる

落葉は……
杜田亮一

世紀に疲れた無數の魂が
ひからびた落葉になつて落ちる
泣いたであらう 叫んだであらう
不可抗の轢にさいなまれた事であらう
深酷な空氣が世界の隅々にはびこつてゐる
或は慟哭し、或は哀願する
お前、お前達の姿のあさましさよ
泣いたであらう、わめいたであらう
世紀に疲れたお前達だもの
熟てがひからびた相手に見える
お前達だもの
ダクダクとなつたお前達の抜殼よ
どんなに泣かうが、詫へようが
駄目であらう、無駄であらう
落葉がある、そこにも、こゝにも
旋風を夢見る落葉がある。

白
松島

白よさあ散歩だ
お前はどこでも好きな所にゆくがよい
おれはどこでもついてゆくよ
何もそんなに
あはれつぽいうれしそうな目をしなくてもよい
ちぎれる程しつぽをふらなくてもよい
今日はどこ迄も
どんな山にでも街のすみつこでも
おれはお前の行く方についてゆくよ
おれはお前の主人でもなければ
おれはおれのしもべでもない
おれは誰よりも
お前の正直が氣に入つてゐるのだ
白ようれしそうだな
おれもうれしいお前をみると
人間のみにくいわだかまりが
きれいにとけてしまふのだ
お前の黒目は
私を見あげてうるんでゐる目は
ランプのほやの様にうるんでゐるよ

都會の秋
山內忠吉

しなびた睡眠の深い滑に
凋落のほの暗い哀愁を充たして
ボロリ〱と友を追ふ公孫樹の葉
俺の心臟迄觸こまり
無茶苦茶に觸こまり
執念もなくボロリと
どぶ泥の底に沈みさうだ
鼠色に鉛色した灣
苦惱の深淵を折りたゝんだ灣
その押し迫る壓迫を身に泌みて
感じる秋だ
腐蝕したガソリンの排氣と
せん渦したごみと汗と油とで
底の底迄塗りつぶした都會の姿態
追ひ迫る壓迫の鞭の前に
炎々たる怨恨は下腹にうごめき
憎惡はキリキリ臓腑をかむのだ
バスの運轉手よ四五畑の運轉手
カッとぶつとばしてくれその電車よ

男よ
あざみ

何故笑はないのだ
何故いつもオドオドしてゐるのだ
×
あの胸に果物のにほひのする
桃色のしづくがあるとは思はれないし……
×
何故泣かないのだ
何故涙をこぼさないのだ
男よ

秋蠅と遊んだ話
松島

おんどるに黄色い日光のひろがつてゐる日
空しくその日暮しに生くる私は
蠅と遊んだ
私は逃げさまよふ蠅をおひまはし
羽をちぎつて、歩かせたり
足をちぎつて、飛ばせたり
一匹取りそこなふと
次の奴は殺す『蠅則』を作つて
蠅と遊んだ
私はそして幾匹もの蠅を殺した
一本のあと足をつまむと
ぶんぶん羽をうならせて
必死に最後の努力をつくしながら
もだえ苦しみ、よろめき
飛び逃げんとする指頭の蠅を
じつと見つめた
『蠅則』により、殺される運命にある奴を
おもしろげにじつと見つめた
突然—私は
自分の心のどこかにある殘忍性にぞつとした
最後につかまつたこ奴は
自然と離れた指頭から、うれし泣きをして
一目散に逃げて行つた

慘敗者
柳睡雞

私は敗れた
切りはがれたベルトのやうにへこたれて
こまごまに肢体を切り裂かれ
運命の手によつて抛り出されてゐる者だ
生命の鳴咽を失ふた
この胸ごめな臓腑を見よ
胃に血醒い手足だ
喝ふものは嗤つて行け
乘り越へて行くものは乘り越へて行け
蹴飛ばしてくれろ
寧ろ泥海を總ふるものだ
私は菌だ
私は腐れ林檎だ
私は海月の死體だ
現實に蒼ざめて
只管に月夜の海に流れることを
願ふものだ

或まひる
芙美

まなつの節をそつくり奥へない
松の森
神經質で『ソレツ』とばかり色かへて隠かんだ
小心ものゝ野原、それから
臙脂色のなま血で洗はれても涼しさうにゆれてゐる、ひろはは
しどひの心臓池の蓮池
白く熟れた陽ざしの中に狂ぐましい生を營んでゐる
秋です
聖人の呼吸を聞く、まひるです
虫か、鹿か、
流れる様に浮ぶやうに
金粉のやうに、銀粉のやうに

昭四歌壇の諸相と半島歌人概評
百瀬千尋

下

その進歩は遲々たりといへども主觀から客觀へ、しかして客觀をへたる主觀、即ち第三抒情歌が、新興短歌、短歌運動に於て、『作品』におよばざる――いはゆる新興短歌に先つて本質的に、生命ある短歌の藝術を促進すべき使命を持つことは疑ひを入れぬ所である。

昭和四年歌壇の諸相を概觀し終るに臨んで、既記により、半島歌壇の動きを見ると、久木は第二年を迎へていよ〱躍進なる進歩を占め末田晃、市山盛雄氏亦く『アララギ』の外殼を突いて獨自の境を開拓せんとし、殊に末田氏最近の傾向なる研究と態度の嚴しさは、敬すべきものあり、渕邊保氏は表現形式の枯淡に渾然あれど繁枝は日秋の明るさをもつてゐる。新羅野の丘草之助氏は浪漫的表現のうまさに腕を揮ひ、高見裕風氏の研究に見るべきものあり、釜山のさすがた三鉾を突破して、久保田光、岡本民雄氏等批判に擬すに冠氣一杯なれど作これに伴はずのうらみあり、同じく釜山の…多有と改題し、創刊したが、松山進氏の創作歌以外、發表する所の作歌に過ぎない。龜山の氾濫は朝鮮に寄せども朝鮮の色なく、武田全氏ひとり萬葉地方者その他に獨り、一月第一輯を發表した城大の眞葉時代では石本清四郎氏の研究が眼を惹いた。七月歌誌本位の紅色ポトナム出現したが三輯で廢刊となつた。京城鐘路では細野子氏が『青嵐』以來漸く本質進歩を示さんとし、京城日報、角田不案氏の『稱へなき歌』を以て獨占された。

各誌、各々アララギ、水甕、創作の流れを汲んで潮ね流造の歌壇相へ超然としてゐる。

中央歌壇に發表しつゝある人では、遼天に水甕の日根野龍光氏がある。最近の歌壇はいちじるしくアララギ會を主宰してゐる。國人では市山盛雄、道久良、近江耕十、宇野田翠子氏等がある。市山盛雄氏の歌、十二月に入つて細井魚袋氏の短歌を受けてか、反動歌に躍換せんとしてゐる。道久良氏は『朝鮮の歌』を主張し、感覺的な短歌文語歌へ進まんとしてゐる。その歌集『澄める空』は期待されつゝ未だ發行の運びに至らない。近江耕子氏は八月號でこのましい轉換を見せてゐる。江口賢氏の『萬葉昆虫考』は努力の研究である。ポトナムでは瀬戸由雄一二郎氏が私と共に新抒情的に進展せんとしつゝあるほか、國術至上主義的傾向に、細谷勝天、伊吹しのぶ、酒井鉄城氏等がある。中村泰、野田盛夜時、本部百合子、御簾律夜、伊州貿夫氏等は今年あまりふるはなかつたやうである。頭田副氏のポトナム調は漸く歌壇的たらんとしてゐる。

神尾式春、名越湖風、細萩聖太郎氏等おの〱歌集を上梓されたが、その內で神尾氏の『さきもり』は萬葉人の心境ならかほれてなかなかしいものであつた。『詩歌』で發表された元吉親義氏の朝鮮の歌は、旅行者の鋭なる表現抽寫に終つてゐた。京城日報で發表された對路總平氏の朝鮮歌壇私觀――特に市山盛雄氏に呈す――の一文は掲げれざる将来の好敵手であつた十月廿日鐵村黎勝氏等の肝入りで京城で開かれた京城短歌界の歌會は、各派各誌の代表者をあつめて、種々の意味で、意義な會合であつた。以上四年歌壇の潮流のつもりで、批評を加へて擱筆した。同志の人達の健全なき精進によつて、半島歌壇の曙光を暁く日の來らん事を祈念しつゝ擱筆する。(一二三)

空間に一杯、ちらついてゐる
今世界に秘つてゐる秘密も不可思議も知悉せずにはおけない私の靈腕が、高く〱伸びた
伸びたと思つたら
天々の潛航艇の様な蟲のかたまりをむんづと攫んだ
そらの眞中で
迷つて〱ゐる一つしかない私の胴體が今にも千切れさうだ
あせつて、あせつてゐる心が
見る〱間に世界を七周も八周もして
今にも
昏倒しさうだ
墜落しさうだ

誕生
柳睡雞

ちゞこもつた
不純朋なこの聚落の家に
神世からの尊い赤い濁泥だ
こもりゐて
待ちに待つてゐた一つの花だ
この世の光を浴びる爲に
許されてそしてたうとう
すつきりしやんと咲切つてしまつた一つの花だ
乳を銜めた嬰子よ
瘦せごちな又泣顔なこの父の心を
初心ながらに
きりりとした眼ざしで射つくしてくれ
いぢらしさに
手を觸れ
ほろりとする。

盲なる乞食
松島

小春日の靜な秋の日
黄色く街をそめてゐる日です
盲なる乞食がひとり
油ぎつた杖をたどりたどり
石につまづいて
ころびそうになつて歩いてくる
灰色の見えない目をみ開き
空しくくる〱と動かし
何かを求むるかの如く
俄のうたにきゝほれたか
私の足音に氣がついたか
闇黒の世界にすむこの
みしらぬひとりの人は
首をかしげながら
うつとりと日光の中を歩いてくる
『あなたは一體どなたです
私はあなたと何か淋しい話がしたい』
『ああ、そこを通つてはいけません
杖でつついてゐるのはどぶためですよ』

木の葉
芙美

兩側から黒塀の通つた路次に
霜々のせて落ちた細長い薬
栗の梢を絡んでは忍び入る陽を受けて
熊茶の色調を溶いた霜のしづくが
ものいひかけたい私の心に滲みこんで來ます
二またの薬が
いてふの根もとに散りつもる
こんもりと ふんわりと
かさんだ黄金色のお墓の中心から
透明な陽ざしのほのかなぬくもりに
ゲーテの情感がゆらぎ出さうです。

焚火
森田良一

ピリ〱痙攣する靜脈の神經の上をころがるわくら葉の心で
おぼろなゆふべの夢の輪廓を
ゑがかうとあせる私です
皆さん
焚火ををこしませう
皆んなでその周圍を取まいて
風がとびこんで來てその焚火を
掻き廻さない樣に圍みませう。
その邊に推高く積つてゐる
落葉や枯枝を集めて
あまりおさへない様に重ねて下さい
そしたら私はマッチを擦りませう。
やがて火の付いた葉や枝は
あかあかとあたゝかく燃え初め
周圍の皆さんを溫めて
幸福と愛の酒をたてませう。

面影
船崎德太郎

きらりと潤むで光つたあの眼
すんなりとしたオーバー姿の
女學生のあの眼が
きらりと光つた
きらりと光つたあの眼は
私をわらつたのではないかしら
潤むでみえたのは
みた眼のあやまりではなかつたのかしら
昨夜
明治屋の前で出會つた女學生
緑無帽を眼深くかぶつてゐた
茶色のオーバーに身をつつみ
手を埋め ゆつくりと
歩むで居た あの女
だが〱左足は心もちふるへ
ひきづゝて居た
(足がわるいのだ)――はつとした
私は胸をときめかせ
觀線をかはしたものだつた
あの女 いとほしいと思へるあの女
ほんとに足がわるいのだらうか
あの眼はうるむで光つて居たが
私にわらひかけた眼ではなかつたのか
いや そうであるとは思へない
物さびしほらしくかがやいて居た
あの瞳のあの美しさは
あきらめさとつた者のみのもつ美しさだもの……
あゝ あの女 この黑ひ――

京日柳壇 十月集(完)
井上劍花坊選

(五客)
倫落の底から母へ呼びかける　京城　津郎隨二樓
名刀に昔の人の血が躍り　龍山　上村町去里
生活苦喘ぐ心に鞭を當て　京城　古川照波
あきらめて踊つた事をくやしがり　元山　井上柳下
寶勵がをり買勵があるのなり　太田　山口雄心坊

人位
子はバスの搖れる乳房口へ來ず　京城　栗谷武兵衛

地位
醉けの氣に浸つた錢の酒の味　春川　木內鶯園

天位
離件きた短子へ狙ひの定まらず　水原　かたるば

赤い櫛
角田不案

◇野の畑に胡麻はられけり胡麻がらのすぐ立つ餘は留寶ばみせり
◇胡麻からの實ばみあかるきのすみ畑にみならぬ瓜の莖仲び胃し
◇あからひく日に焼け黒ろししぶとの野なる娘のひとみは燃ゆる
◇もゝながに胡麻をし刈れる田舍娘の胸はだけ居りそのすこやかさ
◇洗足にて麻を刈り居る田舍娘の髪にさしたりごむの赤ぐし
◇胸はだけ野なる娘は胡麻を刈れり胡麻かりしあとの日影のひそやか
◇胡麻を刈り汗ばめる娘に鮮赤なる半襟は匂ふいやめづらしも
◇まかがよふ秋のひかりのなかなれば胡麻かれる娘のましてかなしき
(四、九、一〇)

短詩
宵士居

黒い二人が消えたでそこら板塀な泥雪　岩淵山與水
砂ッパ踏み音が家多の療養き重ね　高澤披柳
大理石の明るいテーブルで一本買ひませう　內田井久
糯米が安いそうなクリスマスの鐘が鳴るよ　森内初子路
雪知り苑柱の工夫雪ちらし　早川草仙
寶るはほうけな大蹬の拔雪引いて　多山宵士

京城南柯支社(於翠上居)

風ぅら落ちて淋しき霜夜哉　翠丘
冬陽やスチームが食堂車　黄蝶
とく〱冷酒に霜夜哉　たかみ
冬の闘盤の日あし矢せに鬼　鶴仙
女工部屋蜘蛛の古巣に冬の蠅　紫光
飛ぶ日の障子に冬の蠅わびし　晶山
鈴が鳴る露の月夜の鐘が鳴る　無外

清津石楠會(南窓報)

岩苔の假かに消し時雨る夜　氷自
夕時雨宿の戀を戾りけり　北星
夕時雨埠の暮やまずなり　刀寸
湯上りの肌の匂ひや夕時雨　若宵
溺の照り用邊近に時雨けり　南窓
時雨來ぬ金街哭き拔けし　多か
旅の色もせけり夕時雨　氷月
秋の日は時雨の後の身に寒し　北星
母せや河原遠くに時雨して　刀寸
夕時雨落葉ひらく散る　水湖
時雨空裝枯を往とざされし　南窓
時雨明り夜の草の背き見ゆ　多扱

朝鮮人俳壇
【十二月五日締切分】(下)
(朴魯植採錄)

古刹や蒼鷗沈める霰　李淳哲
發隠所離れて坐る使丁哉　金大は
子守ゑのばかりの冬の毛多　鄭睡蓮
旅の跡に早足跡のありに冤　錦城
子叱り出も涙や小夜千鳥　尹癸元
水洞の濱に上る汽車けり　李石雨
夜に入る海晉高き千鳥哉　吳相浩
やすみ障子の外に凉み鬼　朴魯植

春風會(京城、學窓報)

弓と杖に茶山子、老ひて冬近し　撥雲
瞑の眼をするどく成りて冬ちかし　皆夢
鳴むしの聲もほそりて冬近し　天香
山擬せて溪水かれて冬ちかし　白陰
冬近き日さし白き障子哉　飛骨
坐禪するひさ冷かに冬近し　皆夢
冬近し張板の針もどかしく　游鯉子
冬近し鶴舌諸ふ茶のかき　霞陵
冬近し人手のたらぬ下屋敷　都天子
雜木の切つくされて冬近し　虎耳
渦突の手入れ急ぐや冬近し　桂堂
一つ家に灑る灯かげや冬近し　楓亭
納屋せまく炭俵上げて冬近し　湖東
冬近しいよう唄のこゝかしこ　九起
栗の炭の風鳴る夕や冬近し　孝子

京城石楠偶會(鶴仙居)

日向ぼこわが手汚れきてゐる　信子
日向ぼこ川に掬く子の手の丸き　貞雄
日向ぼこ枯枝澄める際にゐて　丈宵
日向ぼこおぜに鳴して笑ひたり　鶴仙
凧やごみとりがこみこぼしゆく　信子
旅の夜の木枯し故郷の灯の懷し　城南
木枯や木の間の海の幽ふかく　京二
凧や朝かなる心燈明す　丈宵
木枯や喝さと金魚じつと　鶴仙

薫風會(學務局令邑報)

南山に又正月ののどかかな　桂城
床あげや祝ひ今朝の春　スドウ
輪飾の落ちかゝりて風の　てる郎
畔總へて蜜柑こぼりし　玄鶴
新年の膳に替へたる座敷哉　令邑

清津石楠會(巳多報)

町中や灯がともる　多城
雪水鳥啼き波がしら　氷月
つじうらや子の聲や吹雪　刀寸
訪れし聲ふるえける夜の雪　若宵
ぽつかりと寒水浮く雪晴れぬ　南窓
渡井待つ河水白く暮れいぬ　水湖
雪しづれ鳥鳴く畑の木々寒く　多城
砂つむじ海吹かれる日短し　氷月
軒の雪落ちんばかり凍る鬼　刀寸
夜創のけはい絕えて霜の降り　若宵
うすれ行く川典し日の暮り　南窓
渡井待つ河白く暮れいそぐ　多城
満潮灯浪みて日詰り　水湖

高濱虛子氏
半折頒布
御希望の方は本社事業部に至急申込まれたし
頒布會費一幅　金十五圓
京城日報社

料理人は云ふ
幾多の經驗上一も二もなく之を使ひます

調味に苦心は不要、この一匙の効力に頼れ! 料理人得心お客は感心、それで經濟だからどし〱使ふが最も賢い

味の素

宮內省御用達　味の素本舗　鈴木商店

大評判の新家庭日記
日々の家庭料理に就いて親切に指導したる婦人中心の日記です。附錄は奥樣方にとつて無二の良參考書。權威ある內容は他に比類なし定價壹圓(各書店にあり)

變裝用の用器を自轉車で持ち廻る
◇…用意周到に立ち廻つた 主犯張鎭弘の犯行

外報の大邱爆彈事件の犯行經緯をさぐつて見るに張鎭弘は二十歳の時京城における朝鮮步兵隊上等兵として約三年間勤め、その後滿洲に赴き朝鮮〇〇團體に投じ其の因緣にて後日國際共產黨の黨外員となつたとのことで、彼は爾來と相談の結果、まづ

人心動搖 とを目的に事件を企て自己の知つてゐた知識、根據永の助力を受け永川郡永川面北犯金助淑方に至り〇〇〇〇を手に入れる工夫をなした結果、金明淑の共鳴を得、金の施術によつて李麒錫、楊文鎬、鄭秀浩等に交渉し多額の金を出し永川郡永川面前旺士木鍾小林鉾治に交渉の結果彼が壓藥上の使用〇〇〇〇〇と〇〇〇〇〇〇〇〇を讓り受け彼の補佐たる大邱府達城町三〇四の二番地金剛方に隱匿して十數日を經し、彼は成るべく世間に大なるショックを與へるためその實行に十月十八日卽ち大邱の

秋祭りの にぎやかな時分をえらび、時間を正午近きを見込んで更に、萬一發覺の際に逃げ道をつくると同時に當日（十八日）大邱での不在證明をつくるため、その前日一切の準備をとゝのへてチャンと金剛淑の家なるいはゆる彼の〇〇〇研究室の奥深くに隱して置きその前日卽ち十月十七日の朝谷城自己の本宅に赴き翌十八日の早朝は彼自ら多くの中人に自分の顏をみせて置いて變裝の姿をひそかに自轉車にのせて大邱に入り込み〇〇〇〇〇方の自己の部屋から〇〇〇を攜へ矢張り自轉車にて朝鮮殖產銀行の隣京町一丁目一番地なる金月香飲食店の前に到り

自轉車を 路上に置き去り彼與旅館に赴き彼の使者朴晉賢が警察において申立てたる如くにして目的の第一關所をパスした、しかして彼は目的物を都合よく朴晉賢に依賴するや飛ぶが如く來た道を引返し路上に置き去りにした自轉車に飛びのり再び達城町の隱れ家に歸り變裝して官憲を恐れつゝひたすら結果を待つたのである

戰慄すべき陰謀計畫

慶北警察部にては本件の眞犯人張鎭弘一味を逮捕するにあたり各犯人の家宅搜索を行つた結果漆谷郡仁同面玉溪里主犯張鎭弘の生家において夫々證據品を押收したが彼等は何れもこれを利用して、第二段の破壞計畫を取行せんと企てゝゐたことが取調べによつて判明した、その第二段の計畫なるものは實に戰慄すべきものであつた、大體のところ大邱における某多數人を收容してゐる大建物の破壞と同時に官、財界の某々要路の人を〇〇する計畫で、これが二段計畫の實現前に押へ止めたことは慶北警察部の大なる手柄と云はなければならぬ因にこの事件陰謀のため要したる費用は昨年の十一月以來約三千圓內外であつたと

少し遲かつたら鮮銀は滅茶々々
當時を回想しつゝ小松本町署長語る

本事件の當時就任後僅に一月にしてこの事件に遭遇した當時の署長現京城本町署長小松寬美氏は語る
思ひ起こすだに慄する、丁度十月十八日の正午頃だ、朝鮮銀行支店から大邱署へ電話で爆彈の如きものを持つたものが來たからすぐ來て異といふので早速工兵出身の巡査部長をかけつけさせた處、新聞包みのものから煙が出てゐる、開いて見るとある個のものが包藏されて居るので機轉をきかせてナイフで導火線を切つた、處がその傍に外に三個同樣のものがある、これを支店の前にほうりだし大石巡査がけとばすや忽ちボーンといふ大きな音を立てゝ外の二個と共に破裂したやうな譯で今少し手おつけるのがおそかつたら鮮銀はメチャ／＼だつたらうそのあとは鮮銀、殖銀の各支店長須藤慶北知事、石本警察部長であつた私の朝鮮後頭來各署で顏面手配張本郎はじめ共犯者を檢擧することを得た感謝である

強盜計畫中逮捕す
西大門署員の殊勳

廿八日午前二時頃西大門署高近巡査が發州通り一丁目を巡行中擧動不審の男が徘徊するのを認め誰何すると、振向きざまに懷中から刃渡り五寸余の短刀を取りだし向つて來るので、その場で大格鬪の末逮捕したが、取調べの結果、所不定金容寶（二〇）といひ職にあぶれて、强盜を働かんと目星い家を物色中と判明、引續き取調べ中

血にまみれ賊と格鬪
中尉夫妻へ重傷を負す

【仙臺電報】宮城縣伊具郡角田町退役陸軍中尉川野節一郎方に二十七日夜十一時五十分頃一人の賊が忍び込み富一郎（五〇）妻モト（四〇）の頭部を鍬を以て亂打しモトに瀕死の重傷を負はせた富一郎は重傷を負ひ鮮血にまみれながらも賊と格鬪し賊はこれにひるんで逃走した

岡、栗原保釋

【大阪電報】島德藏氏事件で未決十月二十九日以來起訴收容中の取締役岡士郎氏および栗原新大阪土地專務は二十八日保釋出所した

三井本府技師重傷を負ふ
東京の出張先で自動車が衝突して

【東京電報】朝鮮總督府勸業技師三井榮長氏は二十七日夜自動車にて小石川大塚を通行中電車と衝突頭部に深さ骨膜に達する重傷をおふた重態である

夫人達も內地へ 留守宅の驚き

奇禍に遭つた三井氏の官舍を大和町三丁目に訪へば家族は三井氏と共に內地へ旅行中で目下京都の自宅にあり留守居のお花さんは驚いて語る
タック今電報が參り驚いてゐる處で、奥樣もお孃樣も今京都にをられるので多分東京の方へ向はれたことゝ思ひます、ほんとに大事でなければよいがと神に念じてゐるだけです

再度の訪東飛行
ブラック氏英京へ

【ロンドン廿七日發】オリムピック號には我が飛行一行の外今度ロンドン東京間の大飛行を企て途中カルカッタで故障のため中止した米國飛行家にして新聞經營家たるゾンミリア・ブラック氏も同乘してゐるたが氏はクロイドン飛行場から再度東京に飛來の豫定である

十八割の好成績

龍山署本年度（二十七日まで）の犯罪總件數は強盜三件、竊盜九百八十六件、詐欺犯十一件その他合計千百四十四件で檢擧數は強盜二件、竊盜三百九十件、詐欺犯七十件等總數四百九十九件、未檢擧犯罪合計二千百八十五件、檢擧率十八割強といふ好成績であつた

五戶を燒失し一名燒死す
損害約四萬圓 新義州の大火

【新義州特電】廿八日午前一時半頃新義州常盤町七丁目瀧川洋品店より發火し三棟五戶を燒き鎭火した、なお平田時計店員小野寺は燒死した、損害三萬七千圓、原因取調中である

朝鮮人學生騷ぐ

【東京電報】二十七日午後七時神田神保町附近に朝鮮人學生百數十名が集まり居るを錦町、西神田兩署で朝鮮人勞働者金斗浩（三）外百餘名、日本學生數名を檢擧取調べ中、原因は九州の學生共產黨事件で現に約二百名檢束留置され居るを即時釋放を文部省に陳情に行かうとしたのだが夜でもあり止めたお聽き入れぬためである學生側では若干余名を留置釋放するに決した

汽船の衝突 卅名溺死
マルモラ海の椿事

【ソフィア廿七日發】ブルガリア汽船ヴァルナ號は廿七日マルモラ海で風雪のため希臘汽船クリシ號と衝突し後沈沒し乘組員中四名救助されたのみで三十名の溺死者を出した

食べられるクリームの土
南原地方て常食 地質研究所が分析

また／＼喰へる土といふのが二十七日朝鮮總督府地質調査所に齎されたがこれはかつてである、全羅北道南原郡に所在する鐵道の工事中館村といふ處で毎日いつもの通りに工夫が真ッ黒くなつて仕事中、工夫一人がなにかの

拍子 に汚い手の目をなめた途端があつた、その際手にべつとりこびりついてゐたクリーム色の土が何とも知れぬ工夫の口の中にはまり込んだ。工夫は我にもなく汚らしさにペッペッとつばつきしたがそれにして何といふ奇蹟であらう。汚いと思つてはいたその土が微かに齒間に殘りながらも舌に不思議な甘味をそして滑らかしい味を限りなく工夫の舌觸に訴へて來た。工夫はどうしても今更のやうに二度びつくりして再度の試食を行つたが依然として甘味さには變りがない、それからといふものはその工夫は黄色いクリーム色の粘土を見るときまつて心よい食欲をそゝられ人目を盗んでは仕事の合間々々に一片一片を手にしてなめてゐたが、遂に自分獨りこの樂しい食欲を獨占することが出來なくなり工夫連中に話したところそれではといふことになつて個分に命の入らぬ土くれであることから、われも／＼と勇敢にやつて見るとなる程仲間のいふ通り實に珍しい程の甘味をもつてゐる。やがて粘土が喰へるといふ話は館村工夫の噂となつて調べたところ館村の部落民たちは

工夫 よりも早くからこのクリームの粘土を食つてゐたといふ事實がわかり、今日この頃では工夫をはじめ部落民が殆ど毎日々々と食べる始末なので、そのまゝほつてをけず二十七日總督府地質調査所に屆いたもので地質部でも以前にもかつてクリーム色の粘土が送られて來たのであるいはゆる喰へるといふそのクリーム粘土がむしろ甘味であるといふ食欲をそゝる程だ館村では全く常食するが如き狀態におよんでゐるので總督府地質所でも直ぐ檢査を行ひ詳細に調査することになつた。

救世軍の年末施米

寒風吹き荒ぶ師走の街頭に捨てられた窮乏の救世軍慈善鍋で行人の同情金をあつめて居る救世軍では二十八日午前十時府內竹添町三丁目第三小學校において貧民をあつめ施米を行ひ、午後三時から西大門町一丁目朝鮮本部生活貧民飲食所にてあたゝかい御飯の炊出しをした（寫眞は竹添町三丁目東營における施米）

孤獨を唄つた『子守り唄』の哀愁
京城訪問の演奏を控へて 吉田師夫妻の放送

朝鮮が生んだ邦樂界の天才兒、箏曲家宮城道雄、尺八吉田晴風兩師が松の內まださめやらぬ明年一月七日に鄕土を訪問するといふので今や京城の

邦樂界 はいはずもがな邦樂愛好家から非常な期待をかけられて居る、これに先けて吉田晴風師は二十五日夜東京放送局から自作の尺八と箏の二重奏、子守り唄を若子夫人の箏で放送し、京城放送局が中繼して朝鮮でもハッキリ聽き取れたが、この曲は若いやもめの心持を現した曲で、妻を失つた男が愛兒を抱いて妻のありし日を夢の如く追ひ、遂には悲みにむせび泣く、といふ情緒を完全に現してゐた、同時に放送された『山路』も尺八子守唄を主として鐘や鈴の音、鳥の聲などを尺八で現し、何れも聽き手を全く幻惑に引入れる位氣に迫る吹奏振であつた。この曲は

處女の 心境を如實に現したかの宮そらび山川に住むせきれいを現した『せきれい』などと共に有名な曲である。京城の滯在中にはアンコールを豫選される部曲には、吉田晴風師に際して新界の人で殆時代的の天才箏曲家宮城道雄師を朝鮮から見出した功を讚へ非常な苦心の末、本居長世氏や宮城道雄師と共に新日本音樂を完成して樂壇に新生面を拓き、又尺八の吹奏に習諧に交渉を加へ眠れる邦樂界に刺戟を與へた大恩人だと好評嘖々たるもので

尺八界 の人氣は吉田晴風師に集まつてゐる狀態である

體育理論を三博士が說く
リズミック運動講習會の科外講演科目決る

本社主催、朝鮮教育會後援の上杉彼女氏リズミック運動講習會の科外講演は、體育の基本をなす醫學を中心にして行ふことは既報の通りであるがすでに決定したものは左の三博士である

三日（兒童と體質）城大助教授醫學博士　原　弘毅
四日（題未定）京大教授醫學博士　小川　蕃
五日（題未定）城大教授理學博士　小林晴次郎
六日、七日は未定

小川博士は京城帝大の外科教授でその手腕は定評ある兒童の外科的疾患に對する講演は手に入つたもので、小林博士は斯界に存するたゞ一人の理學博士で京城大學において微生物學研究の權威として知られ、この二講座を擔任しマラリアと體質の關係に就て該博なる講演を仰ぐことになつて居る、又原博士は斯界の土壤博士のあとを引受けてやはり城大小兒科に長ずる人でその『兒童と體質』と題する講演は、聽き逃せぬ貴重なものである

これら諸權威の講演の外本講習會にはボール・ゲームの一人者宮田保氏の援助もあり、かゝる大規模の講習會は確に追從を許さぬものとして期待されてゐる。會費は一人金一圓、希望者は至急本社事業部あて申し込のこと

美人學講座
令孃も夫人もぜひ知らねばならぬ新知識、誰でも美人になれる美人學講座！婦人倶樂部新年號に！

スキー練習中帝大生凍死
山中に迷ひ込んで手當も遂に及ばず

【長野電報】秋田縣生れ東京帝大一年太田徹三（二）は同僚學生十數名と長野縣下八方溫泉附近でスキー練習中の處二十六日山の中に迷ひ込み二十七日は終日雪の山中をさ迷ひ全身に凍傷を負ひ瀕死の重傷を負ふたのを二十八日未明漸く搜索隊に發見され直に醫師の手當を加へたが遂に絕命した

特別警戒は最後の眞劍さへ
お巡りさん達は愈よ多忙となる

あと三日を殘して各署とも御用仕舞となりヤレ／＼とお正月を迎へる明るい氣持ちとなつたが、このお役人の安らかな氣持ちを外にお巡りさんだけは更に多忙を極め殊に廿九日からは最後の特別警戒―銀行からひいてゆく幾百の人々の後をつけて强奪し去る惡漢連、夜に乘じての忍び込み、多忙なのにつけ込んでの空巣、拔殺強盜擬ひ等の詭詐罪、借金取りに責め立てられての氣の毒な自殺―こんなことまでされてはそれこそ新しい年を迎へやうといふに入ることではない、この警戒の爲に警察部はじめ府內五警察署では總非番員を向ひ更に今日から巡査までをも總動員各署長も自ら陣頭に立つてそれ／＼一般巡邏の外重要建物の警戒、二名づゝの私服

年末年始新聞計畫

京城日報の年末年始における新聞編輯、發行計畫は左の通りであります。
▲朝刊は―廿八日發行（廿九日付）の分を以て年內の終刊とします。
▲夕刊は―三十日發行（卅一日付）の分を以て年內の終刊とします。
▲元旦號―朝刊二十頁を發行します。
▲二日發行―（三日附）夕刊十二頁を發行します。
▲四日發行―（五日付）夕刊八頁を發行します。
▲六日發行―（七日付）夕刊八頁を發行します。
▲七日發行―（八日付）の分より平常に復歸して發行します。
▲地方向―十二月廿八日發行（廿九日付）の分より一月五日まで休載、六日發行（七日付）の分より復活します

首相の木彫を寄贈

【東京電報】福島縣選出民政黨代議士粟山博外務參與官は二十八日早朝、首相官邸に於て總務に威儀を正した濱口首相の木彫を持込んだ、寄贈を受けた首相も己れの風貌に感心してよろこんだがこの木形は高さ三尺、臘晶製の三木宗策の彫刻にかゝるものである

御分靈鎭座祭
きのふ嚴かに行はる

京城神社の御祭神に國內攝社として將來と決定した宇佐八幡神の御靈代は市京城神社主任神職拜受奉持して二十八日午前八時五十分京城着同着三十萬府民を代表して關水府尹、鈴木神社御造營委員長、石田副委員長並世話係一同お出迎へ申し上げ福長の案內で同驛出發休憩に少憩の後同九時二十分自動車に移御し奉り、府尹先導で市營御靈代を奉じて神職、委員長、世話係の順で同九時三十分京城神社に渡御、たゞちに本殿前へ奉安され盛大なる御鎭座の祭典がおごそかにとり行はれ十時四十分式を終へた

服裝行進を作り萬々一にも不祥事があつてはと嚴重な警戒に努力してゐる

帝都訪問の初飛行
廿五臺の空中軍を組織

【所澤電報】所澤飛行學校では來る一月六日午前十時より飛行機廿五臺を以て帝都訪問の編隊飛行を行ふことゝなつた右各飛行學校長を指揮に飛行機には德川大佐搭乘先づ中隊を組織所澤より玉川に沿ひ羽田に出で品川より帝都上空を通過中野を越えて歸校する豫定である

廿師團の初乘會
五日南山一周をやる

來年の干支は午、それにちなんで第二十師團司令部では初乘會を出來るだけ盛大にして愛馬思想普及の一端にしやうと意氣込んでゐるが、五日午前九時半までに龍山偕行社に集合くつわを揃へて南山一周を試みるはずで希望者は四日正午までに師團司令部へ申込むこと、會費は五十錢、馬は各自に伴ふはずで、正午頃偕行社に歸着、簡單な宴食をすませて解散するが民間乘馬家の參加を歡迎してゐる

大阪の初雪

【大阪電報】大阪地方は廿七日來の雨は本日も降り續き濕度漸々低下し遂に夕刻雪を交へ本年の初雪をみた。例年より一週間、昨年より十日、いづれも遲い

六人組強盜團

【旭川電報】廿八日午前二時頃上川郡鷹栖村東鷹栖兩稀馬方へ六名よりなる強盜團押入り家人を縛金にて縛し二名は短刀にて家人を脅迫し金品を與へて手提金庫のまゝ一千二百圓を奪つて逃走した、旭川署で犯人搜索中である

草人氏歡迎會

【東京電報】二十七日午後六時から東京會館で上山草人歡迎會が開かれた出席者は正宗白鳥、久米正雄兩夫妻、佐藤春夫、中村吉藏、鈴木傳明、栗島すみ子、水谷八重子その他文壇、劇壇、映畫界、知名の士の外櫻井忠溫、土井晚翠、藤森成吉氏等約二百名で盛會であつた

寺尾猛三郎氏逝く

前京城府協議員寺尾猛三郎氏は豫て腦溢血にて病氣療養中であつたが、廿八日午後六時半、病勢改りて逝去した
氏は明治十五年鄕里の岡山中學を卒業し、更に備中高梁の三餘塾に學んだ、有名な丸山鐵頭師とは當時同門であつたといふ十八年上京し明治大學を卒業したが此時師を病みて左腳を失ひ、かゝる事なれば世に出て土木業界に入り、卅一年神奈川縣の相模川改修工事の監督となつたのが、その第一歩であつた以來、請負業者となり有名な笹子トンネル、箱根の鐵道トンネル其他の工事請負をなし卅七年西伯利亞鐵道ふせつの爲め渡鮮した後、安奉線起工のため滿洲に轉じた、鷄冠山トンネルは實に氏の工事にかゝるものである、北部滿洲土木建築界組合長に推され斯界に貢獻あり、それより東京に轉住したが、大正三年工事請負にて北鮮に入り、大正五年龍山に居を求めて土木建築請負して今日に至つた、公職にありては商業會議所議員、學校組合議員、府協議員として京城の有力者であり、殊に漢籍の素養あり、詩歌に長じて風雅の道に知られてゐた
同氏の逝けるは一般に痛惜されてゐる、現に京城商業會議所商議員、土木協會理事、甲子倶樂部幹事、大正親睦會副會長、同民會顧問で夫人睦子との間に十一才の長男を頭に四人の遺兒あり、享年六十才（寫眞は逝ける寺尾氏）

アナウンス

長唄の杵屋佐吉師は明治の御光として知られてゐるが▲最近の純化運動に一役して▲新年早々『明治の御光』と『夢殿』といふ二つの長唄を作曲し、佐門會のお祭をやることになつた▲これは世界にほこる我國の御光を毎年二回づゝ行ふ御祭に『明治の御光』を唱和しつゝ陛下の萬歲を祝し▲朝ら會員一同の親睦をはからふといふ趣向であつて▲時節柄大要な計畫である

寺尾猛三郎儀豫而病氣の處藥石効なく遂に本月二十八日午後六時半永眠仕候間此段御通知申上候
追而葬儀は三十日午後三時より同四時迄錦町通十一番地光照寺に於て告別式相營申候
十二月二十九日
妻　睦子
嗣子　威
親戚總代　柳瀨歲松
荒井初太郎
友人總代　成松緣

貸借對照表　第拾九期

小口當座預金	[illegible]
土地	[illegible]
建物	[illegible]
機械器具	[illegible]
營業什器	[illegible]
未經過保險料	[illegible]
振替貯金	[illegible]
假拂金	[illegible]
銀行預金	[illegible]
金庫現金	[illegible]
受取手形	[illegible]
受取勘定	[illegible]
原料	[illegible]
製品	[illegible]
商品	[illegible]
木材	[illegible]
滿期未收入	[illegible]
計	[illegible]
資本金	[illegible]
法定積立金	[illegible]
社員身元保證積立金	[illegible]
機械器具償却積立金	[illegible]
未拂配當金	[illegible]
支拂手形	[illegible]
未拂金	[illegible]
配當準備積立金	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
當期利益金	[illegible]
計	[illegible]

昭和四年十二月二十日
朝鮮製綿株式會社
取締役任期滿了ノ處全員重任ス

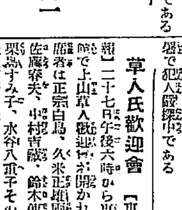
日東カゼ藥

失踪宣告
本籍及最後ノ住所江原道鐵原郡馬場面…不在者　孫…
右者ニ對シ明治二十八年四月十八日生… 昭和四年十二月十一日失踪ノ宣告ヲ爲シタリ
昭和四年十二月二十七日
京城地方法院鐵原支廳

登記公告方
昭和五年中當法院管內黃州、新溪、遂安、谷山ノ各出張所ニ於テ取扱フ商業其ノ他法定ノ登記公告ハ京城日報ニ於テ施行スル
昭和四年十二月十八日
海州地方法院

登記公告方
昭和五年中ノ取扱ニ係ル商業其ノ他法定ノ登記公告ハ左ノ通リ指定シテ之ヲ爲スベキ新聞名
京城日報、朝鮮新聞、京城日日新聞、朝鮮每日新聞、朝鮮新報
京城府當院及管內支廳出張所分但仁川支廳ヲ除ク
京城府當院及金浦、江華二出張所分
仁川府當院及仁川、水原ノ二支廳、金浦、平澤ノ…
昭和四年十二月
京城地方法院

國產ゴム絆創膏
リバノソン
外傷の手當及び繃帶代用として
御家庭に御常備願ひます
無色透明にてどこへ貼つても目立たずかぶれず濕水に付けても剝れない便利な絆創膏
ひゞ、あかぎれ、きりきず、つきさず等に御用ひ下さい
定價 二十二十錢
到る處の藥店に有
日進工業合資會社



生徒募集
朝鮮總督府鐵道從事員養成所
電工運轉、營業、工務、作業科
約三十名、約四十名、約四十名
年齡十四年以上十八年未滿
年齡滿十四年以上十九年未滿
願書提出期間　自一月一日至一月十日
規程及志願者心得等希望の向は郵券二錢添付申込むべし

喪中に付年賀缺禮仕候
京城府旭町
御料理　きよ
電本三九一一番
石橋一路

特別案內
ばい毒專門
りん病
特に婦人科併設
京城本町警察署上前
和田醫院
電本三三〇六

恩給　立替特別御便利に 御相談可致候
京城府若草町百六番地
電話本二三六三番
西村元

恩給　年金低利即時貸付 手數料極安他不見
京城本町四ノ八三
電話其他一般金融す
英商會

恩給　一六以下手數無比割引
京城府永樂町中央館西
電話本三七六九番
マルナカ商會

ラヂオ
受信機販賣、電池式よりK.R式まで
京城本町四丁目
ラヂオ商會

恩給　立替は大勉強 有利に御相談致します
京城古市町
三三五番地
澤田商會

看護婦
御希望の方は御來談あり度し
京城本町四ノ一五五
電話本三三七四番
北島派出會

雇入
女中、朝鮮人入用年齡不問 給料面談
仁寺洞二五五
藤村

京日案內

玄米入ほうじ茶
こうらいやなぎ
高麗柳
京城觀水洞
水月堂
電光八〇六番

運命の浪

【201】 遠藤柳雨作　多田殺三畫

清き世界へ（二）

それを潮に事務員は立ち去つた。事務員の去つた後の椅子に、默つて入つて來た龍吾がついた。阿久澤の目は光つて居たし、龍吾の態度も緊張し切つて居た、この時の畔は恐ろしい嵐風雨を孕んだ一種の無氣味であつた。

「なんだ！　龍の許しをうけて入つて來た。龍が許した、この室に自由に入ることを」

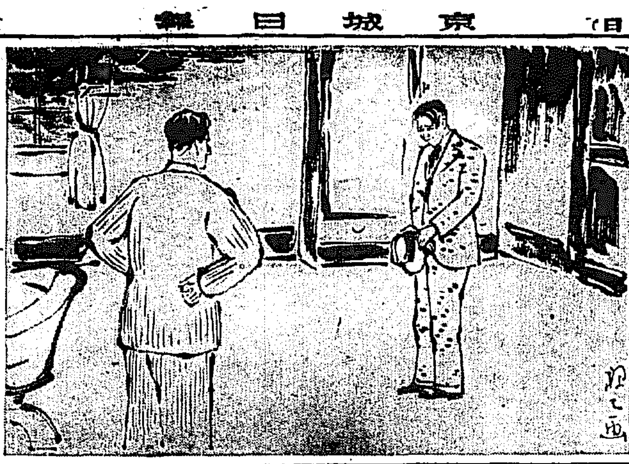
と、阿久澤は鋭い語調で叫んだ

「私は……私は貴方の許しをうけて入つて參りました」

龍吾のこの語にはいさゝかふるえをもつて居た。

「なに！」

「龍の許しもうけません、私は自分の心で考へて、いゝと感じたから」



らです。」

いふと、ひとしく龍吾は父の顏を仰いだ、然しその目には涙があつた

「馬鹿！、出ていけ！」俺はもう貴様に會ふ必要はない」

「私の方に……、その必要は私の方にあるのです」

龍吾の顏はまたふるえた

「貴様の必要なんぞ俺は認めん」

冷やゝかな、氷そのものゝやうな、阿久澤のことばであつた

「お父さん！」

と、龍吾は瀨際になつて來て

「あ、貴方は……、貴方はなんといふ方です、貴方に東京でお目にかゝつたとき、おすゝめしたことをきいて下さいさへすれば……、あゝ、實にお父さんは……、なんといふ方です、なんといふ方です」

右の手の甲を額の所にあてゝ龍吾は顏を蔽ふやうにして泣いた。阿久澤は冷やかな眼でそれをみて居た。

きつとなつて潮をふいた龍吾は

「お父さん、もう私はなにも申し上げません、たゞ最後に一つお願ひがあります、どうぞこの上海を捨てゝ逃げないで、こゝで直に自首して出て下さい。お父さんはまだ逃げ終せるとお思ひでせうがすつかりもう警察の網です。もう一歩もこの上海から出ることはできません」

阿久澤の目はもの凄くかゞやいた。

「龍は……、實は私もその警察の一人です」

「えッ」

「そ、そのお驚きはご尤もです、然し私は貴方と親子の關係です、私は私の良心への手前、貴方の五體に繩は打ちません、同時にまた貴方の不利益も考へません、一番な道は、あなた自身がお訴へになることです、そして御自分の罪に對し、ざんげを誠意なさることです。何度もいふのはくどいやうですが、もうどんなにあなたが、最後の努力をなさつたところで、もうあなたの運はつきたのです。もう年貢の納め時です。これまで犯罪について可なり勇氣があつたあなた、しりぞくにも勇氣をもつてください、最後の道をあかるく嬉しくやつてください、ねえ、どうぞお願ひです。おたのみです。こんな口惜いことを現在の親にいはなければならない、私の苦しい心の內にも、同情していたゞきたいのです」

いひ終つて龍吾は潸然として泣いた。

朝鮮名物　泉山の雪　鎭南浦應用の珍菓

寫眞は　電本三九二　ワタナベで

◇いよく歲晩も押しつまつた。今日京城府中はいたる處年末の慌ただしい雰圍氣に包まれ……

今や街頭と化して來た……のは交通の危險この上もない心配だ

出版界

▼ロシア事情（十三號）東京市丸ビル八九一ロシア通信社二十錢

▼朝鮮司法協會雜誌（十二月）朝鮮總督府法務局內朝鮮司法協會四十一錢

▼文敎の朝鮮（十二月）朝鮮總督府學務局內朝鮮敎育會三十錢

▼朝鮮遞信協會雜誌（十二月）朝鮮總督府遞信局內朝鮮遞信協會五十錢

▼朝鮮貿易月表（十月分）朝鮮總督府非賣品

▼職業紹介公報（十一月）中央職業紹介事務局非賣品

▼こゝろ（十二月）東京市外代々木山谷一〇八精神社十錢

演藝案內

東亞倶樂部

卅一日より新春特別大興行　樂々たる新春の光と萬歲の如き 御入場料 階上大人四十錢 學生小人二十錢 階下大人三十錢 小學生小人十錢

米國ブルースアイ・コメディー　大喜劇 珍妙戀の掛引　アーサー・レイク氏主演 マリー・セリンデー嬢主演 マツクセンネツト超特作

大名狗 ベンター・ピンと犬 珍優ベンター・ピン氏 名犬テッデー君　大悲劇

大東亞キネマ京都特作 原作脚色竹井諒氏 監督園西稷治

現代劇 マネキン・ガール　上村節子主演

大都會の神秘發掘時代―そこに集まる幾多の職業婦人―バス女車掌―女交換手―デパートの女事務員―女美容師―ガソリンガール―モデル女―キネマ女優―カフエー女給―ダンサー―そこへ新しく生れたものは？

大東亞キネマ京都超特作 嵐寛壽郎主演 時代劇 夕凪城の怪火　長冥山の怪人 三男小次郎廿正 八幡劉一郎、大森一子、片岡左衛門、中島愛造、小島一代、市川花紅、補夫 其の他オールスターキャスト

中央館

マキノキネマ　卅八日ヨリ本年度最後の忘年興行 マキノプロダクション代表的二大作篇

西條照太郎原作脚色 稻葉蛟兒監督作品 嵐長三郎主演 …者 全九卷

松浦道之 マキノプロダクション 藤澤の寶玉篇 野々喜多呂九平氏原作脚色 沼田紅緑氏監督 市川右太衛門主演

岩城秀雄 泉　前後篇 紫頭巾 十五卷 武井龍三、鈴木信子、高山錦之助、市川小文治 外マキノオールスターキャスト

階上席二十錢均一 階下席十錢均一 開放

マキノ時代劇 荒木又右衛門 全十七卷 『愈々三十一日ヨリ正月興行』

クラブ・ボウ顏の鑑賞 入場 全六卷

大正館

二十七日ヨリ四日間 本年最後の松竹キネマ特選名畫 短日公開 料金階下大人貳拾錢 小人拾錢

浦田時代現代特選映畫 舞臺劇 寄藤猪ノ郎監督 果報は寢て待て 全六卷 牛田日出丸、渡邊國二、飯塚ほか子、八雲惠美子、金井謹光、川上暁子

松竹蒲田提供帝國大キネマ特作 長尾史錄監督作品 幕末の傑士の熱烈なる高杉晋作 十卷 市川右太衛門主演 大谷 高宮敬子、伊田安美 吉野咲子、嵐寛壽 助演

松竹蒲田超特作現代映畫 清水宏監督作品 佐々木太郎撮影 森の鍛冶屋 十卷 築光慶應大學作所主演 井上正夫主演 飯田蝶子、鈴木伸一、高杉早苗、小村新一郎、田中絹代、飯田蝶子 其他オールスターキャスト

御推獎 醫學博士醫の名餘十六百二

補血滋養強壯劑

ポリタミン

貧血　虛弱質　精力減退　身心衰弱　肺結核　衰弱

ポリタミンは貴重榮養原アミノ酸を主効分とし、これに腦神經强壯補血劑グリセロ燐酸鐵を配せる學理的製劑にして從來の滋强劑に一歩抜んでたる補血滋養强壯効果を收む。

錠狀ポリタミン 250錠 500錠　散末ポリタミン 100瓦

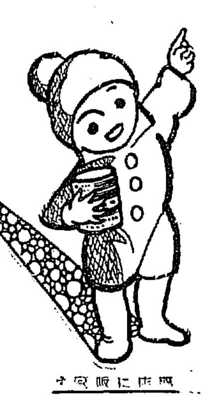
發賣元 大阪市道修町 株式會社 武田長兵衛商店

23-1378 (D)

創立明治參拾貳年
倉庫業兼營
京城府南大門通貳丁目百拾壹番地
株式會社 朝鮮商業銀行
頭取 朴榮喆
副頭取 和田一郎
支店 出張所 京城鍾路、同南大門外、同本町二丁目、同本町四丁目、東大門、仁川、平壤、開城、群山、全州、光州、裡里、大邱、釜山、元山、浦項、新義州、平壤、沙里院、鎭南浦、大同門、馬山

お正月には縁起のよい
福助足袋
お德用な家庭足袋

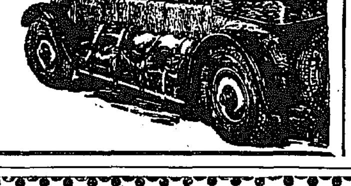
一度試せず忘れ得ぬ滋養と風味に富む トマト清酢 夏季と雖も變味の憂なし 各地有名食料品店にあり



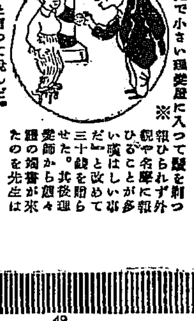
金線ミルク
金線ミルクを愛するものは吾が兒を愛し國を愛するものなり。

營業課目
米穀肥料 雜穀 精米 外米 私設倉庫 一般倉庫 保險代理 米穀貿易 委託賣買 輸入
朝鮮鎭南浦
新井新藏商店
電話長三四四 四一七六

始政廿週年記念 朝鮮大博覽會 名譽金牌 高級銘酒
最も雄辯にその品質の優良を語る
朝の花
朝鮮酒造株式會社釀
名實共に斯界の權威



學ぶには良校を撰べ
本校（活動寫眞敎育）獨特
●施設は滿洲第一
●卒業生成績斯界第一
●就職確實紹介
●免狀得る迄責任敎育
上以圓千三收年
自動車を學べ
新フォード、新エセックス其他 練習車約十臺
●國二錢要規則呈●備完舍宿舍
大連北大山通り十四番地
日華自動車學校
電二一〇六一番



小粒 大粒 仁丹 口中香劑 消化劑
仁丹金言小話
○技能は隠れたる名譽なり（附話）
文豪ヘルン小泉八雲先生が或旅行先で小さい理髮屋に入つて髮を刈つたが剃刀の切味が非常によいので序にナイフを研いで貰ふた。そして共賃に五十錢拂ふと髮生に命じて置いた處『五十錢は餘り多過ぎるので廿錢やりました』それでも彼は大層喜んで居ました』といふので先生は『研ぎ料を拂ふのではない、あの巧妙な技術に報ゆるのだ』世間には技量に相應する名聲も報酬も無い人が多いと改めて三十錢を贈らせた。其後理髮師から度々禮の消息が來たのを先生は總理大臣の感謝狀よりも私には嬉しいと言つて悅んだ。
銀粒新製仁丹、仁丹體溫計、仁丹の煉歯磨、仁丹歯ブラシ、仁丹のハミガキ、仁丹齒ブラシ

皮膚泌尿花柳病
醫學博士 渡邊晋
京城黃金町入口 日本生命3階
診察 十二時半マデ及ビ夕刻

クスリハ山岸
賣藥品製造 藥月報發行
卸と小賣 通信販賣
合資會社 山岸天佑堂
京城府本町一丁目
電話本局 三一〇二 三二〇七 二四一〇 振替京城 二〇三〇番

森信汽船仁川出帆
江華島、延安、（京畿）陽島、南陽、群山、木浦、唐津、瑞山 線 … 每日往復
森信汽船株式會社 仁川驛前 電話一六三番

山下汽船 仁川出帆
協同海運株式會社 電話八二〇・八六七番
●宇和島、阪神 春日丸 十二月 日
●神戶、阪神 …
●金城、阪神 …
●門司、名古屋 …
●東京、横濱 …

尼ヶ崎汽船 仁川出帆
●阪神直航 日津丸 十二月 日
●阪神直航 …
●第八 …

高杉回漕部 尼崎汽船部 仁川港町

大阪商船汽船出帆
神戶、大阪行（釜山・木浦經由）
京城代理店 仁川 …

內地各港出帆主要航路
●歐洲行每月一回 ●濠洲行每月一回 ●南米行每月一回 ●北米行每月二回 …
大阪商船株式會社仁川支店 電話二〇・二一番

辰馬汽船仁川出帆
阪神、伊勢灣、名古屋 …
仁川代理店 朝日組回漕部 仁川本町四丁目

嶋谷汽船出帆
仁川、大連、天津、鎭南浦 …
大連天津直行（大連汽船大連航路提携）

仁川發
大連、長崎 …

鎭南浦發
朝鮮郵船日本北海道行（釜山、木浦經由）太平 …

仁川發
京城代理店 …

朝鮮郵船出帆
博多航路（博多行）

朝鮮汽船出帆廣告
釜山出帆（取扱店釜山本店）
木浦出帆（取扱店木浦支店）
京城南大門通り 朝鮮郵船株式會社

日本郵船出帆
歐洲行 伏見丸　十二月二十日
豪洲行 安藝丸
桑港行 大洋丸

仁川汽船出帆
●海州行 ●延安行 ●仙甲行 ●鎭島行 ●唐津行 ●牧浦行 ●外浦行 ●周山行
仁川府本町四丁目 仁川汽船株式會社